

随つて國民は國の誇を傷つけられたことがなく、又其の誇を永久に持續しようとする心掛けも出來て、いざといへば、舉國一致國難に當る氣風を生じた。萬世一系の皇室を中心として團結した國民は、かくていよ／＼結束を固くし、熱烈な愛國心を養成した。其の上我が國の美しい風景や溫和な氣候は、自ら國民の性質を穩健ならしめ、自然美を愛好するやさしい性情を育成するのに與つて力があつた。

(四) 次の漢字に讀假名をおつけなす。

(イ)和尚 (ロ)義捐 (ハ)小春日和 (ニ)重寶 (ホ)趣味

(五) 次の漢字を用ひて熟語を一つづつおつけりなす。

(イ)耐() (ロ)殖() (ハ)勝() (ニ)堅()
(ホ)整()

算術 (60分間)

(1) 次ノ計算ヲシナサイ。(運算モ書キナサイ)

(イ) $5783 \times 21 + 695 \times 26 - 14364 \div 14$

(ロ) $3.87 - \{7.6 + (9.7 + 2.6) \div 3.28\} \times 0.2$

(2) 次ノ計算ヲシナサイ。(運算モ書キナサイ)

(イ) $(6\frac{1}{5} - 2\frac{3}{7} + \frac{1}{2} - 3) \div 2\frac{19}{35}$ (ロ) $(1\frac{5}{6} + 1\frac{3}{8}) \div \{(1\frac{5}{6} - 1\frac{3}{8}) \times 1\frac{3}{4}\}$

(次ノ(3),(4),(5)ハ式ト運算ト答トヲ書キナサイ)

(3) (イ) 西子サンガ理科ヲ復習シテキルト、同ジ室ニキテ勉強シテキタ兄サンハ、音ガ空氣中ヲ傳ハル速サハ一秒間ニツキ340mデアラナラバ、今電光ヲ見テカラ6秒デ雷鳴ヲ聞クト、雷マデノ距離ハ何程カト聞カレタノデス。何程ト答ヘタラヨイデセウカ。

(ロ) 花子サンハ、オ正月オ母様ニ連レラレテ三越ニ行ツタ時、5圓50錢ノ買物ヲシテ10圓ノ紙幣ヲ出シタラオツリトシテ50錢銀貨幾枚カラ渡サレタ。何枚アツタラヨイデセウカ。

(4) (イ) 花子サンノ兄サンガ或ル本ヲ讀ムノニ第一日ニ其ノ $\frac{2}{7}$ ヲ讀ミ、第二日ニハ殘リノ $\frac{1}{4}$ ヲ讀ミ、第三日目ニ30枚ヲ讀ミタルニ尙40枚殘レリト云フ。皆デ何枚アル本カ。

(ロ) 機械ガ毎日8時間ヅツ働イテ18日デ出來ル仕事ヲ毎日9時間ヅツ働イタラ幾日デ仕上アルカ。

(5) 元金ガ1000圓デ年利率ガ6分5厘デアルト2年9ヶ月間ノ元利合計ハ何程カ。

大妻高等女學校

(所在地) 麴町區上六番町

三八二

◆國語科

(一) (イ) 次の漢字の右わきによみがなをおつけなさい。

戸數 修行 繁雜 展望 重寶

(ロ) 次の線を引いてある漢字によみがなをおつけなさい。

適任者を擧げる。 恭しく敬禮した。 夜が更けた。 ろを操る。 文化の程度を測る。

(二) 次の語句を解釋しなさい。

尋常でない。 没頭する。

(三) 次の句に適當な言葉をたし、まとまつた文になさい。

(1) 毎日一錢づつ貯金したに過ぎないが

(2) 雨が降つたのを口實にして

(3) 此の川は恐らく日本第一の急流

(4) たとひ我が子でないにしても、此のあはれな様子を見たら、あの人も氣の毒に

(四) 「あゝ残念だ、」と云ふ言葉は、わづかのことで汽車に乗りおくれた場合などに

使ひます。 次の言葉はどんな場合に使ひますか。

(1) 自ら襟を正さしむ。

(2) 意氣揚々と。

(五) 次の上にある文に、下のどれをつけたらよいでせうか。()の中に下の番號をお書きなさい。

(1) けやきはもくめ美しく、磨

けば美麗なる光澤を生じ、

又くるひ少きが故に()

(2) 栗は耐久・耐濕の性殊に著

しきを以て()

(3) かしは最も堅くして弾力に

富むが故に()

(4) もみは柔かにして工作に便

なれば。

(1) 家屋・橋梁・船舶・電柱より桶・たる・曲物の類

に至るまで、廣くこれを用ふ。

(2) 建築材として最も重んぜらる。

(3) 諸種の箱を作るに用ひらる。

(4) 薪炭材として重要なものなり。

(5) 裝飾材として珍重せらる。

(6) 家屋の柱・土臺となすに宜し。

(7) 家屋の土臺・鐵道のまくら木等の用に供せらる。

(8) 運動器具の如き強烈なる力を受るものを製作するに適せり。

(六) 次の文中片假名で書いてある語を、線の右わきに漢字でお書きなさい。

夜はトコにツいてからトモシビがツきさるまで讀んだ。さうしてヨクテウすぐ手にトれるやうに本をまくらもとのカミギハにオいた。

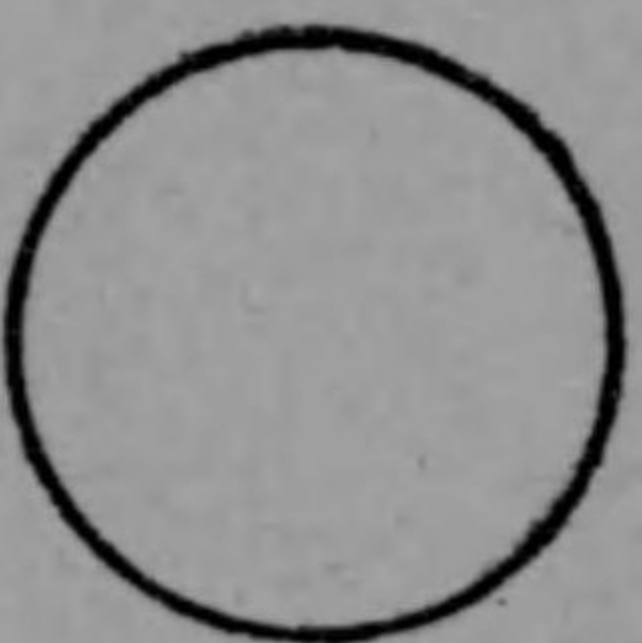
算術科

(1) 次ノ計算ヲナサカ。

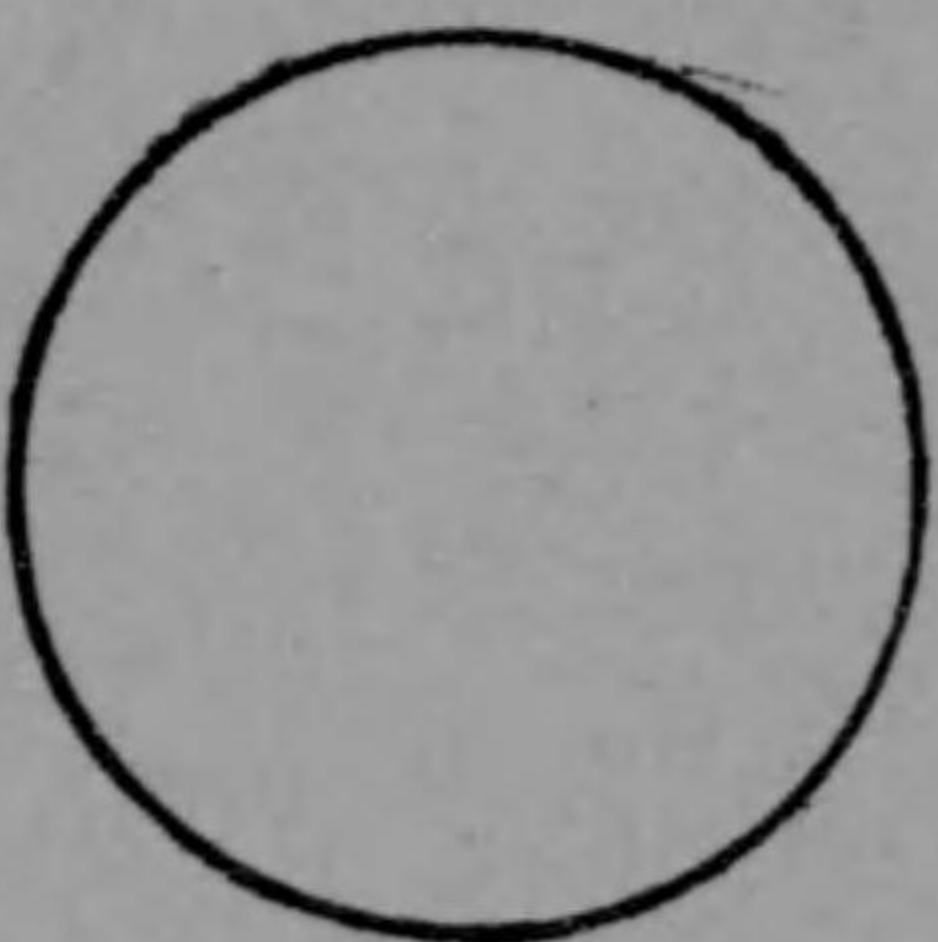
(イ) $(\frac{5}{7} - \frac{3}{14}) \times \frac{2}{3} \div \frac{5}{6} - \frac{1}{4} \div 2 \frac{3}{8} \times 3 \frac{4}{5}$

(ロ) $(\frac{1}{25} \times 8.5 \div 1.25) \div (18.36 - 5 \frac{1}{2} \times 3 \frac{1}{5})$

(2) 甲



乙

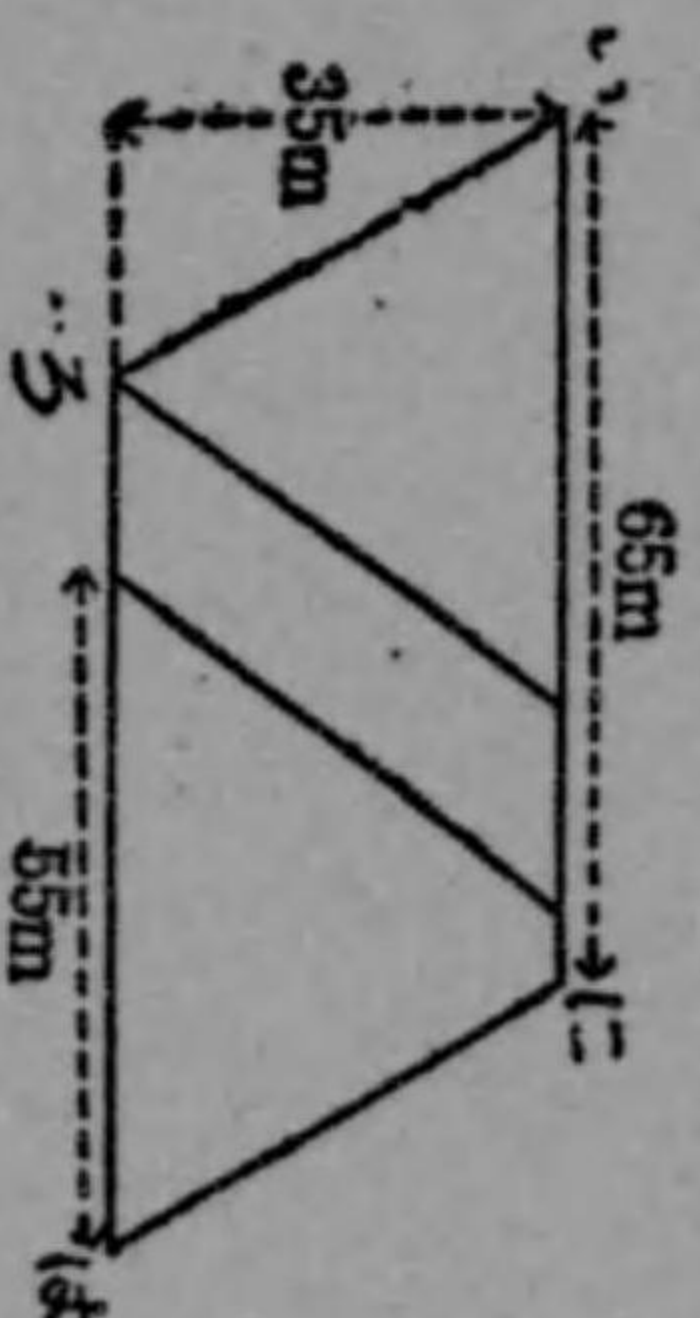


甲圓ノ直徑ハ3m, 乙圓ノ直徑ハ4.5m デス。甲圓ノ面積ハ乙圓ノ面積ノ何倍デスカ

(3) 花子ト千代子トガ同額ノオ金ヲ出シテ繪葉書50枚ヲ買ヒ, コレヲ分ケタトキニ花子ガ千代子ヨリ8枚多ク取リマシタノデ, 花子カラ千代子ヘ12錢ダケ上ゲマシタコノ繪葉書ハ一枚イクラデスカ。

(4) 呉服屋ガ甲ノ反物ヲ2割損シテ12圓デ賣リ, 乙ノ反物ヲ2割儲ケテ24圓デ賣リマシタ。コノ呉服屋ハ何圓ノ損又ハ得ヲマシタカ。

(5) 左圖ノヤウナ平行四邊形(ノロハニ)ノ地面ノ中ニ圖ノヤウニ道路ヲ作ルト, 殘リノ地面ハ何「アール」ニナリマスカ。



國史・地理・理科

(一) 左の三大節は何月何日で、如何なる日ですか。

- (1) 紀元節 (2) 天長節 (3) 明治節

(二) 本居宣長等が國學を研究したために、どんなことが分りましたか。

(三) 次の上段のかつこ内へ、下段のうちの最も關係のふかい人名を書き入れなさい。

- (1) 關が原の戦() 源頼朝

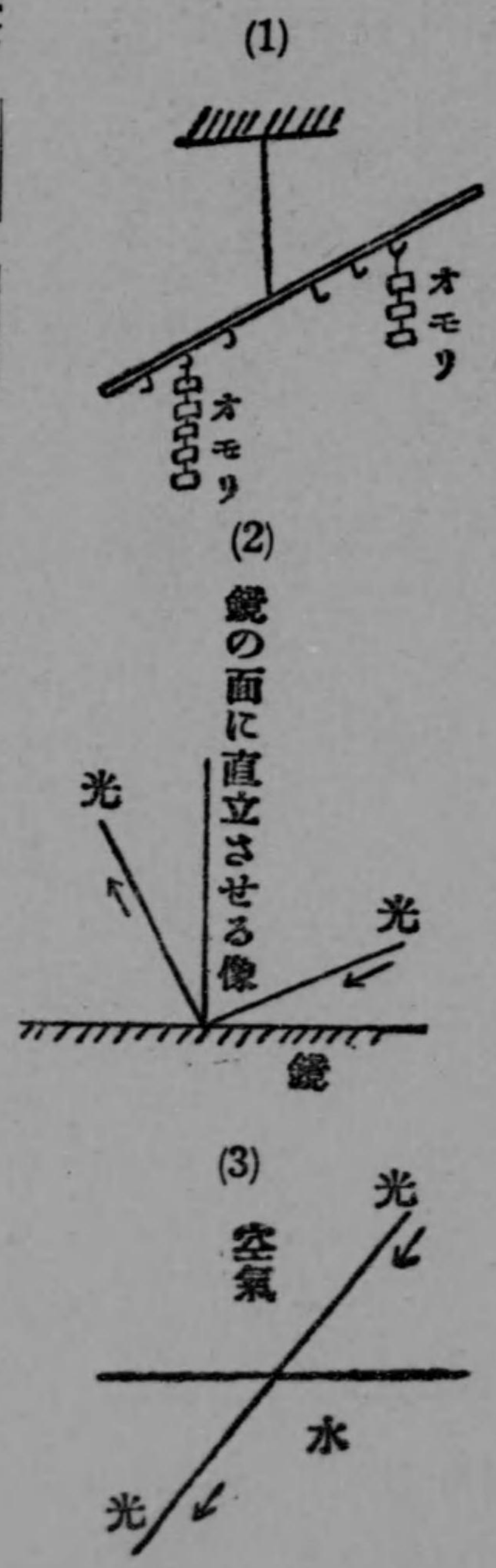
(2)	大日本史	()	中臣鎌足
(3)	大化の新政	()	大久保利通
(4)	憲法發布	()	楠正成
(5)	開港論	()	徳川光圀
(6)	武家政治の始	()	渡邊華山
(7)	明治三十七八年戦役	()	北畠親房
(8)	建武の中興	()	徳川家康
(9)	明治維新	()	伊藤博文
(10)	霊山神社	()	乃木希典

(四) 次の地名のうち互に似てゐるもの三つづゝ、選んで五組に分け、その似てゐる點は何であるかを書き添へなさい。

例 (松島) 風景のよい所 (瀬田) 陶器の産地
 (天橋立) 風景のよい所 (有田) 陶器の産地
 (厳島) 風景のよい所 (多治見) 陶器の産地

パリ、横濱、別府、新京、釜山、直島、大湊、伊香保、馬公、ワシントン、基隆、佐賀關、鎮海、四阪島、修善寺

(五) 次の圖に間違があれば直しなさい。



(六) をばなとめばなとわかれて咲くもの三種をあげなさい。

双葉高等女學校 (所在地) 麴町區下六番町

第一試問 (六十分)

(一) 次の文をよく讀みて問に答へよ。
 勝安芳がいふ「官軍方の御意見はどのやうなものか存じませんが、拙者の考へる所

双葉高等女學校

では今日日本の周囲には諸外國が様々の考を持つて見てをるので、うか／＼と兄弟垣にせめいでゐたら、日本全國にのしをつけてどこぞの國へやつてしまふやうな事にならぬと決して申されませぬ。之に比べ幕臣の身としては如何がな申分ではあるが、徳川家の存亡などは云ふにも足らぬ小事でござります。」

問一 「官軍方」とは何を指すか 「官軍方」の相手は何か

問二 「今日」とはいつ頃を指すか 「日本の周囲にあつた諸外國」は何國か

問三 (1) 「兄弟垣にせめいでゐる」のわけ

(2) 「日本全國にのしをつけてどこぞの國へやつてしまふやうな事」のわけ

問四 「之」とは何の意味か 「之に比べれば」は何を比べるか

(二) 次の語に讀方をつけよ。

紋所 交替 合圖 擔當 疲弊

(三) 次の文字にて熟語をつくれ。(各二つ)

雄 豫 觀 精 採

(四) 次の語を用ひて短文を作れ。

發露 あくまでも

(五) 次の語句を解釋せよ。

(イ) 五づくんど二朝に仕へんや。 (ロ) 大勢日々に非なり。

(ハ) 制度を運用するのは人である。 (ニ) とこしへに天の日嗣を護りまつらむ。

第二試問 (60分)

注意 上ハ凡ソ 3cm アケテカクコト。

((1), (2), (3)ハ運算ト答, (4)以下ハ式ト答ヲカケ)

(1) 7.86×6.94 答ハ毛ノ位ニ止メラソレ以下ハ切捨テヨ。

(2) $3.5791 \div 0.38$ 答ハ小數四位ヲ出シソレ以下切上ゲヨ。

(3) $3\frac{4}{7} - 1.5$ 分數ヲ答ヘヨ。

(4) 17.8m 平方ノ面積ハ何程カ。

(5) 或桶=水ヲ滿ス=大管ヲ用フルト 8分カカリ, 小管ヲ用フルト 12分カカル。大管 2本ト小管 5本ヲ同時ニ用フルト何分何秒カカルカ。

(6) 商人ガ元金ノ $\frac{2}{9}$ ダケ儲ケテ元金ト儲トデ 39.6圓ニナツタ。元金ハ何程カ。

(7) 亞鉛 65 瓦 = 稀硫酸ヲカケルト水素ガ 2 瓦トレル。234 瓦ノ亞鉛カラ水素ガ何瓦トレルカ。

(8) 或學校 = 女生徒ガ 384 人ト男生徒ガ 408 人居ル, 男生徒ノ女生徒ニ對スル比ヲ出

來ルマケテ簡單ニ表セ。

- (9) 4分利附ノ某公債ノ半年間ノ利子が25圓デアル、コノ公債ノ額面高ハイクラカ。
- (10) 3圓ニ賣ルト2割ノ益ガアル品ヲ2圓70錢ニ賣ルト、幾ラノ益ガアルカ損ガアルカ。

佛英和高等女學校

(所在地) 麴町區富士見町二丁目

國語科 (五十分間)

(一) 電燈の發明せられたるは、今より約百十餘年前のことなり。當時は單に理化學の實驗用として使用せらるゝに過ぎざりしが、次第に改良せられて、四五十年の後には燈臺などにすゑ附けらるゝに至りぬ。然れどもこは今日のアーク燈に類するものにして、公園・街路等の照明用として適當なれども、室内に用ふるには、大仕掛にして光力強きに過ぎ實用に適せず。これ等の缺點なき電燈の出現は當時の人の最も希望する所なりき。

右の文を読んで左の問にお答へなさい。

- (1) 電燈は何時頃發明されたか。 (2) 其の當時はどんな電燈であつたか。

(3) なぜ實用に適しなかつたか。 (4) 線の(イ)(ロ)は何を指すか。

(5) 「當時の人の」といふ當時は何時頃か。

(二) 次の文句を分り易く解釋しなさい。

(1) ものすごい緊張を示してゐる。 (2) 路頭に迷ふ者数を知らず。

(3) 如何にもけなげに存ぜられ候。 (4) 學國一致國難に當る。

(三) 次の漢字に讀み假名を附け意味をお書きなさい。(讀假名を右側に意味を下に)

日和 境内 風説 所存 目撃 當惑

(四) 次の語句を用ひて短文をお作りなさい。

(1) からうじて (2) あやにく (3) ちすがに (4) 今や遅しと

算術科 (50分間)

(1) 或人ノ日給ハ2圓50錢デ夜業ヲスルト50錢多クモラヘル、28日働イテ79圓モラツタ人ハ幾日夜業ヲシタカ。

(2) メイセン1反ヲ6圓65錢ニ賣レバ5分ノ損ニナル、之ヲ何程ニ賣レバ1割5分ノトクガ得ラルルカ。

(3) 或女學校デ入學試験ヲシタラ全受験者ノ $\frac{1}{25}$ ハ成績甲、 $\frac{1}{15}$ ハ乙デ、丙カラ13人ヲ取ツテ合計45人ニ入學ヲ許シタ受験者ノ總數何程カ。

- (4) 矩形ノ紙ガアツテ横ト縦トノ比ハ5:6デアラル、周圍ノ長サガ242 Cmデアルトキハ横ト縦トノ長サ各幾 Cmカ。
- (5) 或人ガ書物ヲ讀ムニ初日ニハ全體ノ $\frac{3}{7}$ ヲ讀ミ、2日目ニハ初日ヨリモ3頁多ク讀ミ、3日目ニハ20頁讀ンテ全部ヲ終ツタ、書物ノ頁數ハイクラカ。
(以上各題トモ式ト答トヲオカキナサイ)

理科 (30分間)

- (一) つばめはいつ頃日本へ来ていつ頃去るか、又それは何故か。
- (二) 海藻はその體のどの部分でどこから養分を取るか、又野菜ではどうか。
- (三) 十八金とか二十金とかいふのは何のことか。
- (四) 室のすみでストーブをたいても室全體が温まる、このときの熱の移り方はどうか。

九段精華高等女學校

(所在地) 麴町區飯田町一丁目

國語科

- (一) 次の文を解釋しなさい。

- (1) 春日の社頭朱の廻廊山の緑にはえて森嚴自ら人の襟を正さしむ。
 - (2) 春は繪のごと我等をめぐる。
 - (3) 行手定めぬ浪まくら。
 - (4) 不朽の名聲を博した。
 - (5) 壯觀實に筆舌に盡し難く候。
- (二) (1) 次の漢字の上又は下に他の漢字を加へて熟語を作りなさい。
- 興() 興() 樂() 行() 行() 行() 勸()
 歡() 觀()
- (2) 次の文字に誤があつたらなほしなさい。
 露座の大佛 勳險の美風 陣列品 密柑山 畜音機
- (3) 左の詞を用ひて短文を綴りなさい。
 (イ) あくまで (ロ) かへすべし

算術科

- (1) 鉛筆8ダースヲ幾人カノ子供ニ7本ツツ分ケタラ5本餘ツタ、子供ノ數ハ幾人カ
- (2) 甲乙二人ノ持ツテ居ル金ハ合セテ18圓70錢デ、甲ノ分ハ乙ノ分ノ $2\frac{2}{3}$ 倍デア
ル、甲ノ所持金ハ幾ラカ、又乙ノ所持金ハ幾ラカ。
- (3) 1時間=3.5kmノ割テ毎日7時間ツツ歩クト147kmヲ行クニハ幾日カカルカ。
- (4) 雞卵50個ヲ鐵道便デ送ツテ來タガ、其ノ中ノ13%ハヨハレ8%ハ腐ツテキタ

ヨイモノ、幾個カ。

(5) (1) $6 \times \{(5.1-3) \div 7\}$

(2) $\frac{2}{3} = \frac{24}{\square} = \frac{\square}{54}$

◆ 國 史

- (一) 日露戦争で我國が大勝利を得た理由を述べなさい。
- (二) 左の人名の上の()の中に年代順に(1)から(6)までの番號を入れなさい。
 () 伊藤博文 () 大石良雄 () 楠木正成 () 豊臣秀吉 () 源頼朝
 () 毛利元就
- (三) 明治時代に我國の領土の増したのはどこ〜ですか。

◆ 地 理

- (一) 我國の主要なる輸出品及び輸入品を挙げなさい。
 - (二) 東京から各地方に出る鐵道線路の名を挙げなさい。
 - (三) 左の國名の下にその首府の名を記入しなさい。
 滿洲() イギリス() イタリア() フランス()
 ドイツ() 北米合衆國()
- ◆ 理 科
- (一) 石灰の用途を述べなさい。

- (二) 體温は普通攝氏では何度位ですか。
- (三) 電氣を應用した物を五つ挙げなさい。

女子學院

(所在地) 麴町區上二番町

◆ 讀 方

- (一) 次の語は何と読みますか。右わきに假名をお付けなさい。
 (1) 勘定 (2) 明星 (3) 徽章 (4) 著述 (5) 體裁 (6) 重寶 (7) 原野
 (8) 燃料 (9) 書籍 (10) 苦行
- (二) 次の解釋をお書きなさい。
 (1) 稀代の天才 (2) 消息を交換する (3) 産を失ひて路頭に迷ふ
 (4) 高弟の言行を集録する (5) 百方畫策する
- (三) 次の片假名のところを漢字に直して□の中にお書きなさい。
 (1) □□の□□をよくして□□な病氣を□□する。
 (2) 街上では□□の□□に従ふ。
- (四) 次の語の誤を右わきに正しなさい。

(1) 疑門 (2) 観迎 (3) 辨護士 (4) 秘蜜 (5) 栽培

(五) 次の言葉の中から適當なものを四つ選び出し□の中の一つづゝお入れなさい。

不意。 それぐ。 内 容。

到る處。 毛 頭。 すぐくと。

(イ) さやうなことになれかしとは□□考へませぬ。

(ロ) その本の□□がわかつてしまふまでは何度でも讀む。

(ハ) 二人は□□の來客にさも驚いたらしい。

(ニ) 宣長は力を落して□□もどつて來た。

◎綴方待遠かつたこと。

算 術

(1) $21.2 + 3.6 + 0.045 - 3.679$ を計算せよ。

(2) $5\frac{1}{2} - 1.2 \times \frac{3}{7} \div \frac{9}{14}$ を計算せよ。

(3) $\frac{792}{7260}$ を約分せよ。

(4) 次の計算=於て○の中=適當ナル數字ヲ入レヨ。

$$\begin{array}{r} 06075 \\ + 90320 \\ \hline 131202 \end{array}$$

(5) □×(1+0.06×3)=2832圓ノ□=適當ナル數字ヲ入レヨ。

(6) 身長152cmノ花子ノ影ガ110cmアツタ時=庭ノ立木ノ影ガ8.8mアツタ木ノ高さハ幾ラカ。

(7) 4mノ紐ヲ樹木ノ周ヲ計ツタラ一週シテ尙紐ガ $\frac{2}{5}$ ダケ餘ツタコノ樹木ノ周ハ何程カ。

(8) 450人ノ受験者ノ中ツノ2%合格シタ、不合格者ハ何人カ。

(9) 直径200mノ圓形ノ池ガアルツノ面積ハ幾アルカ。

(10) 11圓ノ反物ヲ1割引ヲ買ツテ10圓札1枚ヲ出シタ、オツリハ幾ラカ。

(11) 並幅35cmノメリンスヲ紐ヲツクルニ之ヲ五ツニ割ツテツギ合セタラ紐ノ長さ幾ラトナルカ (ツギ目ノ縫代ハ1cmヲ兩端モ1cmヲオリコムコト)

(12) 學校ノ始業ハ午前8時30分デアアル家カラ學校ヲデハ45分カカル、今始業ノ15分前ヲデニ學校ニ行カウト思ヘバ何時ニ家ヲ出タラヨイカ。

日本女子商業學校

(所在地) 麴町區富士見町

◆國語問題

- (一) 左の語を讀んで下れよ。
 扱方。 部室。 組織。 屏風。 編輯。 檜。
- (二) 次の語の譯をおかきなれよ。
 非凡。 刊行。 貢獻。 着手。 行啓。 間接。
- (三) 次の文を讀んで [] の中に適當なる句を入れて下さい。
 (イ) [] を取り [] を捨て、とつ國におとらぬ國となすよしもがな。
 (ロ) [] [] 實に歡喜の情に堪へない。
 (ハ) 忠臣孝子の美名は [] 傳はらん。
- (四) 左の文中の誤字を正し線を引いた所には漢字をおかきなれよ。
 (イ) 私わ毎朝ラヂオ體操を到してします。
 (ロ) 旭日にかいやく國旗が家々にひるがくる。

◆算術問題 (60分間)

((1),(2),(3)ハ運算ト答トラ(4),(5)ハ式ト答トラ書キナサイ)

- (1) $125 - [100 - \{75 - (50 - 25) + 25\} + 50] =$
- (2) $3.125 \times 4.03 \div 0.001 =$
- (3) $\left(2\frac{3}{7} + \frac{5}{14}\right) \div \left(0.1 + \frac{2}{5}\right) =$
- (4) 國旗ノ横ノ長サガ120cm ヲ縦ノ長サガ横ノ $\frac{2}{3}$ トスルト、其ノ旗ノ面積ハ何程ヲ
 ヲナスカ、又中ノ日ノ丸ノ直径ガ縦ノ長サノ $\frac{3}{5}$ トスレバ日ノ丸ノ面積ハ何程ヲ
 ナスカ。
- (5) 元金5600圓ヲ日歩2錢ヲ37日間預ケタ場合ノ利息ト元利合計トヲ答ヘナサイ。

日本橋高等女學校

(所在地) 日本橋區馬喰町四丁目

◆試問 (一) (五十五分)

- (一) 何分田舎にて萬事不便には () 若し御光來相成 () 及ぶかぎりの御便宜相
 計り申すべく ()
 右の文の意味が通るためには () の中に次のどれを入れたならばよいか。
 候へども 候 候はゞ

(二) 次の下の言葉の中で上の言葉の意味にあたるものに線をひきなさい。
密林 林のこと、森のこと、木のしげつた林、こんもりした木。

壯観 大きなみかた、勇ましいながめ、立派なこと、元気なさま。
需要 與へる、世話をする、不必要、求める。

勝算なし 勝つみこみが無い、負けない、数がたくさんない、勝つた。
つゝがなし 都合がわるい、つれもない、つゝがむしがわるい、無事。

(三) 次の片假名の下に漢字を入れなさい。

1. ゴウレイ()がかゝると。ユクワイ()にかけ出した。
2. エハガキ()をコヅツミ()で送る。
3. 非常なるドリヨク()をして、タンケン()を續けた。
4. 淺蟲は名高いオンセンバ()でカイスキヨク()も出来る。
5. セイセキ()はイウトウ()である。

(四) 次の言葉の中あやまりのある言葉の右に線をひきなさい。

- | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|
| 熱練 | 裁何 | 機會 | 往腹 | 商賣 | 完成 |
| 是悲 | 清米 | | | | |

(五) 「再三」といふ言葉は次の文のどこに入れたら一番よく意味があふでせうか。

僕は ことはつたのです。

皆が 僕のことを

(六) はやて吹くやみにたゞよひ

思出の深き船路や

船は今靜かに歸る

右の詩で思出といふのは何をさしてゐますか、その場所に線をひきなさい。

(七) 次の上の言葉と下の言葉とを意味のわかるやうに線でつなぎなさい。

- 實用に
- 疑問を
- 人格を
- 仕事に
- 記録を
- 健康を
- 目的が
- 原料を
- 研究を

- 着手する
- 解決する
- 回復する
- 裁判する
- 調合する

すると しまひには
弱蟲だといつて 笑ひました。

寄るべなき海にさすらひ
つゝがなく今日しも果て、

懐かしき故郷の港。

訴訟を

(八) それから船はクレブラの掘割を通る。これは高い山地を切通したもので、此處を切通すのは非常な難工事であつたといふことである。掘割を通過して船は又湖に出る。ガッン湖といつて、廣さが霞が浦の二倍以上もある大きな人造湖で、湖上に點々と散在してゐる島々はもと此處にそびえてゐた山々である。此の湖を渡つて又水門を通過する。今度は前と反對に順次に三段を下つて、海と同じ水面に浮ぶ此處から又掘割を走つて、終に洋々たる大西洋に出るのである。

() ガッン湖 () クレブラの掘割 () 大西洋 () 水門 () 掘割

(九) 次の言葉をつかつて短文を一つづつ作りなさい。

1. 心ゆくばかり
2. 餘程

(一〇) 次の言葉を結びつけて一つの文にするために()の中にそれぞれ2.3.4.5.6.の番號をつけなさい。

- (1) 買ふ人の無智に乗じて () 見本には
 () 實際の注文に對して () 粗惡なものを送るやうな事は
 () 精良な品をつかつて () 人として爲すべからざることである

(一一) 次の文を読んで終りの三つの中どの例に當るか、○をつけなさい。

明治三十七八年戰役に、上村艦隊は敵の軍艦リューリックを打沈めた時、敵のおぼれ死なうとする者を六百餘人も救ひ上げました。

慈善 勇氣 博愛

(一二) 次の各について()内に適當の文字を入れなさい。

1. 貴族院及び衆議院の議員を選挙するには、よく注意して候補者の中から()人を選ばなければならぬ。
2. 人は誰でも()を受けて、はじめて善良有爲の人となることが出来るのです。
3. 神武天皇の御即位から今日まで、我が國は()を中心として全國民が一つの大きな()のやうになつて榮えて來ました。
4. 我等は何かよい事をする、人にほめられないでも自分で心()感じ、また何か悪い事をする、人に知られないでも自分で氣が()ます、これは誰にも()があるからです。

試問 (二) その二

(一) 次の圖は昭和三年の日本の米の産額を比較したものです。イと書いてある地方は何地方ですか。

イ	奥羽 地方
	九州 地方
	近畿 地方
	關東 地方
	其の他 地方
	朝鮮 地方
	臺灣 地方

年産額約一億四千五百萬ヘクトリツトル

(二) 次の圖中イ、ロ、の地名を書きなさい。



- (三) 次の文章は正しいか誤つて居るか。正、誤、何れかの下に線を引け。
- (1) 多摩川の水は東京に引かれ相模川の水は横濱に引かれて市民の飲料水や用水になつてゐる。正……誤

- (2) 日本の川は大てい廣くて長く、且つ流れがゆるやかで、交通上の便は少いが、くわんがいや發電には利用されてゐる。正……誤。
- (3) 近畿地方は北西部と南部に平地が多く中央部に山地が多い。正……誤。
- (四) 次の都市の中で石油業によつて發達したものの下に線を引け。
長野。名古屋。仙臺。柏崎。熊本。
- (五) 次の縣の中で養蠶業の最も盛んなもの下に線を引け。
宮城縣。群馬縣。香川縣。青森縣。島根縣。
- (六) 次の文章の□の中に適當の文字を入れなさい。
- (1) 東京は我國の□□で□□下流の低地から西方の臺地にわたつて居る都會である。
- (2) 盛岡や白河には秋毎に□の大都市が開かれて各地からたくさん□が集つて来る。
- (3) 仙臺灣の一部には□□□があるこの□内には松のしげつた大小あまたの□があつて景色が甚だ美しい。
- (七) 次の圖は樺太のバルブ製紙の工場の分布圖です。
(イ)とある所はどこですか。



日本橋高等女學校

- (八) 次の上の言葉の中で下の言葉と互に結びあふものを線をもつてつなぎなさい。
- 火山のある處には 伊勢海に入る。
 - 甲府の附近では 温泉地が多い。
 - 木曾川は ぶだうを産する。

問(一) その三

- (一) ()内に適当な語を入れなさい。
天照大神は瓊瓊杵尊に
1. () 2. () 3. ()
を授け給ひき。之を三種の神器といふ。
- (二) ()は使を支那につかはして交際をはじめ給ひ、その國書に「日出づる處の天子書を日没する處の天子にいたす。恙なきか」と書かせたまへり。
- (三) ()は江戸を()と改め、京都よりこゝに都を遷し給ふ。
- (四) 聖武天皇の皇后は()と申し奉る。皇后もまた天皇と同じく、あつく()を信じ給へり。
- (五) 事件とそれに関係ある人物とを線で結びつけなさい。

伊藤博文 バリー平和會議

西園寺公望 ポーツマス條約

下關條約

ワシントン會議

- (六) 適当な人名の下に線を引きなさい。
1. 藤原道長、源義家、徳川光圀、本居宣長は大日本史を作つた。
 2. 蒲生君平、新井白石、北畠親房、吉田松陰は神皇正統記を著した。
- (七) 正しい答の下に線を引きなさい。

答1. 江戸幕府を開いた。

2. 古事記傳を著した。

3. キリスト教を禁じた。

4. 元軍をしりぞけた。

北條時宗は

- (八) 下の答の中誤と思ふ方を消しなさい。
大岡忠相を江戸町奉行に任じたり。青木昆陽に甘藷の作り方を記させたりした人は
- 答
1. 徳川慶喜である。
 2. 徳川吉宗である。
- (九) 神社につけてある()内に、そこにまつられてゐる人の番號を入れなさい。

- () 護王神社
- () 湊川神社
- () 建勳神社

1. 和氣清麻呂
2. 菅原道真
3. 織田信長
4. 楠木正成
5. 豊臣秀吉

(10) ()内に年代順に番號を入れなさい。

- () 源義家
- () 藤原鎌足
- () 乃木希典
- () 平重盛

◆試問 (二) (45分間)

(1) 次ノ計算ヲナセ。

$$\begin{array}{r} 163 \\ 365 \\ 127 \\ 554 \\ + \\ \hline 128 \end{array}$$

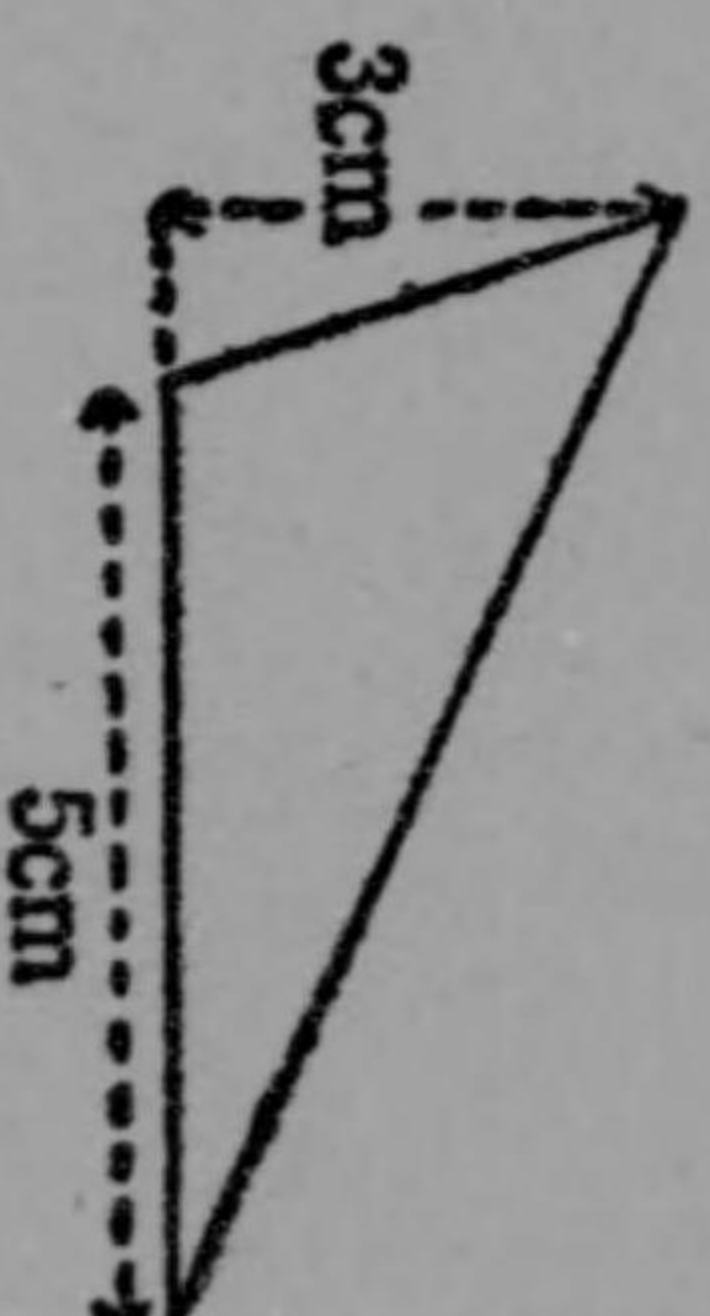
(2) 次ノ計算ヲナセ。

$$0.5 \times 1.4$$

(3) 次ノ數ノ中3ト5ノ公倍數=△印ヲツケヨ。

- 30, 35, 45, 65, 90,

(4) 下ノ三角形ノ面積ヲ求メヨ。



(5) 次ノ比ノ反比ヲ書キ其ノ値ヲ求メヨ。

$$\frac{4}{5} : \frac{3}{10}$$

(6) 或數ヲ4デ割ツタラ8ニナツタコレハピンナ數カ。

(7) 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$\left(2\frac{1}{3} - \frac{1}{2}\right) \times 3\frac{1}{5}$$

(8) 午前8時15分ヨリ午後4時15分マデハ何時間カ。

(9) 30圓ノ150圓ニ對スル歩合ハイクラカ。

(10) $35m \div 7$ ハドソナ意味ノ式カ。

次ノ説明中正シイモノニ○印ヲツケヨ。

() $35m$ ハ7ノ幾倍ダカラ見ル式

() $35m$ ヲ7ツヅツニ分ケル式

() $35m$ ノ中ニ7ハ幾ツアルカラ見ル式

() $35m$ ヲ7ツツニ等分スル式

(11) 次ノ式中正シイモノニ○印ヲツケヨ。

() $\frac{2}{5} + \frac{3}{2} = \frac{5}{7}$ () $\frac{2}{3} = \frac{2 \times 2}{3 \times 3} =$

() $\frac{4}{5} \div 2 = \frac{2}{5}$ () $\frac{3}{5} + 2 = \frac{3}{10}$

() $3\frac{2}{5} \times 2 = 3\frac{4}{5}$

(12) 圓ノ周ノ直径ニ對スル比ハ22ト7トノ比デアルトスレバ周ガ44cmノ圓ノ直径ハ幾cmカ。

(13) 次ノ割算ノ答ハ小數第二位ヲテ出シ、下ハ四捨五入セヨ。
 $2.485 \div 0.03$

(14) 一本ノ絲カララ25cmノ絲ヲ4本切取ツタラ22cm 殘ツタ元ノ長サハ何程カ。

(15) 2割ノ利益ヲ得テ240圓デアツタ品ノ原價ハ何程カ。

(16) 1日0.85リツツ食ベルト18日デナクナル糧食ガアルコレヲ毎日0.05リツツ多ク食ベルト幾日アルカ。

(17) 50ペーヅノ本ヲ2日デ讀マウト思ツテ第一日ニ30ペーヅヲ讀ソダ、第二日目ニハ全體ノ何分ノイクラ讀マホバナラヌカ。

(18) 水ハ日方ダイソト水素1ト酸素8ノ割合デアラ居ル化合物デアル、2700立方cmノ水ノ中ニアル酸素ノ目方ハ幾kgカ。

(19) 日歩2錢ノ時元金700圓50日間ノ利息ハ何程カ。

(20) 今日(三月十四日)ハ水曜日デアル今年ノ明治節(十一月三日)ハ何曜日カ。

試問 (二) の二

(一) 次に書いてあるものを重いたちの方から()の中に番號をつけなさい。

() 空気 () たんさんガス () 水素

(二) 次に書いてあるものの中にほひのあるもの、下に線をひきなさい。

酸素 アンモニヤ、水素、えんさんガス、たんさんガス、ありうさんガス。

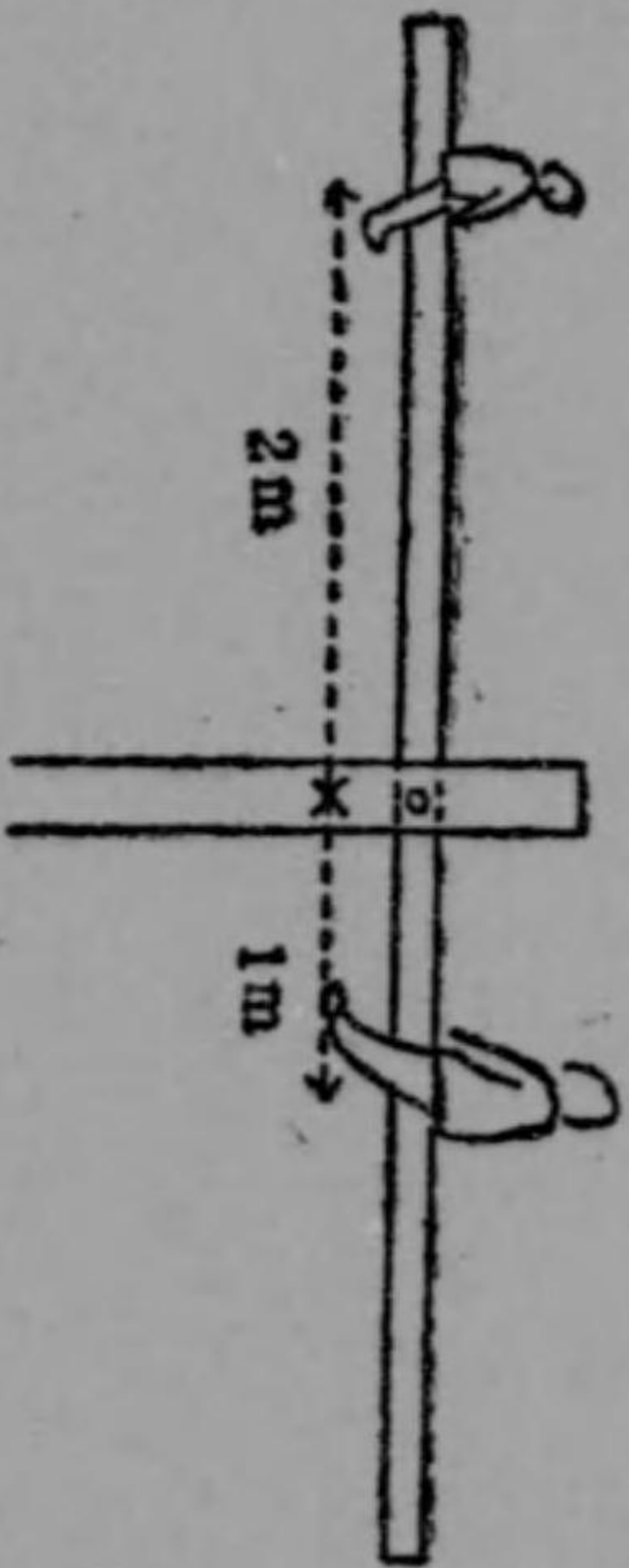
(三) 次のもの、中化合物の下に線をひきなさい。

ゆわら、水、酸素、鐵、たんさんガス、鉛、たんそ、アンモニヤ。

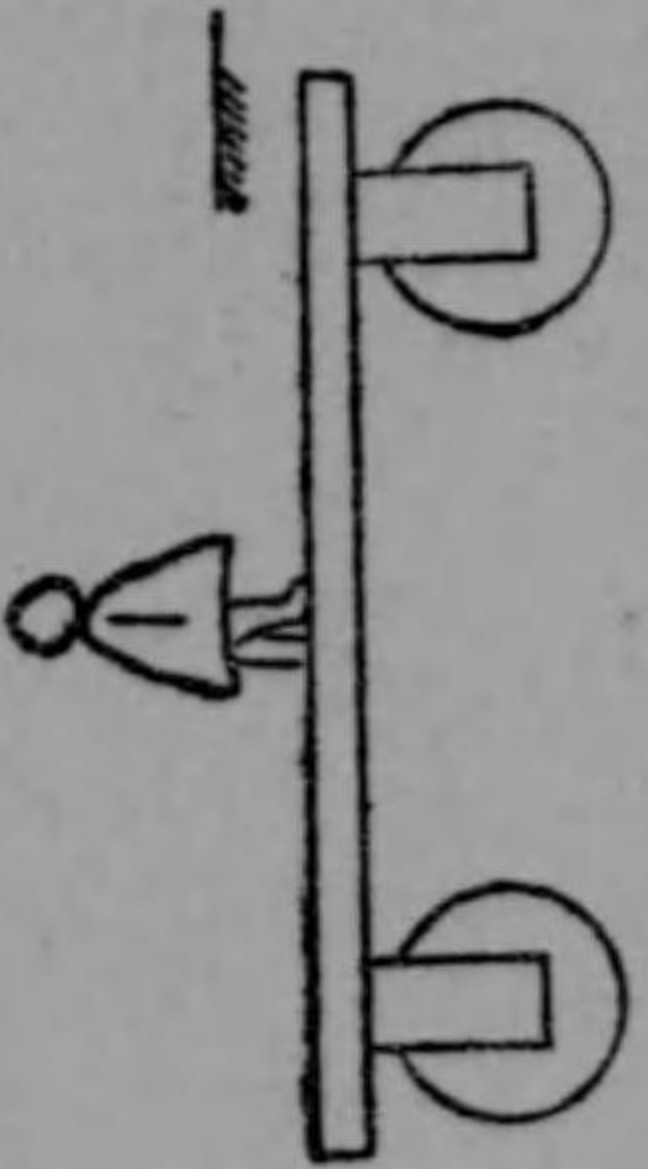
(四) 次の圖に於て、さがる方に一をつけなさい。

40kg

60kg

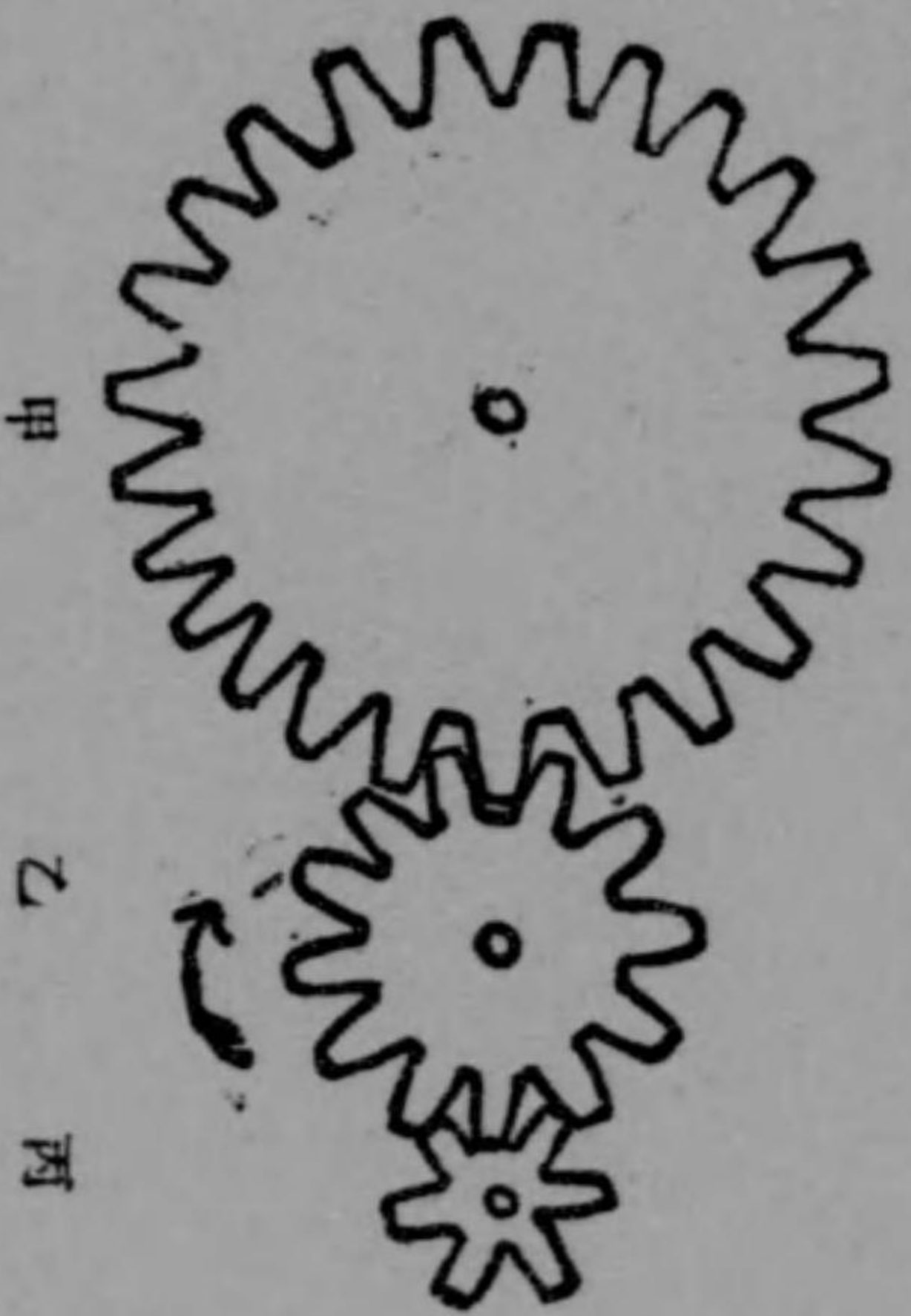


(五) 次の圖に於て車が急に↓の方向に動きだしたとしたら其の上に立つて居る人はどちらの方にたふれかゝりますか矢で示しなさい。



(六)

圖のやうに甲乙丙三つの齒車がかみ合つて居るとする。



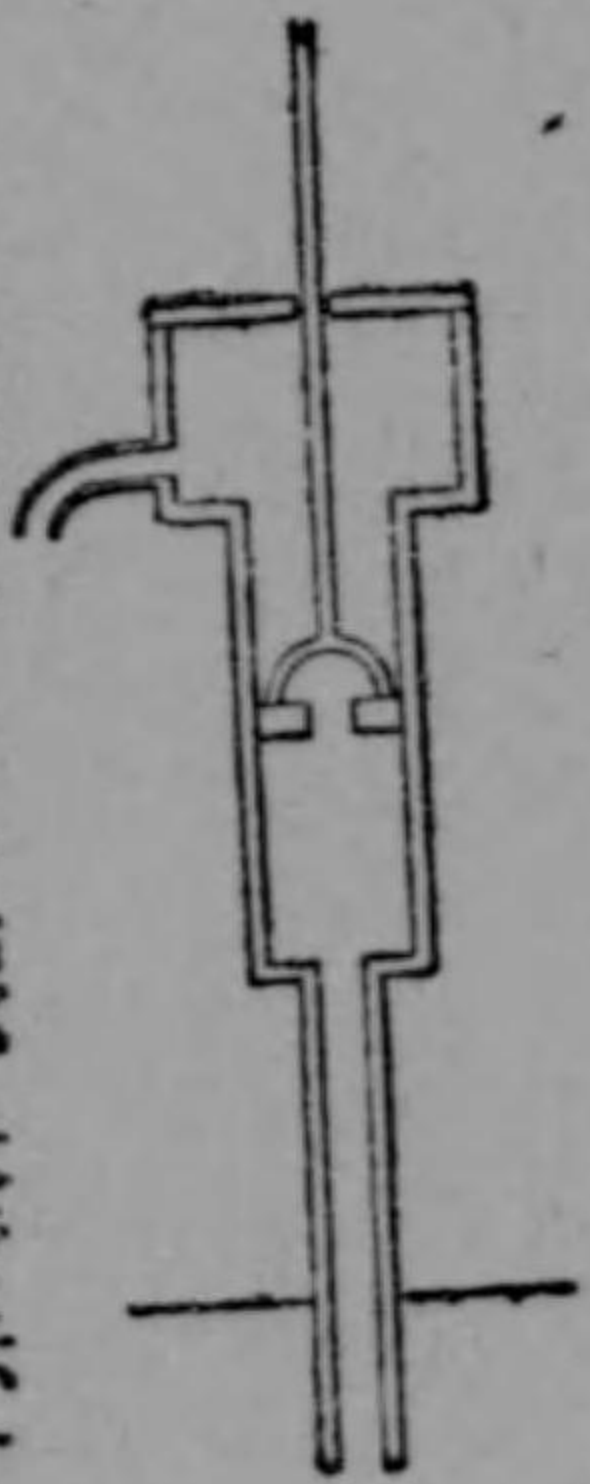
イ、もし乙を↓の方向にまはしたならば甲と丙とはどうまはるでせうか矢で示しなさい。

ロ、乙が六回まはる間に甲と丙とは何回づつ、まはりませうか各の下に回数を示しなさい。

(注意) 齒の數は甲は六、乙は十二、丙は二十四であります。

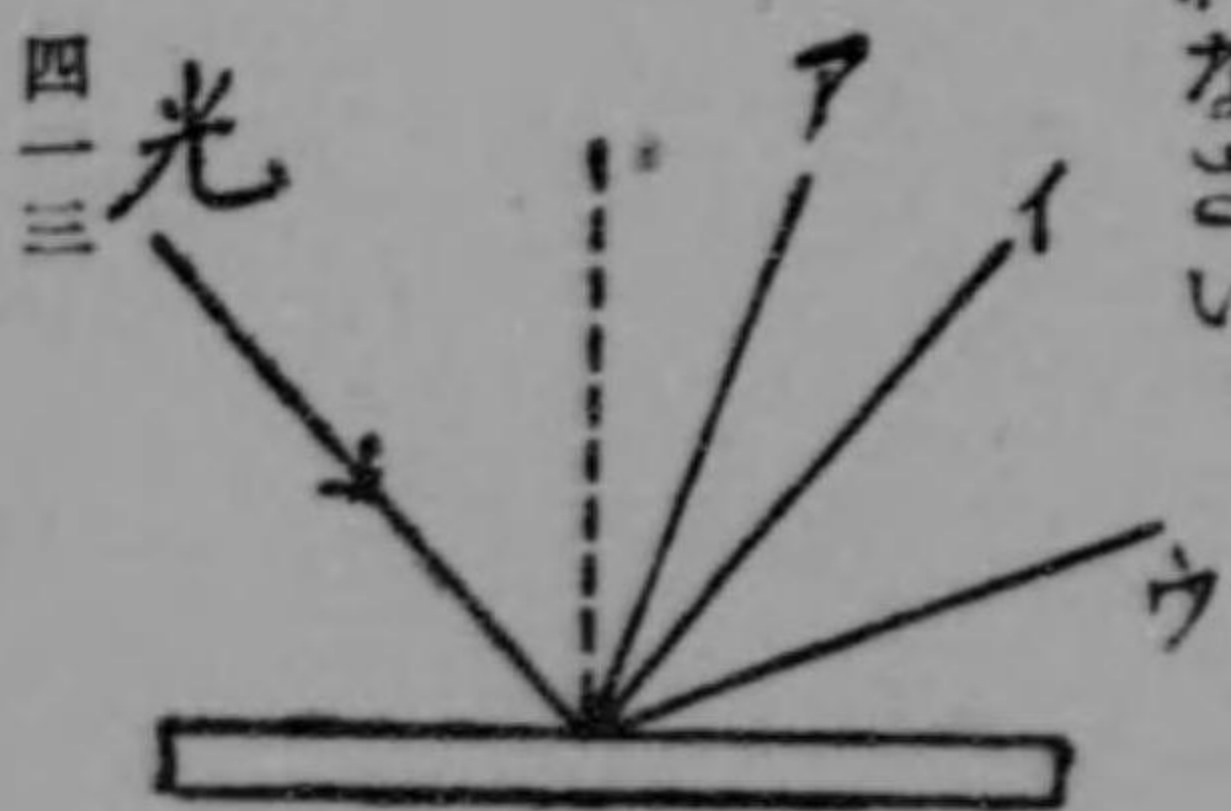
(七)

暖上ポンプ



次のポンプにべんをかき入れなさい。

(八) 次の圖のやうに光が矢で示す方向から来て鏡に當つたとする。はんしやした光がアイウの中の一つであるとしたならば、どれでせうか矢で示しなさい。



(九) 次の()の中に適當の文字を入れなさい。

ア、糸を強く張る程糸は()音を發する。

イ、一つの磁石の北を指す極を他の磁石の()を指す極に近づけると互に引合ふ。

ハ、一つの電池に太さや長さのちがつた銅線をひすび電流を通じて見ると銅線の()程又()程電流が弱い。

◆試問 (二) その三

(一) 次のもの、中小麥でつくるもの、上に○をつけなさい。
パン ツバ ウドン

(二) 次のもの、中、火成岩の上に○をつけなさい。
レキガン アンザンガン 石灰岩 クワコウガン

(三) 次のもの、中、稻をたべるものに○をつけなさい。
ウンカ アラムシ ズキムシ ゲンゴラウムシ

(四) 次のもの、中、みそをつくるに必要なもの、上に○をつけなさい。
大豆 小麥 大麥 粟 鹽 サツマイモ

(五) 次の()の中に適當の文字を入れなさい。

イ、地球の内部が熱いことは()や()でわかる。

ロ、ツバメは()だからとつてはいけません。

ハ、オタマジャクシは成長して()になる。

ニ、ソラマメは()月頃畑にまきます。

ホ、蚊は()から變化して出ます。

ヘ、蠶は()をたべて育つ。

共立女子専門學校

(所在地) 神田區一ツ橋通町

◆國語科 (一時間三十分)

(一) 清少納言の文を行ふや奔放にして自由、些の澁滞を見ず。偽らず、飾らず、眞率に彼が本來の面目を暴露し來りて、その驕慢なる虚榮心の隨所にほの見たるもをかし。(以上解釋)

(二) 解釋と漢字の讀方

イ、神來の筆を馳す。

ロ、小徑微かに隠見す。

ハ、緻密周到を極む。

(三) 動詞と時の助動詞との連続を述べ、其例を示せ。

◎作文試験問題 (一時二十分)

我等の歩むべき道 (文體口語文)

◆數 學 科 (二時間)

(式ト運算ト答トヲ記セ)

(1) 次ノ式ヲ計算セヨ。

(ア) $(8325 - 1763 \times 4) - (775 \div 25 \times 9 - 58)$

$$(イ) \quad \frac{4\frac{1}{5} - 3\frac{9}{10}}{2\frac{1}{3} + 4\frac{1}{5}}$$

(2) 或人月々215圓ヅツヲ消費シテ若干ノ貯蓄ヲ生ジタガ、8ヶ月ノ後餘分ノ入用ヲ生ジタタメ、一ヶ月260圓ヅツ費シ4ヶ月間ニ前ノ貯蓄ヲ消費シ盡シタト云フ。此人ノ月收ハ何圓カ。

(3) 甲ガ6日掛ツテ一ツノ仕事ノ三分ノ一ヲナシ、其ノ残リヲ乙ガ引受ケ18日ヲ成

シ遂ゲタト云フ。若シ初メカラ兩人ガ協力シテ成シタラバ幾日ヲ要スベキカ。

(4) 5人ガ12日働イテ賃金150圓ヲ得ル。7人ガ幾日働イタラ賃金140圓ヲ得ルカ。

(5) 或人甲乙ニケ所ノ土地ヲ何レモ8400圓ヅツ賣ツタガ、甲デハ其買入價格ノ2割5分ヲ利益シ、乙デハ其買入價格ノ2割5分ヲ損シタト云フ。全體ヲ通ジテノ損益ハ如何。

◆裁 縫 科 (一時間三十分)

(一) 並幅一一米布にて女衿羽織の表を裁たんとす、袖丈六〇釐身丈一〇〇釐上りとせば、各部の寸法を如何にすべきか、其の積り方裁ち方圖を記せ。

(二) 次に掲ぐる項目の男女長着の普通寸法を記せ。

(男) (女)

イ 袖口明
ロ 肩 桁
ハ 衿肩明(裁切)
ニ 後 幅
ホ 前 幅

東京高等女學校

(所在地) 芝區三田四國町

(第一次)

讀み方

- (一) 次の片假名を漢字に直しなさい。
メンミツ()にケンキウ()する
- (二) 次の語句の意味を書きなさい。
(イ) 鈴なりになる (ロ) 襟を正さしむ
- (三) 次の文章の中の——を引いてある所の意味を書きなさい。
彼は他人のめいわくをも眼中に置かず、買ふ人の無智に乗じて安い品を高く賣付け
る。
- (四) 次の反對の意味の言葉を漢字で書きなさい。
長所() 利益()
- (五) 次の文字に誤あらば直しなさい。
少時より學門に勵み、長じて後魯の君に仕へ、大に治蹟を擧ぐ。
- (六) 次の言葉の中で修養機關には○を、娛樂機關には×をつけなさい。
圖書館 競馬場 博物館 劇場

(七) 次の文中文字の使用に誤あらば其の字を消して直しなさい。

此の方法は各國民の間に長い間行われていたものである。

(八) 次の言葉の意味に當る語を漢字で書きなさい。

(イ) 自分で新しくつくり出すこと ()

(ロ) ありがたく思ふこと ()

(九) 新聞紙が私共の手に入るまでには、およそ次の四の仕事があります、その順序を()の中に1234の順でお入れなさい。

() 配布 () 原稿 () 印刷 () 編輯

(一〇) 次の文章の中の——を引いてある所を分りやすくおきなさい。

貴兄には去月以來御病氣にてしかも一時は大分御重態なりし由、誠に意外の事に驚き入候。

(1) (2)

算術

- (1) 次ノ數ノ中5デモ2デモ割リ切レル數ノ下ニ線ヲ引キナサイ。
15, 12, 10, 2430, 1232
- (2) 次ノ分數ノ中大キナ方ヘ○ヲツケナサイ。

$$\frac{5}{6}, \frac{3}{4}$$

(3) 五圓ノ品物ヲ買ツテ一割五分ノ利益ヲ得ルニハ賣價ヲイクラニスレバヨイカ。
 (4) 次ノ式ノ値ヲカヘナシテ()ノ中へ適當ナ數ヲ入レナサイ。

$$\frac{3}{5} = \frac{()}{20} = \frac{27}{()}$$

(5) 5メートル平方ト、5平方メートルトハ、ピチラガビレダケ大キイデスカ。

(6) 當校ノ生徒一千人ガ一日一人ガ一錢ヅツ貯金スルト一月(三十日)ニハ合計イクラニナリヤスカ。

(7) 次ノ□ノ中へ適當ナ數ヲ入レナサイ。

$$\begin{array}{r} 2 \square 6 \square \\ - \square 4 8 3 \\ \hline 1 2 \square 9 \end{array}$$

(8) 甲ノ體重 30.47kg, 乙ハ 30.34kg, 丙ハ 30.27kg デアル, 平均ノ體重幾キログラムデスカ。

(9) 或ル本ヲ 21 枚讀ミヤシタガ, ヤダ全體ノ紙數ノ $\frac{2}{5}$ 殘ツタキヤス, 全體ノ枚數ハ何程デスカ

(10) 次ノ計算ヲナサイ。 $8 \times 5 - 2 \times 6 + 9 \div 3 \times 4 =$

修身

(一) 日本國民として必ず守らなければならない最も大切な義務は()と()の二つである。

(二) 次の日はどういふことの日ですか。

四月三日()
 十一月三日()

(三) 日本國民として最も大切な心がけは()の道をはげむことです。

(四) 私共が正直でなければならぬわけは、次の三の中でどれが一番正しいと思ひますか其の上に○をおつけなさい。

(イ) 不正直のことをするとしかられるから

(ロ) 正直だと人にほめられるから

(ハ) 正直は人として守らねばならぬ道であるから

(五) 皆さんは親に心配をかけないやうにするにはどうしたらよろしいですか。

地理

(一) 次の品物の中で我が國が輸出するものには○を、輸入するものには×をおつけな

羊毛

石油 茶

羊毛

綿織物

(一) 箱根熱海等の温泉は何と云ふ火山脈に屬しますか。

(二) 東京市民の飲用する水道の水源は何といふ川ですか。

(三) 次の各港はどこにありますか、又積出す重なる産物をあげなさい。

清水港

大連

(四) 次の各地に於て我が國と交通の多い港の名を一つづゝあげなさい。

シペリヤ

印度

國史

(一) 次の年に起つたことを一つあげなさい。

嘉永六年

(二) 次の人々の中で蝦夷征伐をした人の上に○をつけなさい。

武内宿禰

坂上田村麿

源義家

日本武尊

(三) 帝國憲法の制定のとき最も功のあつた一人一人をあげなさい。

(四) 次の三人の中で大日本史を著した人の上に○をおつけなさい。

本居宣長

徳川光圀

北畠親房

(五) 次の事件と人名とをそれぞれ適當に線でつなぎなさい。

安政假條約

加藤友三郎

ワシントン會議

小村壽太郎

條約改正

陸奥宗光

ポーツマス會議

井伊直弼

理科

(一) 次の植物の食用となるところはどんな部分ですか。

大根

はす

(二) 東京には冬つばめが居らぬのはなぜですか。

(三) 水を熱すると表面から先にあつくなるのはなぜですか。

(四) 銅の食器の内側にとけたすゝをぬるのは何のためですか。

(五) 次の場合にはどんなことが起りますか。

でんぷんが

(イ) ヨードに出あつたとき

(ロ) だえきに出あつたとき

(第二次)

讀方

東京高等女學校

(一) 次の文を読んで後の問に答へなさい。

若草山の芝緑にもえたち、三月堂・二月堂霽につままれてさながら夢の如し。

(イ) 若草山はどこにありますか () (ロ) 季節はいつですか ()

(ハ) 季節をあらはしてゐる言葉の横に――をつけなさい。

(ニ) さながら夢の如しとありますが何が夢のやうだといふのですか ()

(ホ) さながらとはどういふ意味ですか ()

(二) 次の語句文章の意味を書きなさい。

(イ) 前非を悔いました () (ロ) 豫想以上の好結果を得たり ()

(ハ) 毛頭存じません () (ニ) 兄弟垣にせめぐ ()

(ホ) 喜捨 ()

(三) 次の言葉が一の文にまとまるやうに () の中にその番號を入れなさい。

() 成績物は () こもつたもので () 一生の記念に

() 自分の力の () なるものだと () 一つ一つ

() 思ふ

◆算術

(1) 杉苗450本買ツタガ其ノ中1割2分ハ枯レ3割ハ人ニ興ヘタ、後ニ何本殘ツテ

イルカ。

(2) 長サ15mノ反物ヲ姉妹2人ノ着物ヲ仕立テマシタ。姉ノ分ハ妹ノ分ヨリ180cm多クイリマシタ。各イクラジツイリマシタカ。

(3) 次ノ計算ヲササイ。

$$\left(3\frac{5}{6} - 2.4 + \frac{7}{15}\right) \div 1\frac{14}{15} =$$

◆國史

次の文を読んで後の問に答へなさい。

江戸が應仁の亂後の京都のやうなわざわいを免るゝことができたのは、もとより

天皇の御威徳によるとはいへ、また將軍()が恭順の意を表したのと、山岡

鐵太郎()・()等の誠忠果斷のはたらきによるといはねばならぬ。

(イ) 天皇は何天皇か () (ロ) 應仁の亂とは誰と誰との争か ()

◆理科

麥は私共にどういふ役に立ちますか。知つてゐるだけ書きなさい。

三田高等女學校

(所在地) 芝區三田四國町

◆國語 (一時間)

(一) 次の語の讀方を書きなさい。

- | | | | | |
|------|------|------|------|-------|
| 1 興味 | 2 比較 | 3 勘定 | 4 屏風 | 5 重寶 |
| 6 團扇 | 7 廉恥 | 8 風情 | 9 行燈 | 10 飢饉 |

(二) 次の語句を分りやすく解釋しなさい。

- 1 小春日和
- 2 不朽の名聲を博した
- 3 必要は發明の母
- 4 筆勢非凡丹青の妙言ふべからず
- 5 森嚴自ら人の襟を正さしむ

(三) 次の文中片假名を漢字に書き改めなさい。

ハフリツはコクカといふキョウドウセイクワツをチツジョありかつカウフクにするためのキソクであるからコクミンたるものはカナラズコレをマモらなければならぬ。

(四) 次の文を解釋しなさい。

人智の進歩と印刷術の發達とは何時までも單純にして遊戯的なる新聞に満足すべ

くもあらずあまねく内外の事件を報ずると共に時事を論ずるもの起りてこゝに始めて我等の生活に切實なる關係を有するものとはなりぬ。

◆算術 (一時間半)

- (1) $0.57 - 0.4 \div 8 + 0.48 - 1$
- (2) $\left(\frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{5}\right) \times 4 \frac{1}{2} \div 2 \frac{17}{20}$
- (3) $\left(1 \frac{1}{2} + 1 \frac{1}{4} - 1 \frac{1}{8}\right) \times 4 \frac{1}{2} \times \left(\frac{3}{10} + \frac{4}{5}\right) \div \frac{1}{8}$
- (4) 或數ノ $\frac{2}{3}$ ト6トノ和ハ14ナリト云フ或數ヲ求メヨ。
- (5) 8gノ食鹽ヲ含ム食鹽水1kgアリコノ食鹽水ノ濃サハ幾「パーセント」ナルカ。
- (6) 或品ヲ定價ノ8掛デ買ツテ12圓40錢ヲ支拂ヒタリコノ品ノ定價ハ幾ラカ。
- (7) 或品ヲ仕入値段ノ2割ヲ利シテ金360圓ニ賣リタリ仕入値段何程ナルカ。
- (8) 一回廻ルト471cm進ム車アリコノ車ノ直徑ヲ求ム。
- (9) 一邊2米ノ正方形ノ面積ト直徑2米ノ圓ノ面積トノ差ヲ求メヨ。

頌榮高等女學校

(所在地) 芝區白金猿町

◆ 考査問題

- (一) 次の文章をわかりやすく解釋なさい。
- (イ) 論語は大聖の面目をうかがふを得べし、今此の書によりてその一端を述べん。
- (ロ) 國旗の白地は我が國民の純正潔白なる性質を示し日の丸は熱烈燃ゆるが如き愛國の至誠を表すものともいふべきか。
- (二) 次の文中線の引いてあるところによりみがなをおつけなさい。
- 春日の社頭、朱の廻廊山の緑にはえて森嚴自ら人の襟を正さしむ。
- (三) 次の文中の片假名を漢字におなほしなさい。
- うづたかきツミニの中に海山のタカラをノせて船は今靜かにかへるナツカしきコキヤウの港。
- (四) 次の文の線の引いてあるところを説明なさい。
- 自治制の本旨を辨へ之をよく運用しなければならぬ。
- (五) 次の文を読んで瀬戸内海をかこむ海峡をおあげなさい。
- 九州と相接せんとする處、下關海峡あり四國の西には佐田岬長く突出で九州にせ

まよりて豊豫海峡をなす。淡路島の東端本土と相望む處、紀淡海峡となり、四國に近き處、鳴門海峡となる。

- (六) 安政の假條約について次の問にお答へなさい。
- (1) ①ですか。②どこの國と結びましたか。③ どんなことがきめられましたか
- (7) 次ノ計算ヲナサイ。(式ト運算ト答ト書クコト)
- 甲ハ2圓15錢乙ハ1圓43錢持ツテキル。今此ノ2人が同ジ金高ヲ持ツヤウニスルニハ甲ハ乙ニ幾ラヤラネバナラヌカ。
- (8) 砂糖345kgヲ仕入レ、コレヲ2割ノ利ヲ得テ賣ツタラ155圓25錢ヲ得タ、1kgヲ幾ラデ仕入レタカ。
- (9) 1秒間=90m飛ブテ燕ト1時間=216km進ム飛行機ノ速サノ比ヲ求メヨ。
- (10) 茶135kgヲ324圓デ仕入レ、コレヲ賣ツテ2割5分ノ利ヲ得ヨウト思フ。1kgノ賣價ヲ幾ラニスレバヨイカ。

東洋英和女學校高等女學科

(所在地) 麻布區東馬居坂町

◆ 第一試問 (三十分間)

頌榮高等女學校

東洋英和女學校高等女學科

四二九

(一) 左の語の右側に「読み」をおつけなさい。

- (1) 餘生 (2) 合圖 (3) 交替 (4) 屏風 (5) 臨終
- (6) 前非 (7) 喜捨 (8) 重寶 (9) 相模 (10) 風

(二) 左の字を漢字にお改めなさい。

- (1) シモバシラ (2) ナンギ (3) イ ス (4) シキモノ
- (5) ソ マ ッ (6) セイトン (7) ニモツ (8) ハトバ

(三) 左の文章をやさしい言葉でお書きなさい。(わけ)

そのかみ、金殿玉樓相望みてうちつづく都大路を、大宮人の櫻かざし、紅葉かざして、往来しけん、今にして思へば、唯一、一場の夢に過ぎず。

◆ 第二試問 (40分間)

次ノ加法ヲナセ。

- (1) $734.44 + 0.183 + 3.37 + 1.025 + 4.52 + 0.9$
- (2) $235.4 + 8.34 + 16.26 + 40$
- (3) $2 + 4 + 6 + 8 + 10 + 12 + 14 + 16 + 18 + 20$

次ノ數ヲ通分シテ大キイ順ニナラベヨ。

- (4) $\left(\frac{4}{3}, \frac{7}{8}, \frac{11}{12}\right)$

(5) $\left(\frac{1}{2}, \frac{1}{4}, \frac{1}{16}\right)$

(6) $\left(\frac{1}{3}, \frac{8}{21}, \frac{7}{36}\right)$

(7) 直径10cm 高サ14cm ナル圓錐ノ體積ハ何立方 cm カ、但シ圓周率ハ3.14 トス。

(8) 高サ4cm 横5cm 縦6cm ナル箱ノ體積ハ何立方 cm カ。

(9) 10km ノ道ヲ行クノニ5時間カカルトスレバ7km ノ道ヲ行クノニ何時間カカルカ。

(10) 或ル人36個ノ梨ヲ3人ノ子供ニ分ケテヤルノニ年上ノ子ニハ全體ノ $\frac{4}{9}$ 、次ノ子ニハ全體ノ $\frac{1}{3}$ ヲヤリ年下ノ子ニハ残りヲ全部與ヘタ、年下ノ子ハイタクツモラツタカ

山脇高等女學校

(所在地) 赤坂區檜町

◆ 國語問題

- (一) 次の語句の順序をかへて () の中に番號を付け意味のわかる文になさい。
- () 夢のやうに () 春の日の () 聞えて来る

- (一) のどかな () ひばりの聲が () 暖さにとけて
- (二) 次の文中の右の片假名にあたる漢字を書き入れなさい。
我々は今後益々産業を(ハツテン)させて(モウエキ)の利を圖らなければならぬ。
所持品は(フユンシヨ)よく(セイトン)する(シフクワン)を養ひたい。運動會の(モウギ)を(キロウ)する。
- (三) 次の熟語と反対の意味の熟語を()の中にお書きなさい。
成功 () 原告 () 直接 () 原因 ()
- (四) 次の語に讀みがなと意味をおつけなさい。
希望 原稿 疑問 交換 緊張
- (五) 次の言葉の意味をお書きなさい。
(イ) あらゆる文明の利器を用ふ。 (ロ) 旭日昇天の勢あるを思はしむ。

算術問題

- (1) 次の式ヲ計算セヨ。(運算ト答トヲ記セ)
 - (イ) $38 - 6 \times \{ (5.1 - 3) \div 7 \} =$
 - (ロ) 次の各ノ分數ヲ約分セヨ。
- | | | | | |
|----|----|-----|-----|-----|
| 15 | 36 | 72 | 99 | 98 |
| 18 | 48 | 120 | 231 | 350 |

- (2) 妹ハ5圓25錢ノ貯金ヲ有シ姉ノ貯金ノ $\frac{3}{5}$ 倍ニアルトイフ姉ノ貯金ハ何程カ。
- (3) 遠足ヲスルニ兒童ヲ電車3臺ニテ1臺ニ64人ヅツ乗セラ3回ニ運ビ得ル、コレヲ4臺ニテ2回ニ運ブニハ1臺ニ何人乗セバヨイカ。
- (4) 商船ガ1晝夜ノ間ニ288海里ヲ進行シタ、コノ割合ノ速サデ進行スルト174海里ヲケ行クニハ何時何分カカルカ。

修身問題

- (一) 孝行とはどういふことをすることですか。
- (二) 國民がもし法令を重んじなかつたら國はどうなりますか。

地理問題

- (一) 我が國の貿易につき次の事に答へなさい。
(1) 輸出品の最も主なものは何々ですか。
(2) 輸入品の最も主なものは何々ですか。
(3) 貿易港の主なるものを三つ次にお書きなさい。
- (二) 花子さんはお父さんと京城の伯父様のところへ旅行しました、東海道線、山陽線、連絡船、京釜線に乗りました、途中にある主な都市を五つあげてごらんください。花子さんのお家は東京にあります。

● 國史問題

- (一) 次の上の方の問を下の方にお書きなさい。
 - (1) 桓武天皇の時蝦夷征伐をした人は誰ですか。
 - (2) 大日本史を著したのはいつ頃ですか。
 - (3) 日本が鎖國したのはいつ頃ですか。
 - (4) 臺灣神社にはどなたがおまつりしてありますか。
 - (5) 法隆寺を建てられたのはどなたですか。
 - (6) 鎌倉幕府を開いた人は誰ですか。
 - (7) 弘安の役に功のあつた人は誰ですか。
 - (二) 次に書いてある事から人物を年代順に(1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)の順にお書きなさい。
- | | | | |
|------|------|-------|-------|
| 憲法發布 | 保元の亂 | 大化の新政 | 西南の役 |
| 林子平 | 大石良雄 | 名和長年 | 和氣清麻呂 |
- (一) 次の主なる用途をお書きなさい。
 - (イ) 鹽 (ロ) 石 灰
 - (二) 次の食用となる部分は何ですか。

● 理科問題

- (イ) サツマイモ (ロ) ソラマメ
- (三) 物に重さのあるのは何故ですか。

順心高等女學校

(所在地) 麻布區廣尾町

● 口頭試問

◎ 修身科 (五分)

教育に関する勅語中の「一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ」とはどういふ意味の御聖旨でありますか。

◎ 國語科 (十分間)

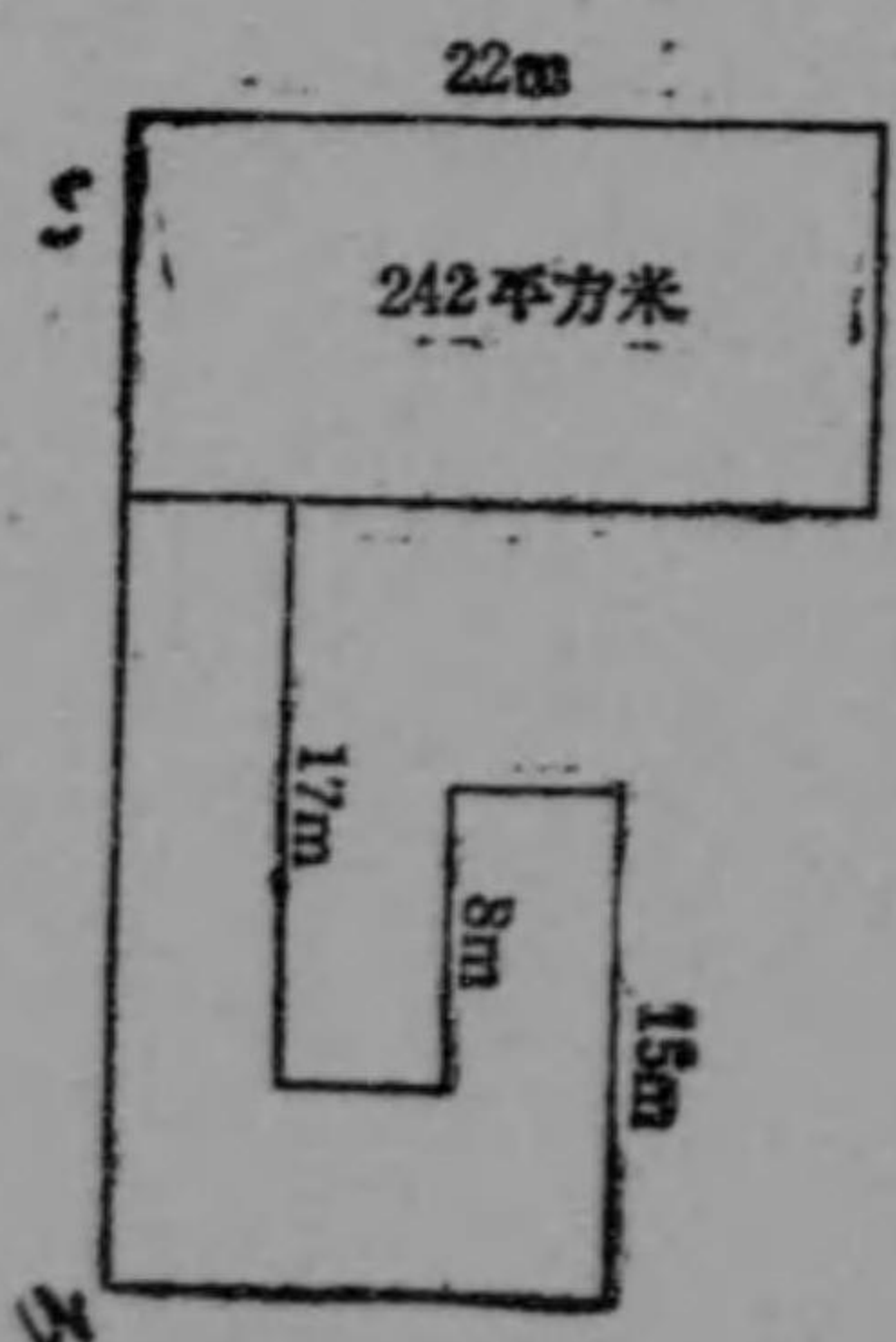
- (一) 次の文中傍線の部分の意味をお書きなさい。
そのかみ、此處にいかめしく向ひあひけん英雄の姿、今まのあたり見るが如し。
- (二) 次の片假名の部分を漢字になほしなさい。
カクコクのコクキはソのコクミンのリサウシンカウをアラハすものなり。

◎ 歴史科 (五分間)

- (一) 和氣清麻呂は何故神様に祭られて居りますか。
- (二) 次の人物を時代順に番號を附けて書きなさい。

- (二) 次の句をどんな順序に結びつけたなら、意味のまとまつた文章となりますか。
 (各句の上の括弧かっこの中に数字で順序をかきなさい)
- (一) そのかみ
 - (二) 櫻かざし
 - (三) 今にして思へば
 - (四) うちつゞく都大路を
 - (五) 唯一場の夢に過ぎず
 - (六) 紅葉かざして
 - (七) 大宮人の
 - (八) 往來しけん
 - (九) 紅葉かざして
- (3) 毎時4キロメートル歩いた歩イテ6.3時間テ達スル所へ毎時4.5キロメートル歩イテ歩ケバ幾時間テ達スルカ。
- (4) $\frac{15}{16}$ ト $\frac{16}{17}$ ト何レガドレダケ大キイカ。
- (五) 満洲國の産物に就いて
- (イ) 主な産物をあげなさい。
 - (ロ) 主な輸出品は何ですか。
 - (ハ) 輸出港は。
- (六) 地震はどういふ場合にありますか。二つ場合を書きなさい。
- ◆筆答試問 (其二) (六十時間)
- (一) 元寇の役に
- (イ) 龜山天皇は何をなさいましたか。
 - (ロ) 北條時宗は何をなさいましたか。
 - (ハ) 一般國民は何をなさいましたか。

- (二) 作文 題「雛まつり」(別の用紙にお書きなさい)
- (三) 次の平野を流れてゐる大きな川の名を書きなさい。
- 關東平野 濃尾平野 越後平野 大阪平野
- (四) 人が健康なとき。
- (イ) 人體の溫度(體溫)は何度位か
 - (ロ) 脈をうつ數は一分間にどの位か
 - (ハ) 呼吸は一分間に凡そ何回か。
- (5) 次の式ヲ計算ナサイ。
- (イ) $15.6 + 3.4 \times 2.5 - 10.7 =$
 - (ロ) $3.5 \times 2.86 \div 0.25 =$
- (6) 下ノ圖ニ於テイトろノ間ハ何米アルカ。



京華高等女學校 (所在地) 小石川區原町

◆第一試問

(1) 次の式ヲ計算セヨ。

$$19 - \left(2\frac{1}{8} - 1\frac{1}{4} \right) \times 3$$

- (2) あるこーる12リットル=水4リットルヲ混ゼテ造ツタ液ガアル、此ノ液中ニアルあるこーるノ液全體ニ對スル體積ノ歩合ヲ百分率ヲ出セ。
- (3) 金40圓ヲニツニ分ケテ共ノ比ガ $\frac{1}{2} : \frac{1}{3}$ ニナルヤウニセヨ。
- (4) 利率ガ年1割2分ノトキ元金1500圓ニ對スル2年間ノ利息ハ何程ナルカ。

第二試問

- (一) 次の語のちがひをお書きなさい。
 - 1 $\left\{ \begin{array}{l} \text{イ、仰せかしこし} \\ \text{ロ、性質かしこし} \end{array} \right.$
 - 2 $\left\{ \begin{array}{l} \text{イ、昔をしのぶ} \\ \text{ロ、痛さをしのぶ} \end{array} \right.$
- (二) 次の文に誤があつたら訂正なさい。
 - 1. 先生を問うて教を受けた
 - 2. 牛乳をのんで元氣回復した
 - 3. 危険をおかして進む
- (三) 次の片假名を漢字に直しなさい。(片假名の右に)
 - 1. クワウキあるレキシ
 - 2. ネットツなアイコクシン
 - 3. フントウドリヨク
- (四) ふもとの川を白帆が二つ三つ通つて行く。あれは港の親舟へ蜜柑を運んで行くのであらう小春日和の暖かさにとけて其處からも夢のやうに船歌が聞えて来る。

右の文をよく読んで次の問にお答へなさい。

- 1. どんな光景を書いたのですか。
- 2. 季節はいつですか。
- 3. 船歌はどこから聞えて來ますか。
- 4. 作者はどこにゐるのですか。

第三試問

- (一) 民のため心のやすむ時ぞなき身は九重の内にありても
といふ有りがたき大御心に對し我等臣民はどういふ心掛が必要でありますか。
- (二) 我が國體の基は如何にして定まりましたか。
- (三) 建武の中興について次の事を述べなさい。
 - 1. 天皇
 - 2. 中興に力をつくした主な人三名
- (四) 我が領土をなせる主なる諸島を西より順次に擧げよ。
- (五) 横濱より北米西岸の諸港を經バナマ運河を通過してニューヨークに至らんとす途中の諸港を記せ。
- (六) 葛粉は水を加へて置くと水底に沈むが熱い湯を加へるとやゝすすき通つたねばりけのある液體になる是れはどういふわけか。
- (七) 海藻はどこから養分を取るか。

第四試問

綴り方題「鏡」

東洋高等女學校

(所在地) 小石川區丸山町

試問 (其一の注意)

- (1) 『始め』といふまで問題を開いてはいけません
- (2) 【始め】の號令で下の志願者票番號と書いてある下に自分の志願者票にある番號をよく見て算用數字で書きなさい。
- (3) 問題については説明しませんからよく讀んで間違はない様に出来るだけ早くやりなさい。
- (4) 出来ない問題があつたらとばして次に進み時間が餘つたら前にかへつてやつてよるしい。
- (5) 問題の數が多いから全部出来なくても心配しないでよるしい。
- (6) 書き進めた時はゴムで消して居ると時間がかかるから鉛筆で消しただけでよるしい。
- (7) 計算があつたらあいた所でやつてよるしい。
- (8) 『止め』といつたら途中で「すぐ止めて表紙を上にして待つて居なさい。
- (9) 時間は正味三十分です。

(1) 白銅貨ハ銅ト其ノ $\frac{1}{3}$ ノ目方ノニッケルトヲ熔カシ合ハセテ造ガ白銅貨ハ幾バー

セントノ銅ヲ含ムカ。

(2) 次ノ式ノ□ノ中ニ適當ナ數ヲ入レヨ。

$$7 = \frac{\square}{3} = \frac{56}{\square}$$

(三) 次に書いてある上の方の言葉にどれを結びつけると正しいものになるか。

重	い	い	い
多	い	い	い
高	い	い	い
人格が	えら	い	い

(四) 國旗はなぜ大切にするか。

(五) 地震はどうして起るか。

(六) 次の文字を使って熟語をつくれ。

談議

(七) 我國では次の品をどこから輸入するか主な國の名を一つづゝ書け。

綿 () 羊毛 () 豆粕 ()

(八) 次に示した四つの言葉の中で『當惑する』といふ意味の最も正しい言葉の下に

線を引け。

骨折る

くるしむ

こまる

まよふ

(9) 5 平方メートル 5m 平方メートル ダケチガウカ。

(10) 次の建物をたてた人の名を書け。

法成寺 ()

銀閣 ()

聚樂第 ()

(11) 次の熟語の中で正しいものの右に線を引け。

發揮

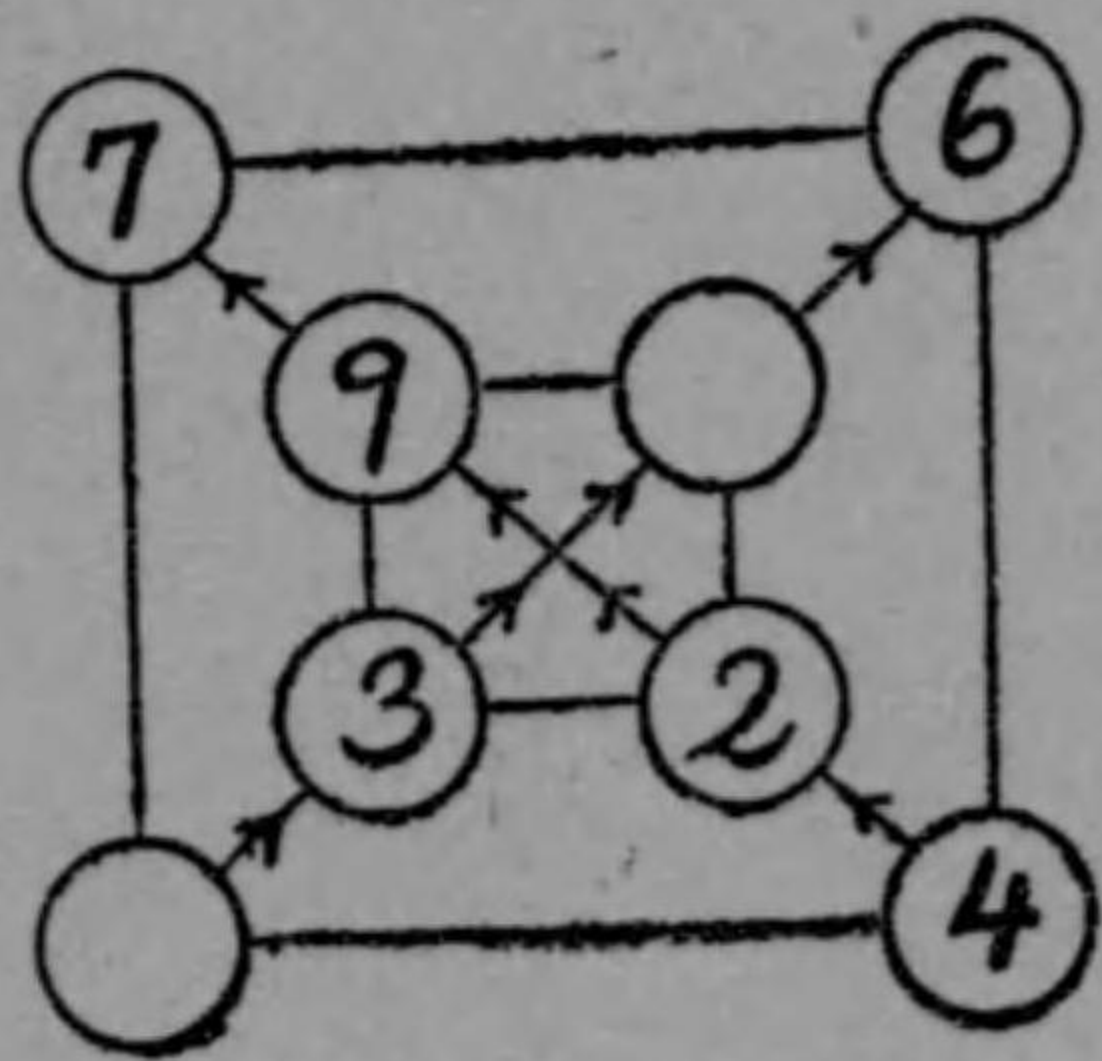
經營

怒力

探檢

(12) なぜ食物は必要か。

(13)



左ノ圖デ各正方形ノ四隅ノ數字ノ和及ビ矢ノ方向ニ
 ナル數字ノ和ガヌベテ等シクナルヨウニ適當ナ數字
 ヲ入レヨ。

(14) 公益とは何か。

(15) 日本史上九州地方で起つた出来事を三つあげよ。

(16) 次の植物は何でよめるか。

イ、こんぶ

ロ、いね

ハ、たけ

ニ、かび

ホ、まつだけ

(17) 『行く』を『しらつしやる』といふやうに次の言葉をていねいな言葉に直せ。

着る

言ふ

(18) 我等はなぜ祖先を尊ぶか。

(19) 次の鐵道の起點と終點とを書け。

イ、東海道線 (起點)

終點)

ロ、山陽線 (起點)

終點)

ハ、鹿兒島線 (起點)

終點)

(20) 次の言葉の中片假名の所に適當な漢字を入れよ。

我は學校に ムカ ふ

停車場に人を ムカ ふ

(21) 次の地方はどここの國の領地か。

シベリア ()

カナダ ()

)

フィリッピン ()

(22) 女子サンノ父ハ教育勸語ヲ下シタマハツタ年ニ生レタ今年數ハ年ヲ幾歲カ。

(23) 新井白石は貨幣と外國貿易とについてどういふことをしたか。

(24) 1 時間ノ速サト或ル時間ニ走ツタ距離トガワカツテ居ル時ツノ時間數ノ求ムルニハトウスレバヨイカ。

試問 (其二の注意)

- (1) 『始め』といふまで問題を開いてはいけません。
 - (2) 下の志願者票番號と書いてある下に自分の番號をよく見て算用數字で書きなさい。
 - (3) 問題については説明しません。
 - (4) 計算は紙のいたところをやつてよるしい。
 - (5) 問題の出来たものは表紙を上にして置き手を舉げなさい。
 - (6) 『止め』と言ひましたら途中でもやめて表紙を上にして置き待つて居なさい。
 - (7) 時間は正味45分です。
- (1) 我が國ノ國旗ハ横ヲ120cm トスレバ縦ハ80cm デ日ノ丸ノ直徑ハ48cm デアール白地赤地ノ面積ハ各幾ラカ。
- (2) 或生徒ガ定價3圓40錢ノ書物ヲ買ヒ5圓札ヲ渡シテ2圓11錢ノ釣錢ヲ受取ツタ定價ノ何割引ニ買ツタコトニナルカ。
- (3) 1 頁12行 1 行25字詰ノ書類ヲ5頁寫スニ途中10分休息シテ1時間25分カカツタ、ソノ割テ休マスニ書ケバ1頁10行1行20字詰ノ書類10頁ヲ寫スニ幾ラカナルカ。

(4) 次ノ式ヲ計算セヨ。

$$\left(7\frac{1}{3} + 9.75\right) \times \frac{4}{9} \div \frac{5}{8} =$$

- (5) 或商人ガ初ノ年ニ資本金ノ $\frac{1}{4}$ ヲ損シタガ、次ノ年ニハ殘金ノ $\frac{2}{5}$ ヲ儲ケタ、初ノ資本金ニ對シテ $\frac{1}{4}$ ノ2年間ノ損得ノ歩合ハトウカ。
- (6) 或人ガ銀行カラ金2550圓ヲ昨年12月20日ニ借り、今年3月9日ニ利息トシテ金65圓28錢拂ツタ、日歩ハ幾ラカ、ヨノ銀行デハ借入ノ日、支拂ノ日トモ利息ヲ取ルモノトス。

試問 (其三の注意)

- (1) 『始め』といふまで鉛筆を取つてはいけません又問題を開いてはいけません。
- (2) 『始め』の號令で先づ下の志願者票番號と書いてある下に自分の番號を書きなさい。
- (3) 問題は説明しません
- (4) 綴方は紙が別にしております。綴方の下書きする時間はありません。
- (5) 書き終つた者は表紙を上にして置き手を舉げなさい。
- (6) 時間は正味55分です。その中綴方に20分あてる積りで書きなさい。

◎ 綴 方

(一) 次の文のわけを書け。

(1) 興福寺は伽藍半ば廢れたれど尙三重五重の塔、猿澤の池水に影をうつして南都第一の美觀たり。社寺の壯麗しばらくあき、何の山、何の川一木一草に至るまでも歴史あり、古歌あり、人をして低回去る能はざらしむ。

(2) 彼が他日大統領となり、世界の偉人として萬人に仰がれるやうになつたのは、實に此の少年時代の苦心のたまものである。

(二) 次の文の片假名の所を漢字になほせ。
時代が進んでネンリヨウのシユルキがマすにつれて火のヨウトもだん／＼ヒロクなつて來た。

(三) 次の漢字の右側に讀み假名をつけよ。

珍重 刷毛 赤銅 計畫 御苑

◎ 綴 方

文題 我が家

跡見高等女學校

(所在地) 小石川區大塚窪町

◆ 試 問 (第一) (全部一時間)

(一) 次の文の片假名の部分を漢字で()の中に書きなさい。

古來我が國民は國のホコリ()を永久にヂゾク()せんとして舉國イツチ

()し國運のハツテン()にハゲ()んできた。

(二) 次の文の中の——のしるしのある漢字の讀方を()の中につけなさい。

帝國議會()の議員に選ばれた者はその職責()の重大なことを思ひ常に

國事()を以て念としかりそめにも私情()に動かされず忠實()に

職責を果さなければなりません。

(三) 次の文の中の——のしるしのある漢字のわけを()の中に書きなさい。

三月二十三日は天つ日嗣の御子()の御誕生()を祝ひまつる宮中の御宴

()の第一日でございました。

この日天皇皇后兩陛下には兒童()及び母に關する教化()保護()の

ことがらに對する厚き思召()から齊藤首相に七十五萬圓御下賜()の

御沙汰がございました。

この大御心()に對し奉り感激()にたへぬ次第でございます。

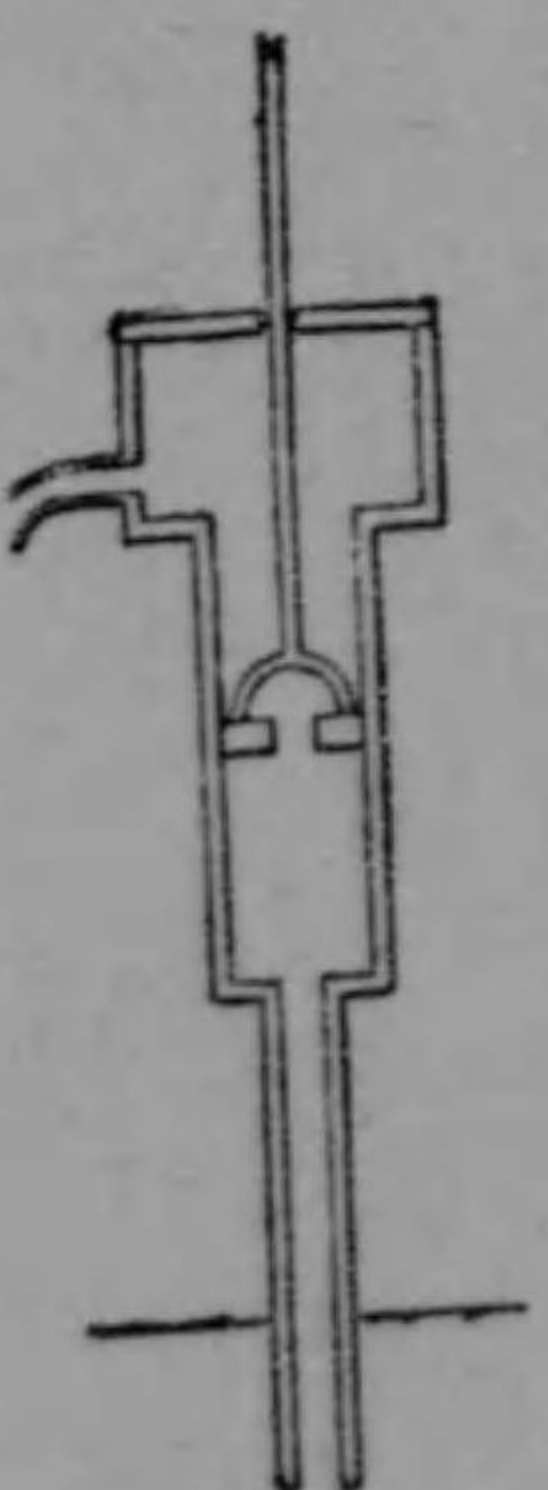
(四) 我が國の河は流れが早くて水量が多いのです、それはどんな役に立ちますか。

(五) 次の地名の下に其處へ都をおさだめになつた天皇の御名をおかきなさい。

- (1) 奈良) (2) 東京) (3) 檀原)
- (4) 近江) (5) 京都)

◆ 試 問 (第二)

- (1) $30 \div 7 \times 14 - 26 \times 20 \div 13 =$
- (2) 168 米ノ土手ヲ作ツタ。ユレニー一列7 米毎ニ、柳ヲ植ウルニ、一本40 錢ヅツナラ。幾圓カカルカ。
- (3) 毎日36km ヅツ歩クト、20 日カカル所ヲ、白轉車ヲ毎日5 時間ヅツ一時間9km ノ速サヲ走ルト、幾日カカルカ。
- (4) 或人ガ旅ヲシタ、車賃ガ全體ノ費用ノ $\frac{3}{7}$ ヲ宿賃ガ $\frac{2}{7}$ ヲ殘リノ雜費ガ3 圓60 錢カカッタ、全體ヲ幾ラカ。
- (五) ジャガタライモとサツマイモの食べる處はどなたところですか。これ等のイモ類を永くかんで居るとあまくなるどうしてですか。又このおもなる養分を知るにはどうしますか。
- (六) この吸上ポンプを使って水を吸上げる場合どこにメンをつければよいか。



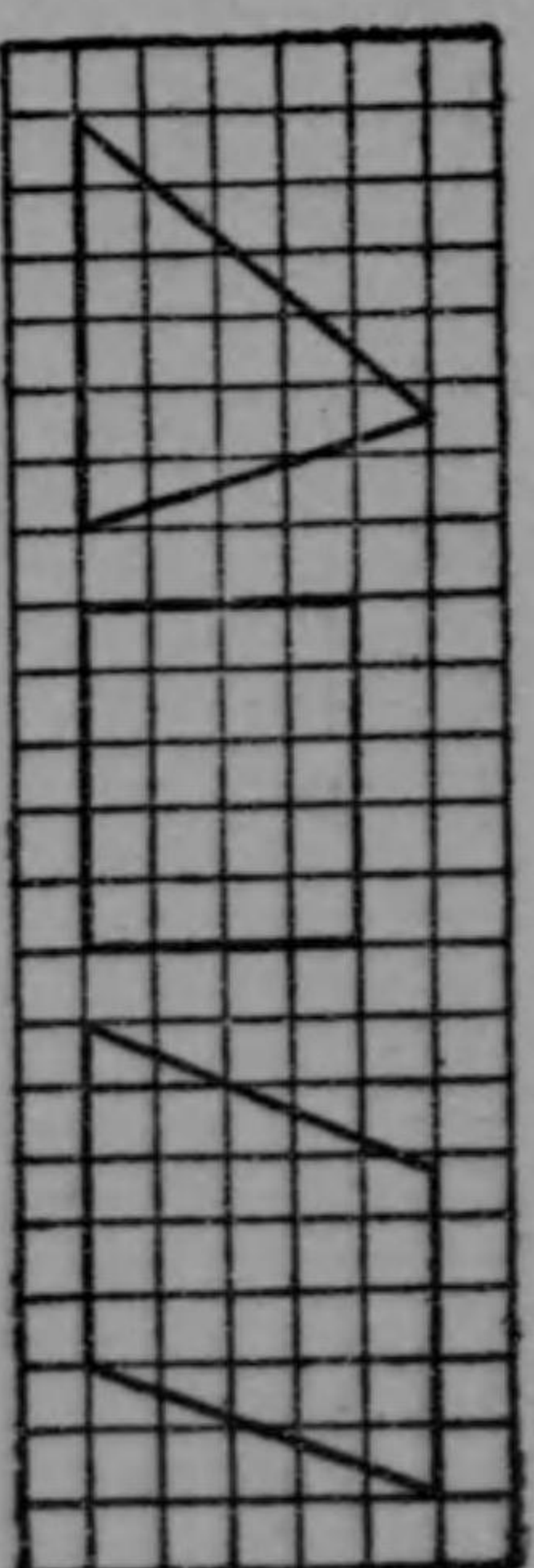
吸上ポンプ

櫻蔭高等女學校

(所在地) 本郷區元町二丁目

◆ 試 問 (其の一) (全部1 時間20 分間)

- (1) $(\square - 28.51) \times \frac{3}{8} = 6.57$ ノ \square 中ニ適當ナ數ヲ入レナサイ。
- (2) 姉ハ鉛筆4 ダース、妹ハ鉛筆3 ダースヲ持ツヲキヤス。姉ガ妹ニ何本ノ鉛筆ヲ與ヘタナラバ妹ガ姉ノ2 倍トナリヤスカ。
- (3) 或仕事ヲスルニ甲一人デハ9 日乙一人デハ12 日カカリヤス。コノ仕事ヲ甲乙二人デ4 日シテソノ殘リヲ乙一人デスルト初カラ幾日甲乙ニ出來上リヤスカ。
- (4) 圖ノヤサナ縱横ノ線ト線トノ間ノ皆等シイ基盤ノ目ノ上ニ畫ガカレタ三角形ト矩形ト平行四邊形ノ面積ノ比ヲ求めナサイ。
- (五) 次の植物の中で花を着けるもの
右に線を引きなれ。 栗。わらび。稻。柿。てんぐさ。松。だいこん。かび。麥。桑。
- (六) (イ)(ロ)(ハ)の各々の組の中で傳はる電流の強い方に線を引きなれ。



- (イ) 長さが等しい時、細い銅線と太い銅線。
- (ロ) 長さ太さが等しい時、銅線と鐵線。
- (ハ) 太さが等しい時、長い銅線と短い銅線。

問 (其の二)

- (一) 次の各國の首府を國名の下に記入しなさい。
支那 ソヴェエト聯邦 ドイツ カナダ ブラジル
- (二) 東京から下關經由で滿洲國の首府に聯絡してゐる鐵道線路名を東京から順次に列擧しなさい。

(三) 和氣清麻呂は宇佐から歸つて天皇に何と申し上げましたか。

(四) 次の書物の著者の名を其の下に書入れなさい。

- 山陵志() 海國兵談() 神皇正統記()

問 (其の三)

- (一) 次の歌を読んであとに書いてある問に答へなさい。
浮きぼり毛ぼりの 柱にけたに 振るひしのみので 巧をきはめ
丹青まばゆき 格天井に 心をこめたる 繪筆ぞにほふ
- (イ) はじめの方は何がどんなにりつばであるといふのですか。

(ロ) あとの方は何がどんなによく出来てゐるといふのですか。

(二) 次のことばのわけを書きなさい。

- 1. 萬感胸にみつ() 2. この所存を知らせばや()
- 3. 其の中御地へ參り候やもはかり難く候()
- 4. 萬に一つの勝算もなし() 5. かしこ()

(三) 次の漢字のよみ方を書きなさい。

- 1. 和尚() 2. 名残() 3. 雜木() 4. 體裁()
- 5. 勧誘() 6. 飢饉() 7. 頻繁() 8. 凱旋()
- 9. 風情() 10. 臨御()

(四) 次の文中線を引いてある部分を漢字に改めてその下に書きなさい。

- 1. 父子はヒジャウ() なキケン() ををかして、人々をポートにシウヨウ() した。
- 2. 市町村長やギキン() をセンキョ() するにはモツバ() ら其の人物に重きをおいて決してシンゾク() エンコ() 其の他シカウ() 上のクワンケイ() の爲に心をマヨ() はしてはならない。
- (五) 綴方。我が國。 (左の欄内に書きなさい)

錦秋高等女學校

(所在地) 本郷區眞砂町

◆國語

(一) 次の熟字に讀方と意味とをつけなさい。

剎那

從容

行在所

果斷

熟練

(二) 次の片假名を漢字に直しなさい。

ジュンビ

ハツテン

ソマツ

セイトン

エハガキ

(三) 次の文の意味を書きなさい。

筆勢非凡丹青の妙いよべからず。

◆算術

$$(1) 3\frac{1}{2} \div 5\frac{1}{4} + \left(2\frac{1}{3} - \frac{4}{5}\right) \div \left(3\frac{1}{4} + \frac{5}{8}\right) - \frac{2}{15} =$$

(2) 昭和9年4月1日カラ7月20日マデハ幾日カ。

(3) 姉ハ、100圓妹ハ、82圓持ツテキル今毎月姉ハ、6圓ヅツ妹ハ、4圓ヅツ使ヘバ幾月ノ後兩人ノ所持金ガ等シクナルカ。

◆修身

(一) 朋友の信についで例を擧げて説明なさい。

◆國史

(一) 大日本史

(1) 誰が書かせたか。

(2) 國民にどんな考を與へたか。

(三) 始めて幕府を開いた人と場所とを年代順に書きなさい。

幕府名

人名

場所

(三) 左の事柄につき書きなさい。

(1) 明治二十三年十月三十日

(2) 紀元壹千貳百拾貳年

◆地理

(一) 我國と南米アマゾン河流域とはどんな關係がありますか。

(二) 次は何縣又はどこにあつてどんな所ですか。

(イ) 撫養

(ロ) 駿府

(ハ) 宍道湖

(ニ) 銚子

(ハ) 原町

(ハ) 山國川

佐藤高等女學校

(所在地) 本郷區菊坂町

◆國語科 (三十分間)

- (一) 左の文中の□にどんな言葉をあてはめたらよいでしょうか。
 最初の一言が既にきやうだいの□不思議にひびいた。きやうだいは唯□と一
 て感に打たれてゐる。□月の光か流れるやうに入込んでピアノとひき手の□
 照した。やがて指がピアノの□に觸れたと思ふとやさしい沈んだ調はちやうど東
 の□上る月が次第□に□の□を照すやう。
- (二) 左の文を解釋しなさい。
- (1) 終始一貫した() (2) 人をろうらくする()
 (3) 餘生を安樂におくる() (4) 路頭に迷ふ者數を知らず()
 (5) 突如として眼前に展開される() (6) 不朽の名聲を博す()
- (三) 左の文章の中の片假名を漢字に改めよ。
 (1) 往來のヒンバンな街上ではよくケイクワンのシキに従へ
 (2) 我が國民はとかく引込シアンにおちいり易くフロントウドリヨクの精神に乏し。

◆算術科 (30分間)

- (1) 次ノ式ヲ計算セヨ。
- (イ) $(8\frac{1}{3} + 0.75) \times \frac{4}{9} \div 8$
 (ロ) $6 \times \{(5.1 - 3) \div 7\}$
- (2) 鉛筆2ダース買ツテ1圓ダシテ4錢ノオツリガ來タ此ノ鉛筆ハ1本イクラニ
 タルカ。
- (3) 或ル人遠足ヲシタ出發後12km歩イタガ $\frac{4}{9}$ 錢ツテ居タ出發地カラ目的地マデ何
 kmアルカ。
- (4) 甲ハ7日乙ハ12日働イテ二人合セテ34圓20錢モラツタ之ヲ働イタ日數ノ割合
 =分ケルト各何程ヅツニナルカ。
- (5) 牛ト馬ガ居ル牛ハ全體ノ2割4分デ18匹デアル馬ハ全體ノ何割何分デ何匹カ。
- ◆地理科 (十五分間)
- (一) 我邦四周の海洋名を列擧せよ。
 (二) 左記産物の産地を記せ。
- 茶 みかん りんご 砂糖

◆國史 (十五分間)

佐藤高等女學校

- (一) 和氣清麻呂の忠節について記せ。
 - (二) 憲法發布について記せ。
- ◆理 科 (二十分間)
- (一) はすとアルコールとたんさんソーダとで赤色試験紙に對する働の違ひ。
 - (二) 同じ太さ同じ長さの銅線と鐵線とでこれを傳はる電流の強さの違ひ。

成女高等女學校

(所在地) 牛込區市ヶ谷富久町

◆第一問 (時間60分)

- (1) $1.05 \div \left(3\frac{1}{9} \times \frac{5}{7} - 1\frac{3}{5} \right)$ ヲ計算セヨ。
- (2) 直徑20種ノ圓ノ周ハ幾ラカ。又ソノ圓ト周圍ノ等シイ正方形ノ面積ハイクラカ
- (3) 或人全財産ノ $\frac{3}{7}$ ヲ長子ニ、 $\frac{1}{4}$ ヲ次子ニ、長子ノ $\frac{2}{3}$ ヲ末子ニ與ヘタガ、尙500圓殘ツタ。全財産ヲ求メヨ。
- (4) 1疋2圓80錢ノ菓子ヲ3圓50錢買ツタ、1.2疋アツタト云フ、コレデ正シイカドカカ。ソノ理由ヲ書ケ。

- (5) 或商人甲乙二種ノ商品ヲ仕入レ、甲ハ原價ノ5歩、乙ハ原價ノ2割ヲ利シテ賣ツタラ、兩方ノ利益金ガ等シカツタト云フ甲ノ原價20圓ナラバ乙ノ原價ハ何程カ。
- ◆第二問 (時間四十分)

- (一) 右の文を解釋しなれ。
- 島かと思れば岬なり、一島未だ去らざるに、一島更にあらはれ、水路きはまるが如くにしてまた忽ち開く、かくして島轉じ、海廻りて、其の盡くる所を知らず。
- (二) 今や釋迦は衆星中の満月の如く國中から仰がれる身となつたが、中には彼をそねむあまり、反抗するばかりでなく迫害を加へようとするものさへも出來た。殊にデーバダツタは、いとこの身でありながら、かねてから釋迦の名望をねたみ、幾度か彼を害しようとした、或時の如きは、釋迦が山の下にゐるのを見附けて、上の方から大石をころかしたが石は釋迦の足を傷つけただけで目的を果すことが出來なかつた。

- 右の文を読んで、どんなことがわかりましたか。出來るだけ簡單にお書きなさい。
- (三) 左の三つの文中にあるなほはそれ／＼どんな意味ですか。
 - (イ) 彼は心構せし様なりしがなほ筆も取らで數日を過した。
 - (ロ) 過ぎたるは、なほ及ばざるが如し。

(ハ) 彼はその後にもなほ研究に研究を重ねた。

(四) (1) 次の読み假名を()の中にお書きなさい。

- | | | |
|---------|-------|-------|
| 天つ日嗣() | 團扇() | 真心() |
| 山城() | 大和() | 夏蠶() |
| 狩人() | 捧銃() | 白帆() |
| 長谷() | | |

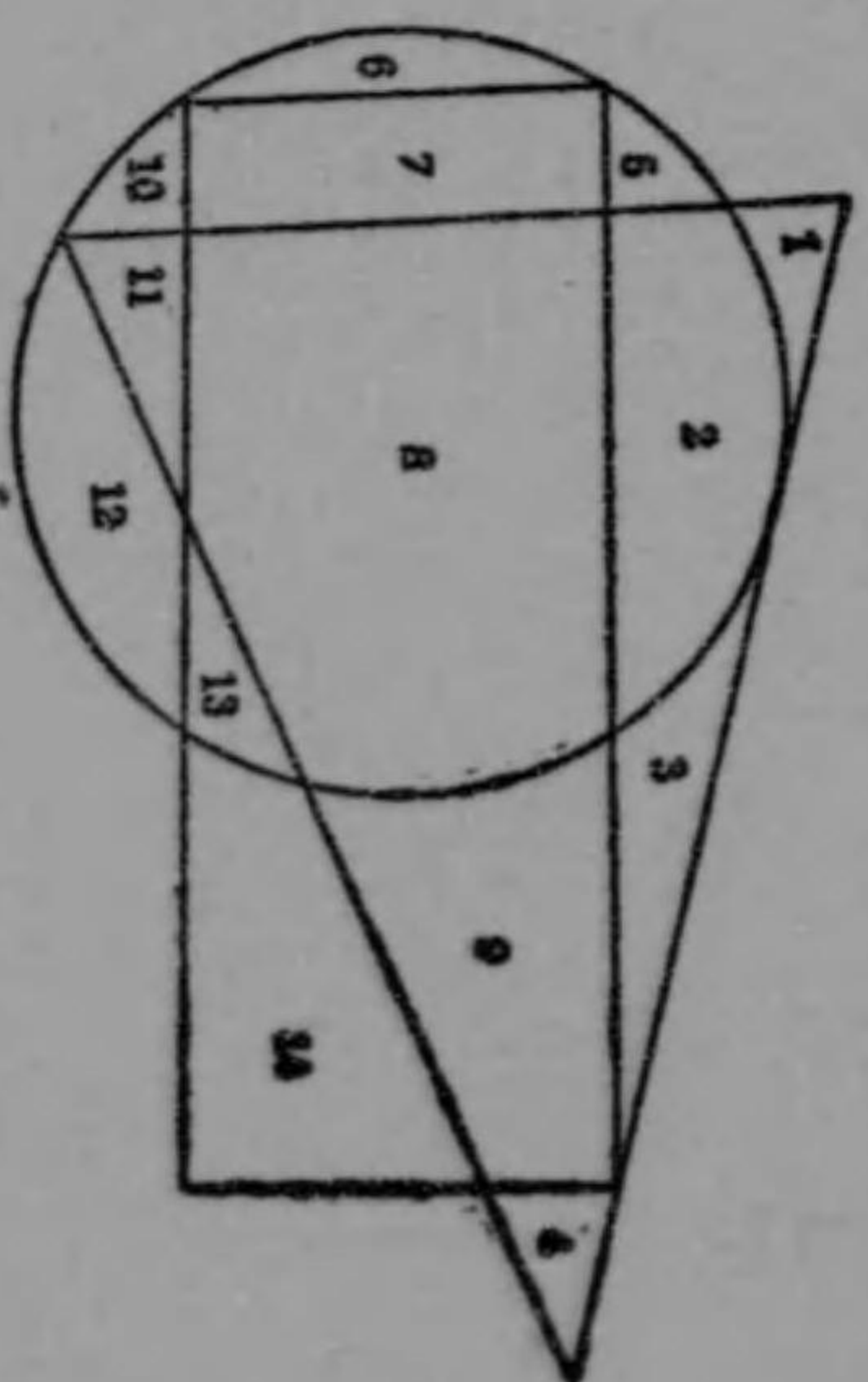
(2) 次の文中片假名のところを漢字に直して()の中にお書きなさい。
 ホゴ色を持つてゐると、まはりの色にまぎれてヨウイに他の動物にミつけられな
 いテキにおそはれるシンバイも少く、又こちらからテキをおそふにもツガフがよ
 すのである。

- | | | | |
|---------|--------|------|-------|
| ホゴ() | ヨウイ() | ミ() | テキ() |
| シンバイ() | ツガフ() | | |

第三問 (時間五十分)

(注意) コノ問題ハ十分以内デ答ヘルコト

次ノ圖ハ圓ト三角形ト矩形トデ出来テキル。ソシテ(1)カラ(14)マデ一ツツノ形ニツ
 メテソレソレ番號ガツクテキルガソレニツイテ次ノ問ニオ答ヘナサイ。



- (イ) 三角形ノ中ニハ形ガ幾ツアルカ。
- (ロ) 圓, 三角形, 矩形ノ, ドレニモハ
ヒツテキル形ノ番號ヲオ書きナサイ。
- (ハ) 圓ノ中ニアツテ三角形ノ中ニ無イ
形ハ幾ツアルカ。

- (ニ) 矩形ノ中ニハ形ガ幾ツアルカ。
- (ホ) (1)カラ(14)マデノ形ノ中デ直線
ダケデ出来テキル形ハドレトドレカ。

(二) 次の童謡を読んで後の問につき答へなさい。

ひとりぼつちの影法師	電氣の笠に啼く蟲は	おひげの長いきりぎりす。
ひとりぼつちの影法師	何をしてるかお膝から	毛糸の玉が落ちました。

- (イ) 一年の中季節はいつ頃でせうか、又そのわけをお書きなさい。
- (ロ) 一日の中いつ頃でせうか。又そのわけをお書きなさい。
- (ハ) どんな天気ですか。適當なものに○をつけなさい。

雨	風	晴	曇	雪
---	---	---	---	---

(ニ) きりぎりすの啼く音は何處からですか。又「長いおひげ」は何の用をしま

すか。

(ホ) 影法師の人は何をして居りますか。

(三) 次の単語の中で同じ種類にはひるべきものをまとめ、それに適當と思ふ名をつけて御覽なさい。

犬	鞋	羊	鶯	釜	下駄	セル
雀	靴	庖丁	羽二重	手桶	草履	レリオン
鳩	布巾	縮緬	フライパン	麻	スリツバ	

(四) 左の各列の数字はどういふ標準で列べられたものか、それを見出して次の来るべき数字を線の上にお書きなさい。

(1)	1	11	15	10	—	—	—
(2)	9	9	7	7	5	—	—
(3)	2.5	5	7.5	10	—	—	—
(4)	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{16}$	—	—	—
(5)	$\frac{1}{2}$	$\frac{2}{3}$	$\frac{5}{6}$	1	—	—	—

(五) 左の単語を讀んでうかんだ事を二百字以内の文章にして、それを適當な題をお

つけなさい。

食卓	お茶碗	お父様	お母様	電燈
お話	夕刊	音	火鉢	

渡邊女學校

(所在地) 本郷區湯島六丁目

○本科

● 考查問題 (一)(一時間)

(一) 左の文を讀んで後の問ひにお答へなさい。

トマス、エヂソンは更に進んで新しき電燈の發明に従事したり。彼が稀代の天才はこゝにも遺憾なく發揮せられて着々成功の域に進みしが唯、心に至りては彼の最も苦心したる所なりき。

- (1) トマス、エヂソンは何を發明した人ですか。
- (2) 彼が最も苦心したのはどんな事ですか。
- (3) 傍線のある語句をぬき出し、漢字に讀みをつけその語句の意味をお書きなさい。
- (四) 紀元節につきて左の事項をお書きなさい。

- (1) どんな日ですか
- (2) 何月何日ですか
- (3) 今年は紀元何年ですか。
- (三) 我國で左の産物を産する主なる地方をお書きなさい。
- (1) 石炭
- (2) 石油
- (3) 砂糖

◆ 考査問題 (二)(一時間)

- (一) 御飯を長くかんでみると甘くなるわけをお書きなさい。
- (二) 次のうちから高い音を出す方に○をお付けなさい。
 - 1. 糸を弱くはつて強くはじく
 - 2. 同じ糸を強くはつて弱くはじく
- (3) 次ヲ計算シナサ1。
 - (1) $37.8 \times 1.5 \div 7.5 - 4.8 \times 16 + 570 \div 5 =$
 - (2) $\frac{5}{18} + \frac{1}{3} \times \frac{3}{18} =$
 - (4) 大工8人デ21日カカル仕事ヲ、6人デスレバ何日デ出来ルカ。

中村高等女學校

(所在地) 深川區清澄町

◆ 試 問 (第一回分)

- (1) 甲乙二人ノ所持金合セラ 10圓デアル、甲ハ乙ヨリモ2圓多ク持ツテキル乙ノ所持金ハイクラカ。
- (2) 次ノ分數ノ大中小ヲカケ。

$$\frac{5}{3} \quad \frac{1}{6} \quad \frac{3}{4}$$
- (3) 或品ヲ定價ノ8掛デ買ツテ12圓40錢拂ツタ此ノ品ノ定價ハ何程カ。
- (四) 次の語のわけを書きなさい。

世界無比	光輝	展開	素質
(五) 次の語にかなをつきなさい。	温和	優美	消化
- (六) 次の候文を普通文に書きなほしなさい。
 - (イ) 一日く〜と延引致し、今日に相成申候
 - (ロ) 御壯健の由何よりのことに御座候

◆ 口頭試問

- (一) あなたの名前は、學校の名は
- (二) 日本の國土を言つてごらんなさい。
- (三) 聖徳太子の御事蹟を言つてごらんなさい。

中村高等女學校

(四) 魚のひれはどんな用をなしますか。

日出高等女學校

(所在地) 目黒區下目黒一丁目

◆讀方科 (四十分間)

- (一) 次の文章の漢字には讀假名をつけ—のある語は()の中に其わけを書きなさい
 各國の國旗は、或は其の建國()の歴史を暗示し()或は其の國民の理想信仰
 ()を表すものなれば、國民の之に對する尊敬()は、其の國家に對する忠君
 愛國の情()の發露()なり。
- (二) 次の文章の片假名の所を漢字に改めなさい。
 ギキンをセンキョするにはモツバラソのジンプツにオモきを~~あ~~いてケツしてシンゾ
 クエンコそのタシカウ上のクワンケイの~~た~~めにコ、ロをマヨはすやうなことがあつ
 てはならぬ。
- (三) 次の語の讀假名と意味を書きなさい。
 (イ) 用途 () (ロ) 指揮 ()
 (ハ) 公平無私 () (ニ) 往來 ()

◆算術科 (40分間)

- (1) 次の計算ヲナサイ。
 (イ) $6 \times \{(5.1 - 3) \div 7\} =$
 (ロ) $930.24 - 84.135 \times 7 + 9.6 \div 8 =$
 (ハ) $17 - \left(2\frac{1}{8} - 1\frac{1}{4} \right) \times 3 =$
 (ニ) $8\frac{5}{21} \div 5\frac{1}{7} \div \frac{2}{9} =$
- (2) 次の各組ノ分數ヲ通分シテ大小ノ順ヲ定メナサイ。
 (イ) $\frac{2}{7}$ $\frac{3}{5}$ $\frac{8}{21}$
 (ロ) $\frac{29}{78}$ $\frac{25}{66}$
- (3) 或人が所有米ノ $\frac{5}{9}$ ヲ1俵14圓70錢ニ賣ツテ4189圓50錢ヲ得タ、後ニ幾俵殘
 ツテキルカ。
- (4) 一晝夜ニ3分進ム時計ヲ或日ノ正午ニ正シイ時計ニ合セラオク、翌日正シイ時
 刻ノ午前8時ハ、コノ時計ヲ何時ヲ指シテキルカ。

(5) 甲乙丙ノ3人が蜜柑80箱ヲ56圓ヲ買ツテ甲ノ中甲ハ28箱、乙ハ35箱取リ残
リヲ丙が取ツタ。各幾ラノ金ヲ出サネバナラヌカ。

洗足高等女學校

(所在地) 目黒區洗足

第一考査問題 (時間四十分)

(一) 左の片假名を漢字でお書きなさい。

1. ネツシン ()とドリヨク ()とをもつてペンキヤウ ()を
つゞけた。

2. キモチ ()よくセイトク ()した。

(二) 左の文を読み次の間にお答へなさい。

なぎさに立ちて昔をしのべば、そのかみ此處にいかめしく向ひ合ひけん英雄の姿今
まのあたり見るが如く打寄する波の音さへ何事をか語るに似たり。

- (1) 今どこに居て何を考へてゐますか。
- (2) 向ひあつたのは誰ですか又其れは何時ですか。
- (3) 波の音をどう感じてゐますか。

(三) 和氣廣蟲とはどんな人ですか。

(四) 次の縣の縣廳所在地は何處ですか。

- 1. 神奈川縣 2. 愛知縣 3. 兵庫縣
- 4. 福岡縣 5. 宮城縣

第二考査問題 (時間40分)

(1) $752828 \div 68$ (2) $7.65 + 1.73 \times 9 - 18 =$

(3) 1反ガ10.5mノ木綿ガアル、コレヲ反ヲ買フト1反ガ2圓15錢ヲ切レテ買フト
1mガ24錢ヲアル、切レテ買フト反ヲ買フト、トチアラガイクラ高クナルカ。

(4) 或ル人毎月28圓ノ家賃ヲ拂フガ、ソレハ月給ノ $\frac{7}{40}$ ヲアル此ノ人ノ月給ハ幾ラ
アルカ。

(5) 1圓95錢ヲ賣ルト3割ノ儲ケガアル品ヲ4割儲ケテ賣ルニハ賣價ヲ幾ラニセネ
バナラヌカ。

(二) 食べた食物はどこを通りますか。

(三) 花崗岩はどんな礦物から出来てゐますか。

大森高等女學校

(所在地) 大森區大森五丁目二

◆國語

- (一) 次の文を読んでどんなことが書いてあるか簡単に書きなさい。
支那・印度の文明を入れ更に西洋の文明を入れて長足の進歩を成し遂げた日本國民は賢明な機敏な國民である。他國の文明を消化して、之を巧みに自國のものとすることは實に我が國民性の一大長所である。
- (二) 次の語句を用ひてそれ／＼一つのみとまつた文を作りなさい。
さながら 心ゆくばかり 突如として 着々と
- (三) 次の漢字に假名をつけなさい。
辨 諭す。 勵す。 經る。
辨へる。 勤 績 健
- (四) 次の字の上又は下に一字を加へて熟語を作りなさい。
- (五) 次の文の片假名の部分を漢字になほしなさい。
(イ) セイトン()とシムのはテイサイ()をつくることではない。
(ロ) 研究にキョウミ()をオボ()える。

(ハ) ロンナン()を忍ぶ。

◆算術 (50分)

(注意) (1) (2) は運算ト答 (3) (4) (5) は式運算答)

- (1) 5日14時20分-2日5時30秒=
- (2) $32+42 \div 6 + 13 \times 3 - 32 =$
- (3) 或音樂會ノ入場料小供ハ大人ノ半額デアル、小供一人伴ヒタル大人ガ入場料1圓20錢ヲ拂ツタ、大人小供各一人ノ入場料ハイクラカ。
- (4) 定價5圓ノ品物ヲ定價ヨリ20錢値引シテ賣ルモ尙ホ原價ノ二割ノ利アリト云フ此ノ品物ノ原價ヲ求メヨ。
- (5) 或人所持金ノ $\frac{1}{3}$ デ書物ヲ買ヒ次ニ $\frac{1}{5}$ デ文具ヲ買ツタガ尙ホ350錢殘ツタ最初ノ所持金ハイクラカ。

調布高等女學校

(所在地) 世田ヶ谷區東玉川町

◆國語科

- (一) 左の漢字に讀假名をおつけなさい。

大森高等女學校 調布高等女學校

風。 監督。 苦行。 編輯。 頻繁。 日嗣の皇子。
 鱒。 重寶。 苗。 手向山。

(二) 左の片假名を漢字に書きなさい。

(イ) ケンジツな生活 (ロ) 仕事にポットウする。

(ハ) メンミツな注意 (ニ) キンチャウした態度。

(ホ) 成功をヨサウする (三) 左の言葉はどういふ時に使れますか例をあげて説明なさい。

(イ) 不時着陸。 (ロ) 加工。

(四) 左の語句の意味をお書きなさい。

(イ) 望遠鏡で見ると月の表面が手にとるやうに見える。

(ロ) 武門の面目。 (ハ) 國利民福の本は農業にあり。

(ニ) 習慣になづみやすい。 (ホ) 單身探検に赴く。

(ホ) 森嚴自ら人の襟を正さしむ。

(五) 鐵眼は一度しか一切經を出版しないのに「鐵眼は一生に三度一切經を刊行せり」と人から感歎されたのは何故でせうか、そのわけを説明なさい。

(六) 次の題で作文をおつくりなさい。

◎文題 甘藷 算術科

(1) $(7.3 - 0.7 \times 6 + 5.4) \div 0.5 =$

(2) $10 - \left(\frac{2}{3} + \frac{3}{8} - \frac{5}{12} \right) \times \frac{2}{3} =$

(3) $3\frac{1}{8}$ は $\frac{25}{72}$ の何倍か。

(4) 一ツノ比ノ前項ヲ3デ割リ、後項ヲ2倍スレバソノ値ガ $\frac{7}{26}$ ニ等シイ。元ノ比ヲ求ム。

(5) 或人ガ本ヲ讀ムノニ、最初ノ日ニ全體ノ $\frac{1}{3}$ 次ノ日ニ殘リノ $\frac{2}{3}$ ヲ讀ソダガ、ナホ30頁殘ツタトイフ、コノ本ハ何頁ダツタノカ。

(6) 花子サンガ昨年ノ暮皇太子殿下御誕生ノ日カラ、今年ノ明治節マデ毎日3錢ツツ貯金箱ニ入レルト、イクラニナルカ。

(7) 高サガ4mノ三角形アリ。ソノ面積ハ一邊ガ4mノ正方形ノ面積ニ等シイ。コノ三角形ノ底邊ノ長サヲ求ム。

(8) 職工150人ガ毎日8時間ツツ働キ5週間デ出來上ル仕事アリ。今、職工50人マ

- 減シ、毎日働ク時間ヲ2時間ヅツ増セバ、コノ仕事ヲ幾日デ仕上ゲルコトニナルカ
- (9) 金216圓ヲ甲乙丙ノ三人ニ分ケルノニ、甲ノ $\frac{1}{2}$ ト乙ノ $\frac{1}{3}$ ト丙ノ $\frac{1}{4}$ ガ等シクナル
ヤウニスルニハ各人ノ分配額ヲ如何ニスレバヨイカ。
- (10) 或反物ニ原價ノ1割5分ノ利益ヲ加ヘタ定價ヲツケテオイトガ、ソノ品物ノ丈
ガ不足ダツタタメ定價ノ八割ケニ賣ツテ11圓4錢ヲ得タ。幾ラノ益ガアツタカ。損
ガアツタカ。

成徳女子商業學校

(所在地) 世田ヶ谷區代田二丁目

◆國語科

- (一) 次の漢字を用ひて熟語をお作りなさい。
- (イ) 製 (ロ) 奮 (ハ) 従 (ニ) 密
- (二) 次の言葉の意味をお書きなさい。
- (イ) 忠孝の美風世界に冠たり (ロ) 筆勢非凡
- (ハ) 寢食を忘る (ニ) 志ある者は事終に成る
- (三) 次の文中傍に線のある文字に読み方をおつけなさい。

これまで自分の不整頓のために、むだに費した時間と努力は大きなものであつた
整頓といふのは、體裁をつくることではなくて、むだをなくすることだ。」と思ひました

(四) 次の文章を解釋しなさい。

人は生活上の必要から發火法を工夫し、燃料を研究し、熱と光とをあらゆる方面に
利用することを考へて來た。

(五) 傍に線のある言葉の書取をしなさい。

- (イ) ちつそく () 出かけませう (ロ) せいしつ () 良き兒童
- (ハ) 四季のくんくわ () (ニ) 開校さねん () 日

◆算術科

- (1) 次の式ヲ計算セヨ。
- (イ) $26 \div 0.72 =$ (小數第三位ヲ求め、尙剩餘ヲモ求めヨ)
- (ロ) $6 \times \{(5.1 - 3) \div 7\} =$
- (2) (イ) $\frac{225}{300}$ ヲ既約分數ニナホセ。
- (ロ) $\frac{1}{6}, \frac{7}{10}, \frac{3}{4}$ ヲ通分セヨ。
- (3) 1年ハ、365日5時48分46秒デアル、5時48分46秒ノ4倍ハ何時何分何秒カ。

- (4) 甲乙丙三數ノ和ハ31デ、甲乙ノ和ハ23デ乙丙ノ和ハ18デアル、甲乙丙各ハ幾ツカ。
- (5) 或人ガ銀行ニ1000圓預ケタガ1ケ年後ノ元利合計ガ1037圓ニナツタ、1ケ年ノ利率ハイクラカ。

實踐高等女學校

(所在地) 澁谷區常磐松御料地

第一試問 (五十分)

- (一) 教育勅語に「我が國體の精華」と仰せられたのはどんなことでせうか。
- (二) 次の文の意味をお書きなさい。
 (イ) 富貴は人のねがふ所なり。然れども正しき道によるに非ざれば我之に居らず。
 (ロ) かくて何時まで留るべき身ぞと心強くも立去りけり。
- (三) 次の片かなを漢字におなほしなさい。
 ノウゲフ、テウパウダイ、カベギハにオク、アンジする。
- (四) 次の讀方とわけとをお書きなさい。
 屈指 私利 再生の恩 小春日和 耐久

- (五) 帝國憲法について次の問にお答へなさい。
 (1) 何が書いてありますか。 (2) いつ發布になりましたか。
 (3) 取調に従つた人は誰ですか。
 (六) 次について知つてゐることをお書きなさい。
 (1) 立川 (2) 舞鶴灣 (3) 新京 (4) バンコク (5) 裏海

第二試問 (45分)

- (1) 次ノ式ヲ計算セヨ。
 (イ) $120 - \{64 + (42 - 16)\}$
 (ロ) $14 \times 2.6 - 87.71 \div 7 + 39.03$
- (2) 次ノ式ノ□ノトコロニ適當ノ數ヲ入レヨ。
 $250 - 36 \div \square = 106$
- (3) 甲ガ10月間ニ得ル收入ト乙ガ半年間ニ得ル收入トガ相等シイ、甲ノ1月ノ收入ガ120圓デアルト乙ノ1月ノ收入ハ幾ラカ。
- (4) 母ハ32歳兒ハ4歳デアルコレカラ幾年スレバ兒ノ歳ガ母ノ歳ノ $\frac{1}{5}$ ニナルカ。
- (五) 岩石の風化といふのはどんな事ですか。

青山學院高等女學部

(所在地) 澁谷區綠岡町

●試問 (全部二時間)

(一) 次の文を読んで後の問に答へなさい。
釋迦は今から凡そ二千五百年前北インドのヒマラヤ山のふもとカピラバスト王國の太子として生れた。

釋迦は生れつき同情の念に厚く、何事も深く考へ込む者であつた。或時、父王と共に城外に出て、農夫の働く様を見廻つたことがある。ぼろを着た農夫は玉のやうな汗をかいて田をすき起し、牛はつかれ果ててあへぎあへぎ働いてゐる。折から飛下りて來た鳥が鍬に傷つけられた蟲をついばんだ。木陰からじつと見てゐた彼はしみ／＼と自分の身の上に思ひ比べて、農夫や牛の勞苦を思ひやると共に蟲の運命をあはれんだ。

- 問
1. 自分の身の上はどんなか
 2. 農夫はどんな勞苦をしてゐたか
 3. 牛はどんな勞苦をしてゐたか
 4. 蟲はどんな運命であつたか

上の問の答に相當する文句に——線を引いてそれ／＼問と同じ番號を側につけなさい。

問 この文の釋迦について、どんなことを學ぶことが出來ますか。

- (二) 次の句の中で本當に夢を見たのはどの句ですか。番號の上に○をつけなさい。
1. 夢のやうに船歌が聞えて來る
 2. 一同夢に夢見る心地
 3. 三月堂二月堂霞につつまれてさながら夢の如し。
 4. 思へば一場の夢に過ぎず
 5. 夢にのみ見し山川
- (三) 次の文を読んで——線の漢字に讀假名をつけ、そして後の問に答へなさい。
西郷は軍令を出して翌日の進軍を中止させた。さうして直に静岡の大總督府にはせつけて議をまとめ更に京都に上つて勅裁を仰ぎとうとう徳川方の願意をとほさせた。安芳が一命をかけた努力と、西郷の果斷によつて、江戸の市民も徳川家もわざはひを免れて、維新の大事業もとどこほりなく成し遂げられるやうになつた。
- 問(1) 西郷は徳川方の願意をとほさせるためにどうしましたか。
問(2) 安芳と西郷とのはたらきによつて、どんな結果になりましたか。
(四) 次の句の意味に「」中の1.2.のうち、どちらが當りますか。當らない方を消しなさい。

- 一として杉を用ひざるなし
1. 杉を用ひる
 2. 杉を用ひない

効果空しからず

- 1. 効果がある
- 2. 効果がない

(五) 次の文の片假名の言葉を漢字になほしなさい。
 其のサイシヨの一音がスデにきやうだいの耳にはフシギにひびいた。ミートーベン
 のリヤウガンは異様にカガヤいて彼の身にはニハカに何者かビノリウツつたやうき
 やうだいはタダうつとりとしてカンにウたれてゐる。

試問 (二)

注意 式運算答ハ各問題ノ下ニ書クコト

- (1) $(8\frac{1}{3} + 0.75) \times \frac{4}{9} \div 8$ ヲ計算セヨ。
- (2) 明治45年ハ大正1年デ大正15年ハ昭和1年デアル昭和9年ハ大正何年ニアタ
ルカ又明治何年ニアタマルカ。
- (3) 自動車ト自転車ノ速サノ比ハ5:3デアル、自動車ガ3時間=120km行クト自
転車ガ104kmヲ行クト何時間カカルカ。
- (4) 3圓50銭=賣ルト4割ノ益ガアル品ヲ2圓80銭=賣ルト幾割ノ益カ又ハ損カ。
- (5) 小包=3銭切手ト10銭切手トガ合セラ48銭ダケハツテアツタ、ソシテ3銭切
手ノ枚數ハ、10銭切手ノ枚數ノ2倍アツタ各何枚ヅツカ。

精華高等女學校

(所在地) 淀橋區角筈

國語科

- (一) 「皇國の興廢此の一戦にあり。各員一層奮勵努力せよ。」
 (イ) この信號を旗艦三笠にかかげたのは、何時ですか。
 (ロ) その時の司令長官の名をお書きなさい。
 (ハ) この信號の意味をわかりやすくお書きなさい。
- (二) 強いことは男子のもちまへで、國・社會・家を安全に保護していくやうなことは
 男子の務ですが、
 (イ) 女子のもちまへは () (ロ) 女子の務は ()
 何ですか。()の中にお書きなさい。
- (三) 鎌倉宮にまうでは、盡させぬ親王のみうらみに、悲憤の涙わきぬべし。
 (イ) この親王といふのはどなたですか。()
 (ロ) —をひいたところの意味をお書きなさい。
 1. 盡させぬ () 2. みうらみ ()
 2. 悲憤の涙 ()

- (四) 左の都會はこの首府ですか。
 (イ) ロンドン (ロ) 新京 (ハ) バリー (ニ) ベルリン

◎ 作文題

「我が家」

◆ 算術科

次ノ式ヲ計算セヨ。

- (1) $9486 \div 18 - 135 \times 3 =$
 (2) $(9683 - 35) \div 536 =$
 (3) $6 \times \{(5.1 - 3) \div 7\} =$
 (4) $17 - \left(2\frac{1}{8} - 1\frac{1}{4}\right) \times 3 =$
 (5) $\left(8\frac{1}{3} + 0.75\right) \times \frac{4}{9} \div 8 =$
 (6) 4倍が $\frac{1}{3}$ -ナル數ヲ求メヨ。
 (7) アルコール12リットル=水4リットルヲ混ゼテ造ツタ液ガアル。此ノ液中=アル、アルコールノ液全體=對スル體積ノ歩合ヲ百分率デ出セ。

- (8) 或輸出商ガ毛織物ヲ輸入シタ。輸入ノ際ノ到着價格ガ3760圓デアルト關稅何程ヲ納メネバナラヌカ。稅率ハ輸入ノ際ノ到着價格ノ10割デアアル。
 (9) 或長サノ反物デ姉ト妹ノ着物ヲ作ツタ。姉ノ分ニ全體ノ $\frac{4}{7}$ ヲ使ヒ、殘リヲ妹ノ分ニシタラ妹ノ分ハ姉ノ分ヨリ1.6m短カツタ。此ノ反物ノ長サハ幾ラカ。
 (10) 林檎ガ94アル。之ヲ甲乙丙3人ニ分ケルニ甲ノ取分ト乙ノ取分ノ比ハ4:3デ、乙ノ取分ト丙ノ取分ノ比ハ5:4ニナルヤサニスルニハ各幾ツ取レバヨイカ。

堀越高等女學校
堀越家政女學校

(所在地) 中野區宮前町

◆ 國語

- (一) 左の——の右にかなをつけなさい。
 (1) 裁判所は貸主の主張を正當とみとめれば、其の借金を返すやうに借主に命ずる。
 (2) 幾年こゝにきたへたる鐵より堅き腕あり。吹く潮風に黒みたるはだは赤銅さながらに。

(3) 各國の國旗は或はその建國の歴史を暗示し、或はその國民の理想信仰を表すものなれば、國民の之に對する尊敬は即ちその國家に對する忠愛の情の發露なり。

(二) 次の文中片假名の語を漢字に直して () の中に書きなさい。

リンカーンは父の手助をしてチエウジツ () に働くと共にヒジャウ ()
なネツシン () とドリヨク () とをもつてベンキヤウ () を續けたケ
ツクワ () 彼がタジツ () 大統領となり、セカイ () のキジン ()
として萬人に仰がれるやうになつたのも、實に少年時代のクシン () のたまも
のである。

(三) 次の文を読んで左の間に答へなさい。

ダーウインは興味を覺えると、あくまでそれにこる性質で、一度何かをし始めたら満足なけつくわを得るまでは決して途中でやめなかつた。しかも日常生活は極めて規則正しく、毎日きめた時間割通りに仕事を進めて、たとへ十分、十五分の餘暇でも無益に費すことがなかつた。

ダーウインの後半生は病氣がちであつたが、此の規則正しい生活とふだんの養生とによつて、七十四歳の長壽を保つことが出来た。さうして廣く動植物を研究して生物は總べて長年月の間には次第に變化し、下等なものから高等なものへと進むもの

であるといふことを證明した。これが有名な進化論で學界を根本から動かしたものである。

(1) 「それ」とは何をさしますか。

(2) 「日常生活は極めて規則正しく」とはどんな事ですか。

(3) 「長壽を保つ」ことが出来たのはなぜですか。

(4) 「進化論」とはどんな考ですか。

(四) 次の熟語の意味をその下に書きなさい。

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| (1) 境 内 () | (2) 伯 父 () | (3) 戰 場 () |
| 境 界 () | 叔 父 () | 戰 争 () |
| (4) 農 夫 () | (5) 貨 幣 () | |
| 農 業 () | 紙 幣 () | |

(五) 次の言葉の上と下とを適當に線を引いて組合せなさい。

- | | |
|-----|-------|
| 蜜柑を | 裁判する。 |
| 原野を | 展開する。 |
| 訴訟を | 栽培する。 |
| 牛馬を | 耕す。 |

風景が

放牧する。

算術

(1) 次ノ運算ヲナセ。

(イ) $542 + 309 + 153 + 1500$

(ロ) $1589 - 23.08$

(ハ) 0.851×35

(ニ) $1938 \div 38$

(2) 次ノ分數ノ分子又ハ分母ノ缺ケタル所ヲ記入セヨ。

(イ) $1 = \frac{50}{9} = \frac{50}{\quad}$ (ロ) $3 = \frac{10}{\quad} = \frac{66}{\quad}$

(3) 縦ト横トノ長サノ比5:3ナラバ、縦25米ノ時、横ハ幾米カ。

(4) 資本金3000圓ヲ商業ヲ營ミ一年ニ資本金ノ二割五分ノ利益ヲ得タリ、其内ヨリ雜費150圓ヲ差引ケバ、純益ノ歩合ハ何程ニ當ルカ。

(5) 鉛筆6本ト筆7本トノ價ノ和ハ86錢、又鉛筆3本ト筆4本トノ價ノ和ハ47錢ナリ、鉛筆、筆各一本ノ價何程カ。

立教高等女學校

(所在地)

杉並區久我山三丁目

試問の一

(一) ある婦人がかういふことをいひました。

『私は十年前、小學校で、試験の時、隣の生徒の答案をそつと見て、良い點を取りました。しかしそれを思ひ出しては、今も、ひとりで苦しんでゐます。』

この婦人はなぜこんなに自分で氣がとがめて苦しんだのでせうか。

(二) 「民のため心のやすむ時ぞなき、身は九重の内にとありとも」

此の明治天皇の御製によつて、天皇はどういふ御方であらせられたと思ひますか。

試問の二

(一) 我が國體の基はどういふ御神勅で定まりましたか。

(二) その御神勅はどなたにお告げになつたのですか。

(三) 四大節の名と、それは何月何日か、お書きなさい。

(四) 今年は紀元何年ですか。また、我が國の紀元はどういふ時から數へてゐますか

讀方

(一) 次の文を讀んで終りにかいてある問に答へて下さい。

商業は之に従事する商人だけを利するためのものではない。商人たる者は、よく共同生活の眞意義を辨へ、品質のよい品物をなるべく安價になるべく敏速に供給して廣く公衆の爲を計らなければならぬ。これ即ち世間の信用を博して堅實に自己の事業を發展させる道である。

昔は個人の利益を營むのが商業であると思はれてゐた。それ故大多數の商人は、自己の利益を除いては、殆ど何物をも眼中に置かず、忍耐も努力も要するに皆自己の爲であつた。彼等が町人といつて賤しめられたのも其の爲であらう。これはひつきやう文明の程度が低いために、共同生活の意義が明らかでなく、随つて商業の本質が理解されず、商人の人格が重んぜられなかつたからである。文明の進んだ今日尙此のやうな考を持つのは大きな誤といはねばならぬ。

- (1) 昔の商人が賤しめられたのは何の爲だと書いてありますか。
- (2) 「商業の本質」といふのはどういふことを指してゐるのでせうか。
- (3) 個人の利益を營むのが商業であると思つては何故いけないのですか。
- (4) 文中に「此のやうな考」といふのはこの文のどこにかいてあることをさしてゐますかそこへ線を引いて下さい。

(二) 次の文を読んで後の問に答へて下さい。

まづ、新聞社の組織について述べん。これも社によりて多少の相違はあれども、多くは總務局ありて全體を統べ、編輯・營業の二局ありて編輯に關することは前者之を司どり、販賣・廣告に關することは後者之を擔當す。

- (1) これも は何をさしてゐますか
- (2) 前者 は何をさしてゐますか
- (3) 之を は何をさしてゐますか
- (4) 後者は何をさしてゐますか
- (5) 之を は何をさしてゐますか

(三) 次の文の——を引いた所を口語になほして下さい。

(1) 都大路を大宮人の櫻かさし、紅葉かさして往來しけん今にして思へば一場の夢に過ぎず。

(2) 雲も水も金色に輝き美しさいふばかりなし。

(3) 其の中御地へ參り候やもはかり難く候。

(四) 次の文の意味を説明して下さい。

(1) 勝つてかぶとの緒をしめざりしを悔いぬ。

(2) 人を容れる度量に乏しい。 (3) 大いに治績を擧ぐ

(4) 見渡す限りのかがり火晝をあざむく。

(5) 溫和な人となりのうちにとことなく才氣のひらめいてゐる篤學の壯年。

(6) その盡く所筆勢非凡、丹青の妙言ふべからず。
(7) 防備をさく念なし。

(五) 次の言葉の用ひ方がわかるやうにこの言葉を使って短文を一つづつお作りなさい。(調査す、尊重すなどのすはせとしても、しとして使つてもよろしい。)

- (1) 調査す (2) 尊重す (3) 供給す (4) 激増す (5) 經營す

(六) 次の(1)には六つの言葉、(2)には七つの言葉があります。それくどういふ風につけたら一つの文になりますか。すぐ次へお書きなさい。

- (1) (イ) 同じものだ (ロ) まいたやうに見える (ハ) この大きな太陽も
- (ニ) 星の一つと (ホ) 銀の砂を (ヘ) 夜の空に
- (2) (イ) 見える (ロ) 自動車などは (ハ) 眺望臺で眺めると
- (ニ) ちるで (ホ) 人間や (ヘ) 蟻のはふやうに

(ト) 道を往來してゐる

(七) 次の——のところの適當な漢字をかいて下さい。

じぜんじげふを起したり、せいねんだんを組織して、さんげふのはつたつうぞくのかいぜん等に務めたりするものじちのせいしんをやらせいする上にからくわがある。

(八) 次の——をひいた漢字によみがなをつけて下さい。

- (1) 灌木を伐倒す様壯快言語に絶す
- (2) 親族・縁故その他私交上の關係の爲に強制・勧誘されてはならない。
- (3) 未開の原野を大きな鋤を何本も取付けた機械で開墾する
- (4) 我が國民は奮闘・努力の氣性に乏しく、遊惰・安逸に流れるかたむきがある。

算 術

次ノ式ヲ計算セヨ。

- (1) $10.464 \div 0.05231$ フ小数第二位ヲテ求メ以下四捨五入セヨ。
- (2) $3.5 - \{12.5 - (12 \times 0.7 + 4.5 \div 3)\}$
- (3) $\frac{22}{4} \times \left(1 - \frac{1}{11}\right) \div \left(8 - 5\frac{1}{2}\right) \times 2\frac{1}{7}$
- (4) 2 立入リノ油罐ヲ作ルノニ縦横ノ内法ヲ各々 10cm トスレバ深サハ何程ニスレバヨイカ。
- (5) $1m = ツキ 1.8$ 圓ノ富士絹 $2\frac{1}{3}m$ デ女兒服一着ヲ作ツタガ附属品ナドモ込メテ 4.9 圓カカツタ、附属品ノ代金ハ用布代ノ幾分ノ幾ツカ。
- (6) 米若干俵ヲ仕入レ其ノ中 $\frac{4}{15}$ ヲ賣ツタノニ尙 319 俵殘ツタ。初メニ仕入レタノハ

幾俵カ。
 (7) 友達幾人カ共同シテ半紙六締（一締ハ百帖）ヲ14.4圓デ買ッタ。一締半取ツタ人ハ代金何程ヲ拂ハネバナラヌカ。又此人ハ一帖3.5錢ノ割デ此ヲ買フノニ比ベテ何程ノ利益ガアルカ。

川村女學院

(所在地) 豊島區目白上

試問

- (一) 民の爲め心の休む時ぞなき、身は九重の奥にありても（右の歌の感じを書きなれよ。）
- (二) 畫師の苦心の課
 君は畫を以て一家をなせるに何卒 君の技をふるひ給へ
 （右のしみをかきなれよ。）
- (三) 次の言葉を女らしく丁寧な言葉に直しなさい。
 あれは銀行だ、今迄は横丁の小さな家だったが今度はあゝ云ふ立派なのを建てたのだ。

- (四) 山の中でも三間家でもすめば都よ我が郷よ（尋三下第八）
 木引きの力藏さんが 板を引いてゐました。
 木引きの力藏さんの歌つた歌は何う云ふことですか。
- (五) 我國赤十字社のおこりについて書け。
- (六) 菓子等を包むに錫をもちひるのは何故ですか。
- (七) 知つてゐる海草の名を五つ上げなさい。
- (八) 次ぎの航空路を東京から順に上げなさい。
 東京、 大連、 福岡、 蔚山、 大阪
- (9) $9486 \div 18 - 135 \times 3 =$
- (10) 特別急行列車標號ハ午後0時45分ニ東京驛ヲ出發シテ神戸ニ到着スルヤデニ8時間カカリヤム。神戸ニ着スルハ何時デセウカ。
- (一一) 下の圖は着物の立方寸法をあらはす圖です、此の着物をつくるに入る反物の長さは幾らですか。

文華高等女學校

(所在地) 豊島區巢鴨町

算数科

川村女學院 文華高等女學校

$$(1) \quad \begin{array}{r} 63.85 \\ \times 9.75 \\ \hline \end{array}$$

(2) 次ノ□印ノ所ニアラハナル數ヲ書ケ。

(イ) 100圓ノ1割ハ□圓

(ロ) 直角ノ三分ノ一ハ□度

(ハ) $7 \times \square = 98$

(ニ) $\frac{5}{8} = \frac{25}{\square}$

(3) 海水2.5kgノ中ニ70gノ食鹽ガアル海水ハ幾パーセントノ食鹽ヲ含ンデキルカ。

(4) 750人ノ子供ニ1人ニ4個ヅツ蜜柑ヲ與ヘヨウト思ヘバ幾個ヲ注文シタラヨイカ、但シ100個ノ買入レニ付キ4個ノ腐敗ノアル見込デオクコト。

◆國語科

(一) 左のわけをおかきなさい。

春日の社頭、朱の廻廊山の緑にはえて、森殿自ら人の襟を正さしめ、東大寺の金堂は天空高くそびえて、五丈三尺の大佛一千二百年のおもかげをのこせり。興福寺は伽藍半ばすたれたれど、尙三重五重の塔、猿澤の池水に影をうつして南都第一の美

觀たり。

(二) 左の字に讀假名を付けよ。

(イ) 日和

(ロ) 家來

(ハ) 風情

(ニ) 切株

(ホ) 重寶

(ヘ) 曲物

(三) 左の文中の誤りをなほせ。

停車場を外に出ずれば、秋晴の空はあくまですみて暖かさ春の如し。旅行にはよき日なりなど思ひつゝ參詣人の郡にまじりて行く。

◆地理科

(一) パルプは我が國のどこで最も多くつくられますか、又これを原料としてなにが出来ますか。

(二) 日本で一番多く石炭の出るのは何縣ですか。

(三) マレー諸島より我が國に輸入する品を二つかきなさい。

(四) 日本の軍港の所在地をあげなさい。

(五) 東京市の電車や電燈の電力は主としてどこからひきますか。

◆國史科

(一) 左の關係ある人物を一人以上書け。

- (イ) 建武中興()
- (ハ) ポーツマス條約()
- (ホ) 平安京()
- (ロ) 大日本史()
- (ニ) 韓國併合()

◆理科

- (一) かきの種とそらまめの種とどう違ふか。
- (二) いかの足は何本あるか、たこの足は何本か。
- (三) あたへられたる鑛物は何か。(雲母)
名前をかきどころがとくにめだつ點か。
- (四) 左の□のなかに適當な文字を入れよ。
(1) しんちゆうは□とあへんとの合金である。
(2) 白銅くわは□と□とである。
- (五) 光が空氣からななめに水に入る時の圖をかけ。

武藏野高等女學校

(所在地) 瀧野川區西ヶ原町

◆國語科

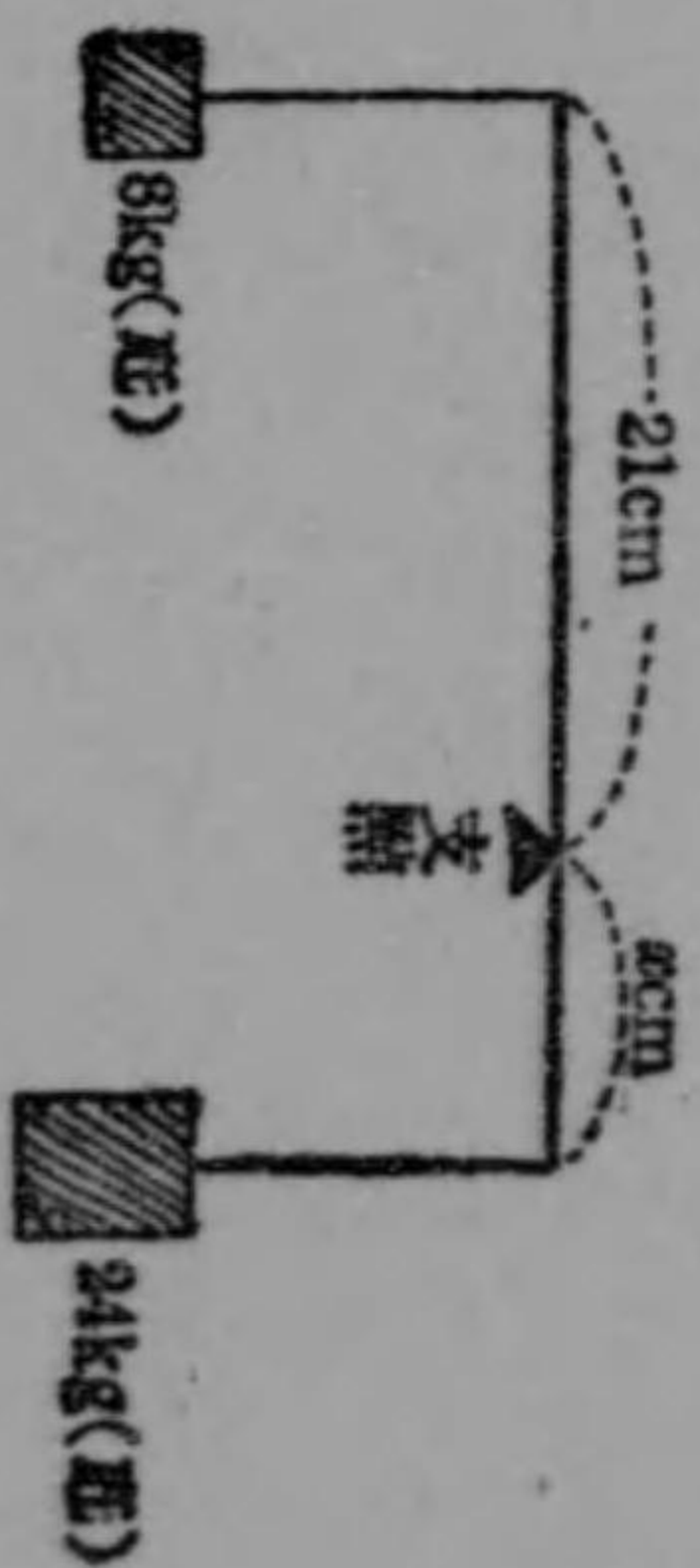
- (一) 次の文のわけをお書きなさい。
海の靜かなることは鏡の如く、朝日夕日を負ひて、鳥がくれ行く白帆の影ものどかなり。月影のさざなみにくだけ、漁火の波間に出没する夜景もまた一段の趣あり。
- (二) 次の文の片假名の下に漢字を入れなさい。
タイヤウ()の光とネツ()とがなくては我々ニンゲン()はモチロ
ン()あらゆる生物一としてセイソン()することはデキ()ない。
- (三) 次の文字にまちがひがあつたら線を引いて右に正しい字をお書きなさい。
建康、 境内、 瀧車、 信仰、 保儉

◆算術科

- (1) 次の比例式ヲトキナサイ。
(ア) $\frac{1}{2} : \frac{5}{6} = 9時 : x時$ (ロ) $12 : 1.5 = x : 1\frac{1}{3}$
3 : 5
- (2) 5,12,18ノ各ニテ約セララルル數ノ中1000ニ最モ近キ數ヲ求メナサイ。
- (3) 二萬分ノ一ノ地圖ニ於テ2平方釐ノ地面ガアリマス此ノ地面ハ實際幾ヘクタールノ面積ガアリマスカ。
- (4) モシ算術科ヲ除キタル他ノ6學科目ノ成績平均點ヲトレバ78點トナリ算術科

ヲ加ヘタル成績平均點ハ、75點トナル算術科ノ總點數ハ如何程デスカ。

- (5) 次ノ圖デ示ス如キ挺子ガアル、支點ヨリ(ロ)マデノ長サハ幾何ニスレバ此ノ挺子ハ水平ニ保チマスカ。



女子聖學院(普通部)

(所在地) 瀧野川區中里町

第一試問

- (一) 次の片假名を漢字にお直しなさい。
 (イ) ケンカウ () をクワイフク () する。
 (ロ) ニチジャウセイクワツ () はキワ () めてキソク () 正しくする。
 (ハ) ネットシン () とドリヨク () をもつてベンキヤウ () をツヅ () けた。
- (二) 次の漢字に讀假名をおつけなさい。

- (イ) 鮮か。 (ロ) 風情。 (ハ) 空し。 (ニ) 畝傍山 (ホ) 體裁。

(三) 次の文章を讀んで傍線を引いてある所のわけをお書きなさい。そして後にある問にお答へなさい。

春は來りぬ。越路の雪も解初めたれば、柴田勝家、先づ佐久間盛政をして一萬五千の兵を率ゐ、近江の柳瀬に討つて出でしむ。待ちまうけたる秀吉は琵琶湖のほとりに十三箇所のとりでを構へ、諸將を配置して、防備をさをさ怠なし。やがて勝家また自ら五萬の兵を督し、來りて盛政の軍に合す。

- (問) (イ) 何時代に起つた事ですか。 (ロ) 寄手の大將は誰ですか。
 (ハ) どんなにして防ぎましたか。 (ニ) 秀吉はどんな功績のあつた人ですか。
 (ホ) 琵琶湖についてお書きなさい。
- (四) 次の言葉の中から適當と思ふ二つの言葉を選んでつなぎ合せ、四つの文にしてごらんなさい。
 無量の感に。 言ふべからず。 打たれたり。 進みもやらず。
 筆舌に。 たたずみぬ。 丹青の妙。 盡し難し。
- (五) 「櫻」と言ふ題で五行以内の短文をお作りなさい。

第二試問

女子聖學院(普通部)

(1) 19357×50.86

(2) $9486 \div 18 - 135 \times 3$

(3) $17\frac{2}{3} - \left(3\frac{3}{8} - 2\frac{1}{2}\right) \times \frac{16}{21}$

(4) 鯨尺1尺ハ1mノ $\frac{25}{66}$ デアル。鯨尺1寸ハ幾C.m.カ。又鯨尺2丈8尺ハ幾mナ
ルカ。

(5) 1日ニ2分進ム時計ガアル、ユノ時計ハ3日ト3時間ニ何分何秒進ムカ。

(6) 甲乙2人ガ同時ニ同所カラ同方向ニ出發シタ。1分間ニ甲ハ95mツツ乙ハ80m
ツツ歩クト何分後ニ2人ノ距離ガ195ニナルカm。

(7) 或動物園ノ入園料ハ小供ハ大人ノ $\frac{3}{5}$ デアル、或日大人ガ3573人小供ガ2675人
ハイツテ入園料258圓90錢ツツタ、大人、小供各々1人ノ入園料ハ幾ラカ。

答案之部

- (九)(四)其の物の價高くなる。
 - (六)主として需要と供給との關係によるなり。
 - (二)其の物の價安くなり。
 - (五)すなはち物の價の高下よ。
 - (三)品物少くして、之を望む者多ければ。
 - (十)誠に(御無沙汰)に打過ぎ申しわけもこれなく候
- ◎考査(3)
- (一)(1)靖國神社には(國の爲に盡くしてたふれた人々)をまつてあります。
 - (2)汽車や電車に乗つた時は(人に迷惑をかけないやうにする)心がけが大切です。
 - (3)今日各國は互に(1)(條約を結び)(2)(大使・公使を派遣して)親善をはかつてゐます。
 - (4)帝國議會の議員を選挙するには候補者の中から(1)(性行が善良であり)(2)(りつばな考をもつてゐる)人を選挙せねばなりません。
 - (5)國民の二大義務は(1)(納税)と(2)(兵役)とです。
 - (二)(1)秀吉は國內を平げた後(明)と交を修めんとし、(朝鮮)をして其の意を通ぜしめた。

- (2)應神天皇の御代に(王仁)といふ學者などが百濟より(學問)を傳へた。
 - (3)○大正七八年の平和條約。
 - (4)(五)藤原鎌足 (一)伊藤博文 (三)新井白石
 - (四)北畠親房 (二)井伊直弼
 - (5)(行基)
- (三)(1)にしん (2)ドイツ (3)ニューヨーク
- (4)新京 奉天 (5)教習
- (四)(1)はうし (2)○心臓、○肺 (3)(三)はす
- (二)乘 (四)きく (一)さくら
- (4)すゞは黒(白)いかねであつて、化合物(元素)である。
- 鉛は甚だかたい(軟い)かねであつて、元素でない(ある)。
- アルミニウムは白色のかねであつて、甚だ重く(軽く)、その重さは鉛よりも大きい(小さい)。
- (5)電池から針金に電流を通ずるとき針金の太い程電流は強く、又針金の長い程電流は弱い。

◎考査(4)

- (1) 横線ヲ引イタ所ガ幾ル。
 $5 \times 5 - 5 \times 5 \times 0.785 = 5.375$
 (答) 5.375平方cm
- (2) (1)圓35錢-70錢)÷5錢=13
 10立方m+13立方m=23立方m (答) 23立方m
- (3) 4.9m+4.9m×3+4.9m×5+4.9m×7=78.4m
 (答) 78.4m
- (4) $1200 \text{圓} \times \left(1 - \frac{1}{5} - \frac{1}{3}\right) = 560 \text{圓}$
 $560 \text{圓} \times \frac{5}{5+3} = 350 \text{圓}$
 $(560 \text{圓} - 350 \text{圓}) + 1200 \text{圓} \times \frac{1}{3} = 610 \text{圓}$
 () 甲 50圓, 乙 610圓
- (5) $100 \text{圓} \times 0.05 \div 93 \text{圓} = \frac{5}{93}$
 $50 \text{圓} \times 0.12 \div 93 = 111.6 \text{圓}$ (答) 111.6圓

東京高等師範學校附屬中學校

◎考査(5)

- (一)(1)(イ)先づ萬葉集を研究し、(ロ)次に古事記を研究しようと考えた。
- (2)古事記の研究。
- (3)萬葉集には舒明天皇から淳仁天皇までの百三十年間の古い歌を記してある。
- (二)(一)こよなき知遇(に感じ)。
- (二)「冬のおした」は劉備が孔明を二回目にたづねた時をあらはし、「春のゆふべ」は三回目にたづねた時をあらはしてゐる。
- (三)草ぶきの家。 (四)孔明。
- (三)(一)宋が亡びはしないかと心配することをさす。
- (二)「之」は、義兵を集めて國難を救はうとする事が羊の虎に向ふやうに危いことをさす。
- (三)「無謀」きけんである。「といふ意味」。
- (四)たゞ、國がほろびさうになつて危いのをどうしよう、他にどうにもしやうがないではないか。
- (四)(一)雷がなつても依然として彼は落着いてゐる。
- (二)此の手紙の中に、彼の面影がよく表れてゐる。

(三)心ゆくばかり旅行の快さを味った。

参考 査 (6)

- (1) ならばしが生れつきのやうになる。
- (2) 教育勅語は西洋の思想がはいつて来て、國民の思想が混亂し、進むべき道がわからなかつたので、明治天皇が我等臣民のしたがひ守るべき道德の大綱をお示しになるためにお下しになつた。
- (3) (一)六十七年前。
(二)源頼朝以來、武家のかしらとなつて天下を治めた者。
(三)源頼朝が征夷大將軍に任ぜられた時。
(四)この文は王政復古の時が、どんな時であるかといふ事を説明してゐる。
- (4) 我が國は山國で川の流が早く、水量が多くて水力發電に便利であるから。
- (5) (イ) (一)地中の莖を食べる。 (二)でんぶん。
(ロ) $10 \times 90 = 30 \times x$ $x = 30$
 $30 \text{kg} - 3 \text{kg} = 27 \text{kg}$ (答) 27kg

東京高等學校(尋常科)

國語科

- (一)(1)五人。 (2)灯が消えさうであることをさす。
- (3)末席の僧が、「小僧、早く灯心をかきたててくれ。」と言つたことばをさす。
- (4)小僧。
- (二)得がたき物にても有用なる(ならぬ)ものは價なし。例へばこゝに一つの石がありとせよ。それが如何にまれにして、たやすく得らるゝ(得られざる)ものなりとも用ひやうなければ、たれも之を買ふ者なく、したがつて價ある事なし。
- (三)(1)ならばしがうまれつきのやうになる。
(2)じやまをするのもおもひやりがない。
(3)だんだんとしとげさうになつた。
(4)ちやうど外の世界であそんでゐるやうな氣がする。
(5)せしつが、こせしとして小さく、へんけふになつたふうがある。
- (四)(1)フボノヤマイブツケレバ醫藥ノ効ナキヲシリチ

モ尙治療ニツトムルハ人情ノツネニアラズヤ。

(2)協同一致シテ團體ノ福利ヲ増進スル。

(3)緑イロ濃キ木蔭ニセイザスル。

(五)(1)私は、今日入學試験を受けるため、早曉に家を出た。

(2)彼は病弱のため、さしくその志を捨てた。

算術科

- (1) $\left(\frac{9}{10} + \frac{1}{5}\right) - 1 = \frac{1}{10}$ $(20\text{g} + 8\text{g}) + \frac{1}{10} = 280\text{g}$
 $280\text{g} \times \frac{9}{10} - 20\text{g} = 232\text{g}$ (答) 金232g 銅18g
- (2) 10分 + (3秒 + 5秒) = 75, 12時間 × 75 = 37日12時間
(6日 + 37日) - 31日 = 12日
(8時 + 12時) - 12時 = 8時
 $3\text{秒} \times \left(37\frac{1}{2} + 12\right) = 9.375\text{秒}$
 $5\text{秒} \times \left(37\frac{1}{2} + 12\right) = 15.625\text{秒}$
8時 + 9.375秒 = 8時9.375秒

東京高等學校(尋常科)

8時 - 15.625秒 = 7時59分44.375秒

(答) 4月12日ノ午後8時、

進△時計ハ午後8時9.375秒、

進△時計ハ午後7時59分44.375秒

- (3) $\{750\text{円} + (90\text{円} + 30\text{円} \times 2)\} \div 2 = 450\text{円}$
 $450\text{円} \times \frac{5}{5+4} = 250\text{円}$ $450\text{円} \times \frac{4}{5+4} = 200\text{円}$
 $750\text{円} - 250\text{円} - 200\text{円} = 300\text{円}$ (答) 甲250円, 乙200円, 丙300円。
- (4) $(80\text{m} + 72\text{m}) \times 2 = 304\text{m}$
 $304\text{m} \div (76\text{m} - 72\text{m}) = 76(\text{分})$
 $(80\text{m} + 76\text{m}) \times 76 = 11856\text{m}$ (答) 11856m
- (5) $1662\text{mm} \times \frac{1}{6} - 32\text{mm} = 245\text{mm} = 24.5\text{cm}$
 $(100 \times 100 \times 24.5) \div 1000 = 245$ (答) 245l
- (6) $1 - 0.1 = 0.9$, $1 - 0.2 = 0.8$,
 $10\text{円} \times 0.9 - 10\text{円} \times 0.8 = 1\text{円}$ $1 \times 0.9 - 1 \times 0.8 = 0.1$
 $1\text{円} \div (3 - 1) = 0.5\text{円}$ $0.1 \div (3 - 1) = 0.05$
 $8\text{円} - 0.5\text{円} = 7.5\text{円}$ $7.5\text{円} \div (1 + 0.05 - 0.8) = 30\text{円}$

五

理科



(一) 大豆の種にははいにゆうがなく、皮をとればすぐしえふが出るが、柿の種はいにゆうの中にしえふがある。

(二) 食物が最もよく消化される所は小腸である。口、胃ではそれぐでんぶん、たんぱくしつのみを消化するが、小腸では、すゐえき・腸液・たんじぶが出て、でんぶん・たんぱくしつ・しばうを三つ共盛に消化するからである。

(三) 水成岩は水底に層をなした種々の岩石となつて出ている。それは川水の運んで来た粘土・砂・小石等が海・湖に入るときは、あらいものから次第に水底に沈

み、長い年月の間にはこれ等のものが厚く積り且固まつて種々の岩石となるからである。

(四) 化合物二種(かせいソーダ、えんさん)著しく違ふ所(えんさんは無色の液体であるが、かせいソーダは白色の固体である。又えんさんはすつばい味があつて青色のしけんしを赤變させるが、かせいソーダはえんさんと違つた味があり、赤色のしけんしを青變させる。)適當にまぜる時の作用(えんさんとかせいソーダとは化合して、鹽を生じ、どちらのしけんしをも變へないやうになる。)

國史科

(一) 足利義視と義尙との相續争ひと、細川勝元と山名宗全との勢力争ひとが原因となつて大亂となつたが、紀元二千百二十七年後土御門天皇の應仁元年に、兩軍は各々大軍を京都に集め、勝元は室町の幕府に陣して、其の兵は約十六萬、宗全はその西に陣して其の兵約十一萬であつた。これから兩軍は十一年の間相戦つたが、その間に宗全・勝元は相ついで病死し、兩軍の諸將も戦において次第に引去つたの

で、大亂も自然に止んだ。しかしこのために、花の都も焼野と變つた。

(二) 大政奉還とは徳川幕府が天下の政權を天皇に還し奉つたことである。明治天皇が御即位になつた時に、幕府は長州征伐にやぶれて、威權が全くすたれたので、岩倉具視等の公卿は、薩摩藩士大久保利通、西郷隆盛、長門藩士木戸孝允等と結んで、幕府を倒さうと謀つた。土佐・前藩主山内豊信は之を憂へて、家臣後藤象二郎を遣つて大政を朝廷に還し奉ることを、將軍徳川慶喜に説かせたので、慶喜は時勢を見てそのすゝめに従ひ、之を申し上げた所、天皇は之をお許しになつた。こゝに於て大政が奉還されたのである。時に紀元二千五百二十七年(慶應三年)であつた。

地理科

(一) (イ) 日本海方面(冬季雨雪が多く波風も荒い。之は北風に送られた濕氣が中國山脈で遮られ雨雪となつて降るからである。)

(ロ) 瀬戸内海方面(中國山脈が日本海方面からの濕

東京府立高等學校(尋常科)

氣や北風を遮り、四國山脈が太平洋方面からの濕氣を遮るから、氣候が溫和で、雨量が少く晴天の日が多い。

(ハ) 太平洋方面 四國山脈と近海の暖流との影響で、氣候が暖く雨量がゆたかである。

(二) (イ) この地方はアルプ山脈をはじめ數多の山脈があつて、平地が少い。

(ロ) コブラ・燐礦・砂糖。

東京府立高等學校(尋常科)

算術問題 (第一回)

(1) $4680 \times 9 + 4680 = 46800$ $54000 + 3 = 18000$
 $46800 \div (9 - \frac{1}{3}) = 54000$ (答) 甲 54000, 乙 18000

(2) $1 + (8 \times 11) = \frac{1}{88}$ $12 \div 10 \div \text{最小公倍数} = 60$
 $60 \div 12 = 5, 60 \div 10 = 6$

$(\frac{1}{88} \times 6 - \frac{1}{88} \times 5) \div (13 \times 6 - 10 \times 5) = \frac{1}{2464}$

(女一人が一時間 = ナ仕事)

$$\left(\frac{1}{83} - \frac{1}{2454} \times 10\right) \div 12 = \frac{3}{4928} \quad (\text{男一人が一時間} = \text{ナ仕事})$$

$$1 \div \left(\frac{3}{4928} \times 8 + \frac{1}{2454} \times 10\right) \times 7 = 16 \quad (\text{答}) \quad 16\text{H}$$

(3) 27歳 + 23歳 = 50歳, 27歳 - 23歳 = 4歳,

$$1248 \text{ 圓} \div 50 = 15600 \text{ 圓}$$

$$15600 \text{ 圓} \times (1 + 0.05) = 16380 \text{ 圓}$$

$$16380 \text{ 圓} \times \frac{23}{28+24} = 8820 \text{ 圓}$$

$$16380 \text{ 圓} - 8820 \text{ 圓} = 7560 \text{ 圓}$$

(答) 兄8820圓, 弟7560圓

(四)(一)「咲てゐる花が美しくてりはえる」といふ意味である。

(二)奈良の都の美しいことをたとへたのである。

(三)奈良の都がおとろへてしまったことをいつてゐる。

(四)奈良の都を花にたとへて、咲く花のほふが如

いみじかいあしがある。

(八)血は身體の各部に養分をあたへ、又各部に生ずる不用物を取りさる。

(九)(イ)中央部では、工業が大いに發達してゐる。それは、この地方特に大阪神戸附近は瀬戸内海に近く各地との商業上便利な位置にあり、原料製品の運搬に都合がよいため、南部は之等のことが備はらないため工業は振はない。

(ロ)中央部には地味肥沃な平野が多いので、農業が盛で、米・麥・菜種等がたくさんとれるが、南部は山地が多くて農業は盛でない。然し、氣候が暖か雨が多いから樹木がよくそだち杉の造林が盛である。

(ハ)南部の紀伊半島の近海は、暖流が流れてゐて、魚類が多いので水産業が盛である。

(IO)(イ)聖徳太子が支那に使をつかはし、對等の交際をはじめ、更に留學生を送られた。

(ロ)文永十一年と弘安四年に元軍が我が國に來り侵しつ、しりぞけられた。

東京府立高等學校(尋常科)

し」といつたからである。

(五) 簡單#てがるなこと。てみぢかなこと。

(イ) 單純#まじりけのないこと。

單調#變化がなくて一本調子なこと。

複雜#こみいつてゐること。色々まじつてゐること。

(ロ) 繁雜#物事が多くてわづらはしいこと。

混雜#人がいりみだれて、ごたごたすること。

(六)(イ)宣長は堪(絶)えず文通して眞淵の教を受け、師弟の間(關)係は日一日と親密(密)の度を加へた。

(ロ)ドイツ人が大戦後における自國の疲弊(弊)を回復(復)するため盛に活動してゐるのには全く啓(敬)服した。

(七)蠶の頭は甚だ小さい。胸は太く長くて、し(胸)のふしから出來てゐるのが見える。前の(胸)のふしは胸で、後の(胸)のふしは腹である。胸の下側には(胸)の細いみじかいあしがある。腹の下側には「し」本の太

(ハ)豊臣秀吉が、文祿の役、慶長の役で大いに明軍を打破り國威を海外にあげた。

(ニ)明治十八年、わが國と清國とは天津條約を結び、朝鮮に兵をおかないことを約した。

(ホ)明治二十七年八月わが國は清國との戦ひを宣し、翌年二月敵將丁汝昌を降し、同年四月に下關條約を結び、我が國は清國から臺灣・澎湖島を得、又清國に朝鮮の獨立を認めさせた。

(ハ)明治二十八年十月三國干涉により、我が國は下關條約によつて得た遼東半島を清國に還した。

(ト)明治二十七八年戦役後、北京に暴徒が起つたので我が國を始め各國軍が聯合して北京に攻入つて鎮めた。このため清國は我が國や外の列國に償金を出して和を結んだ。

○ 算術問題 (第11回)

$$(11) \quad \frac{13}{24} + 5 = \frac{13}{120} \quad \left(1 - \frac{13}{24}\right) \times \frac{8}{11} + 4 = \frac{1}{12}$$

$$\frac{13}{120} - \frac{1}{12} = \frac{1}{40}$$

$$1 - \frac{13}{24} - \left(1 - \frac{13}{24}\right) \times \frac{8}{11} = \frac{1}{8} \quad \frac{1}{8} + 2.5 = \frac{1}{20}$$

$$\frac{1}{12} - \frac{1}{20} = \frac{1}{30} \quad 1 \div \frac{1}{20} = 20,$$

$$1 + \frac{1}{30} = 30 \quad 1 \div \frac{1}{40} = 40$$

(答) 甲20H, 乙30H, 丙40H

(12) 甲 乙 丙

$$\frac{3}{4} : \frac{2}{5}$$

$$6^3 + 4^3 + 5^3 = 405$$

$$\frac{6}{4} : \frac{4}{5}$$

$$97.2\text{cc} \times \frac{6^3}{405} = 51.84\text{cc} \quad 97.2\text{cc} \times \frac{4^3}{405} = 15.36\text{cc}$$

$$97.2\text{cc} \times \frac{5^3}{405} = 30\text{cc}$$

(答) 甲51.84c.c. 乙15.36c.c. 丙30c.c.

(13) $5000\text{円} \times \frac{0.5}{100} = 25\text{円}$

$(10000\text{円} - 5000\text{円}) \times \frac{0.6}{100} = 30\text{円}$

$69\text{円} - 25\text{円} = 44\text{円} \quad 44\text{円} - 30\text{円} = 14\text{円}$

$$14\text{円} \div \frac{0.7}{100} = 200\text{円} \quad 10000\text{円} + 2000\text{円} = 12000\text{円}$$

(答) 一萬二千圓

(一四)イ) 天から降つたか、地からわいたのではないかと思はれるほどふいにおこつたなんぎなこと。

ロ) よいものをもつてゐてそれをうまく使はないこと。

ハ) 自分、聞きまちがひではないかと考へる。

ニ) 筒條のじゆんにしたがつて、つまびらかにさうだんする。

(一五) 自分一人が、本分を守らないため、他の凡人々に迷惑をかける様な事をしてはならないといふ教訓が得られる。

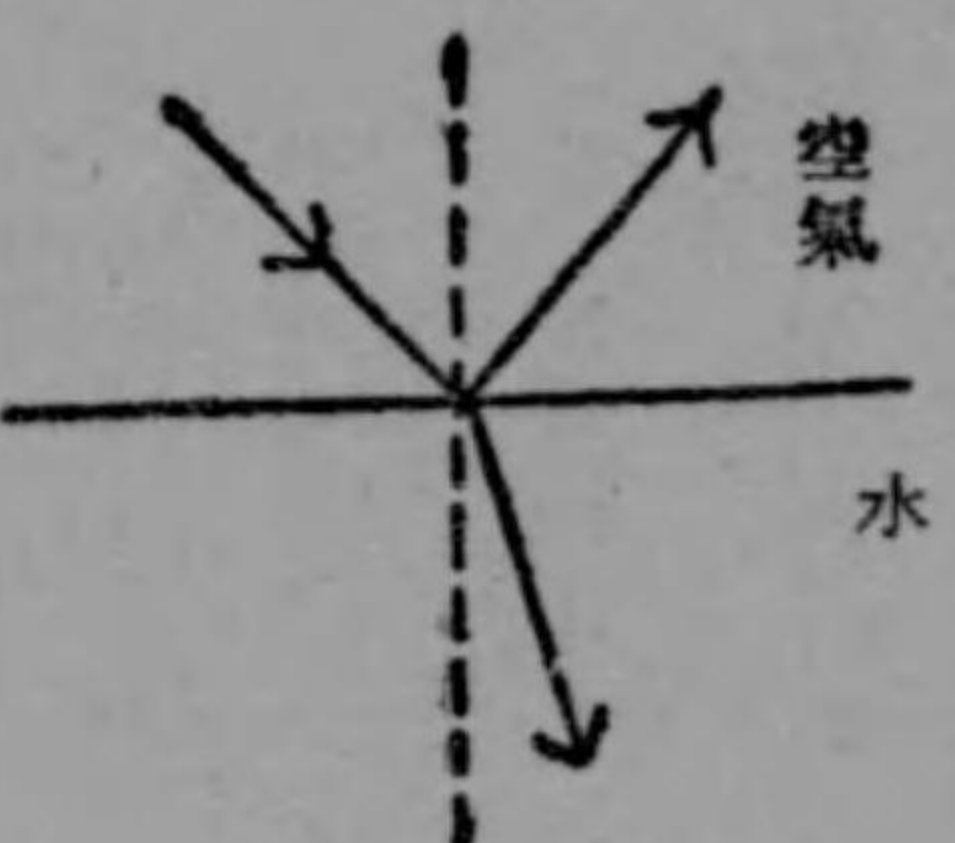
(一六) イ) 指揮 指名 (ロ) 成功 成敗

ハ) 教化 文化 (ニ) 體裁 制裁

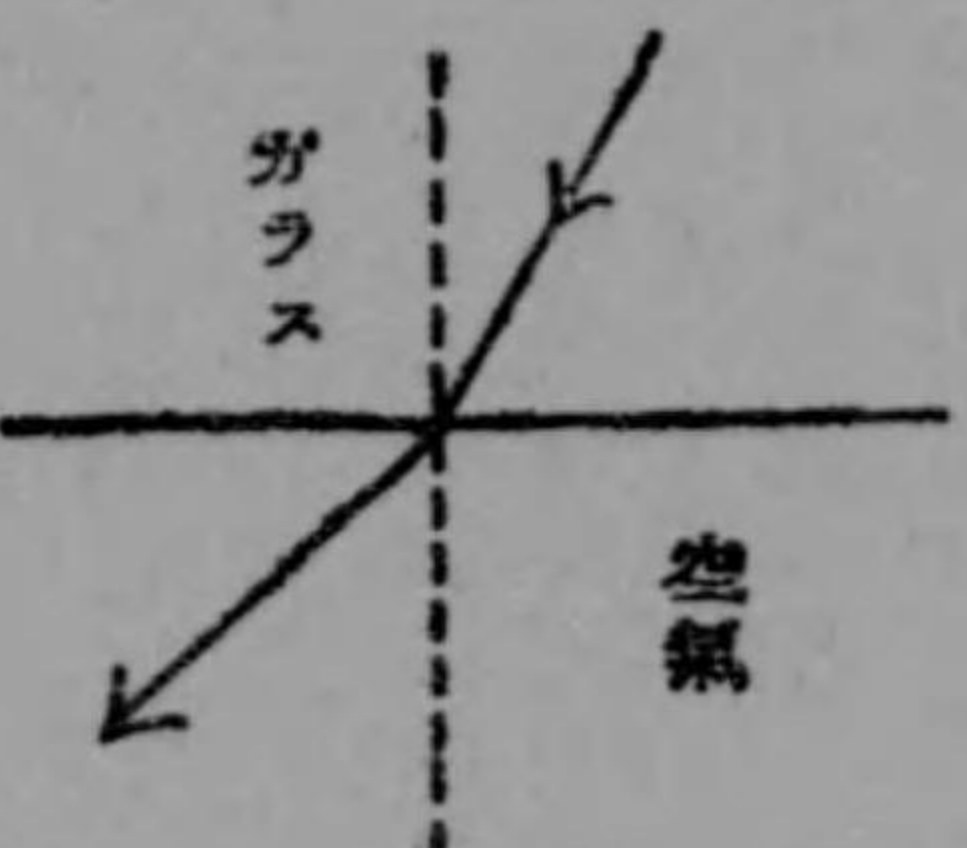
(*) 美観 奇観

(14)

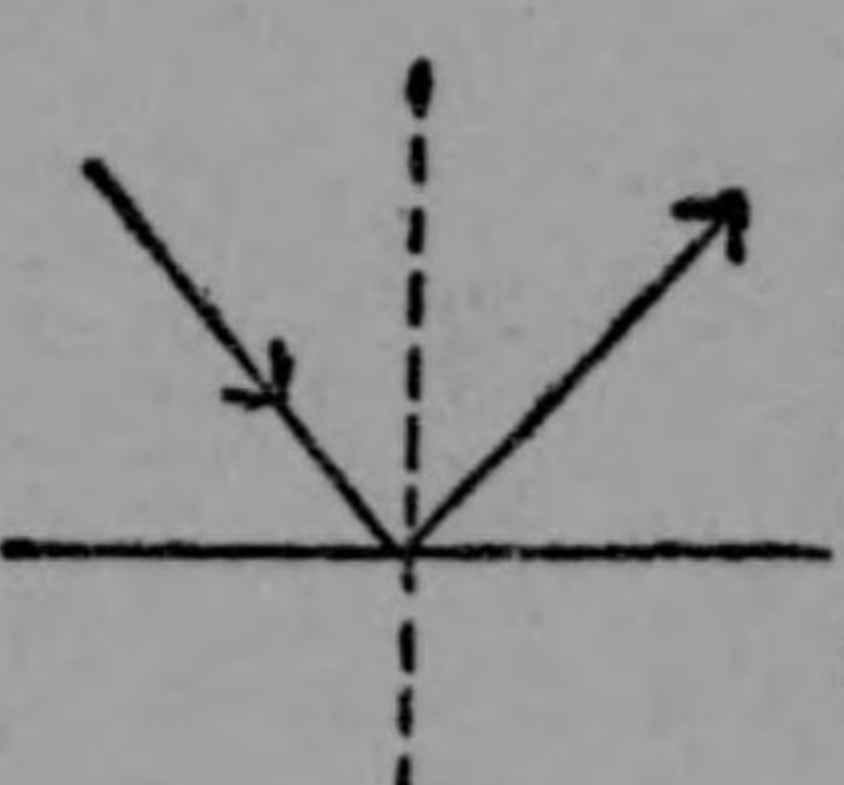
(1)



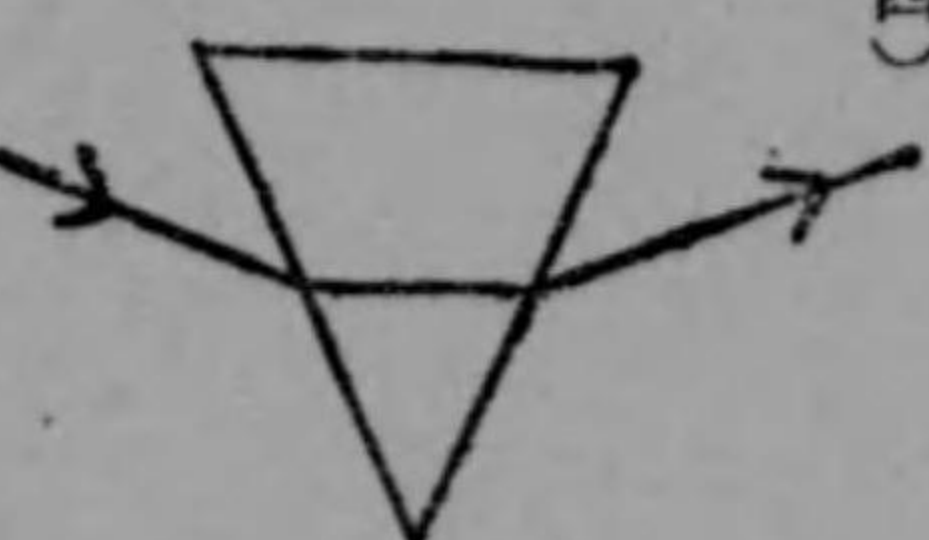
(11)



(13) 平面鏡の面



(14)



(15) (1) えんさんは鹽から製し、アルコールは糖蜜。

東京府立高等學校(尋常科)

しも類から製する。

(二) えんさんは青色のしけんしを赤變させるが、アルコールは全く作用しない。

(三) アルコールは引火してよく燃えるが、えんさんは引火しない。

(一九) 揚子江は江口から約二百八十里の上流にある漢口までは、海洋を航行する汽船も自由に往來し得る程の自然の大交通路で、水運上の利便が多い。之に反して、コンゴ川は海岸近くで濶となつてゐるから、水運上河海の連絡が不便である。

(二〇) 皇大神宮(宇治山田市—天照大神)

談山神社(大和の國—藤原鎌足)

護王神社(京都—和氣清麿、和氣廣蟲)

平安神宮(京都—桓武天皇)

太宰府神社(筑前—菅原道眞)

鎌倉宮(鎌倉—護良親王)

淡川神社(神戸—楠木正成)

藤島神社(福井—新田義貞)

豊國神社(京都—豊臣秀吉)

東照宮(日光—徳川家康)
 臺灣神社(臺灣—北白川宮能久親王)
 明治神宮(東京市—明治天皇、昭憲皇太后)

武藏高等學校(尋常科)

圖理解力

- (一)支那の漢字をかりて、種々の知識を國民一般に傳へることが出來た。
- (二)約四千里である。
- (三)樹木をみだりに伐拂はないこと。又伐取つた跡や必要な場所には、樹木の種子を蒔いたり、苗木を植附けたり、自然に生えた苗木や、切株から生じた新芽を育てたりして、新に樹木を仕立てること。
- (四)鈴の屋は縦横各一間半の部屋である。
- (五)約束は必ず守らねばならぬ。大阪冬の陣の和議の中に外堀を埋める條件があつたが、家康は士卒に外堀はもとより内堀をも皆埋めさせた。之は明かに約束をむいたのである。

圖計算力

- (1) (答) 7.32 (2) (答) $14 \frac{1}{216}$
- (3) $15\text{圓}36\text{錢} + 0.3 + 1.23 = 15\text{圓}15\text{圓}36\text{錢} - 15\text{圓} = 36\text{錢}$ (答) 36錢 / 毎
- (4) $750\text{圓} + 30\text{錢} = 2500(\text{坪})$
 $15000\text{圓} + 12\text{圓} = 12500(\text{坪})$
 $12500\text{坪} - 2500\text{坪} = 10000\text{坪}$
 $10000\text{坪} = 3\text{町}3段3畝10歩$ (答) 3町3段3畝10歩
- (5) $100 \times (140\text{匁} + 5000\text{匁}) = 2.8$
 $140\text{匁} + \frac{5000}{100} = 1750\text{匁}$ $5000\text{匁} - 1750\text{匁} = 3250\text{匁}$
 (答) 2.8%, 3250匁

- (6) (12時—11時)+3時=4時
 $\frac{1}{2} + \frac{1}{18} = \frac{5}{9}$ $\frac{1}{2} - \frac{1}{18} = \frac{4}{9}$ $\frac{5}{9} : \frac{4}{9} = 5 : 4$
 $\frac{4\text{時} \times \frac{5}{9}}{4} \times \frac{4}{4} = \frac{25}{9}$ 時=6時15分
 11時+6時15分—12時=5時15分 (答) 午後5時15分

圖觀察力

(1) (II) 省略

東京府立第一中學校

圖試問 (第一時分)

(一)大社のくぎりの中を出てうみべに行つた。建御雷命が大國主命とおあひになつたのは、こゝだといふことである。ちやうどその時、日が空と地とのさかひの線に近くなつて、雲も水も金いろにかざやいて、美しいことはいひやうがない。波うちぎはに立つて昔のことを思ひおこすと、そのむかし、こゝでおごそかにむかひあつたであらうえらい人のすがたを今日のまへに見るやうである。

東京府立第一中學校

- (II)(イ)「社の組織」に相違がある。(ロ)編輯局
- (ク)營業局 (ニ)前の「之」は「編輯に關する事」をさし、後の「之」は「販賣・廣告に關する事」をさす。
- (III)(イ)天皇のおとりさばき。
- (ロ)國民として裁判にあづかる人。
- (ク)こみいつてゐるのとてみじかであるのとのちがひ。
- (ニ)羊のやうに弱いものが、虎のやうに強いものにむかふやうである。
- (ホ)まねることは、つまり自分で工夫して考へ出すやうになるまでの道すぢでなければならぬ。
- (四)青年團を組織して産業の發達、風俗の改善等に務めたりするのは皆公共心の發動である。
- (五)「太陽」
 太陽は自熱の状態にある一大火球で、常に強い光と熱を放ち、液體に近い氣體を以て形造られてゐる。その直徑は地球の百九倍餘で、實に三十五万四千里に及び、地球をさること約三千八百万里の所にある。

太古人文が未だ開けなかつた世には、人類は其の赫々たる光輝を望んで崇敬の念を生じ、太陽を以て神とし之を崇拜した。わが國でも皇祖天照大神を日の神と申し奉つて、之を太陽に比べて朝夕禮拜を怠らなかつた。此の風習は今に至つても尙行はれてゐる。又わが國旗の日の丸は即ち太陽であつて、わが皇威の發揚、國運の隆昌がちやうど旭日昇天の勢のあることを表はしたものである。其の他古來鏡を太陽にかたどり、之を御神體として神社に祀る等、太陽に對するわが日本民族のあこがれが頗る深かつたことを知ることが出来る。

近時天體に關する研究が漸く普及して、太陽も亦宇宙間に散在する星の一つであることを知るやうになつた。太陽の容積は、地球の約百三十万五千倍に達し、他の遊星と同じやうに自轉して、其の周期は約二十六日である。其の赫々たる光輝は、凡ての遊星を照して、我が地球も亦之によつて晝夜の別を生じ、四季寒暑の差を生ずる。そしてわが地球上に存在するもので、太陽の影響を受けないものはない。

太陽の熱と光とがなかつたならば、我々人間は言ふに及ばず、あらゆる生物は、一として生存することが出来ない。實に太陽の恩恵の廣く且深いことは、筆舌に盡すことが出来ないのである。

(六) 普通の植物はたねによつてふえ、又、地下莖や根によつてもふえる。海藻類・しだ類・きのこ類ははうしによつてふえる。

(七)(イ) 人の吐く空氣は普通の空氣よりきんそが少くて、又普通の空氣よりも多量のたんさんガスと水蒸氣とを含んでゐる。

(ロ) 暑い時は汗が多くでて熱を多くとり去り、寒い時は汗が少くでると、着物を多く着て、熱の出るのを防ぐから、人の體温は常に定つてゐるのである。

(八)(一) 電氣が細い線を流れる時、熱を發し、又光を放つ性質。

(二) 電流がその流れる線をまきつけた磁棒等に磁石の性をあたへる性質。

(九) きはつゆといふ。製法 \parallel きはつゆは石油の原油を

釜に入れて熱して、これから出る蒸氣を冷して製する。

性質 \parallel きはつゆは色がなくすき通つてゐて、ねばりけがなく、一種のほひがある。水にとけないで、水よりも軽い。これに火をつけるとほのほを出してもえる。

(十) 國 \parallel ブラジル。首府の名 \parallel リオデジャネーロ。

關係の深いわけ \parallel 我が國人のこの國に在留する者が多いから。

(十一) 横濱・神戸。横濱は輸出が主で、神戸は輸入が主である。

(第二時分)

(十二) 我が國は建國が大へんふるく、萬世一系の天皇が御統治になつてゐる。天皇の御祖先が我が國を開き、我が國のいしずゑをお定めになつたその規模が廣大で、いつまでも動くことがないやうにされた。又天皇の御祖先は身を正しうし道を行ひ、民を愛し、教を垂れておてほんを後の世に長くおのこしになつた。そして臣民は君に忠をつくし父母に孝をつ

くすことを念としないものはなく、心をあはせて常にこの美風を完うした。これらが我が國體のすげえ美しい所であつて、我が國の教育もこゝに基いてゐる。

(十三) 良心の指圖に従へば、必ずよいことを行つて、悪い行をしないやうになり、善良な人となることのできるからである。

(十四)(イ) 紀元節は我が建國の始を祝ふ日であるから。

(ロ) 紀元二千五百九十四年。

(十五)(イ) 楠木正成兄弟は、七度人間に生れて朝敵を滅すべき覺悟をいひのこした。

(ロ) 松下村塾は吉田松陰が開いて、尊王愛國の精神を鼓舞し人材を養成した塾である。

(16) $30 \times 30 \times 30 \times 0.52 + 1000 = 14,041$ (韓) 14,041

(17) $1+6 = \frac{1}{6}$ $1+8 = \frac{1}{8}$ $1+12 = \frac{1}{12}$

$\frac{1}{6} + \frac{1}{8} + \frac{1}{12} = \frac{3}{8}$ $1 + \frac{3}{8} = \frac{22}{8}$

(答) $\frac{3}{8}, \frac{2}{3}$ 時間

(18) $6277\text{圓}50\text{銭} + 93\text{圓} = 675(a)$

$67.5a + 67.5a \div \frac{13}{5} = 180a$ (答) $180a$

(19) $180^\circ + 11^\circ 15' = 191^\circ 15'$

$191^\circ 15' \div (1 + 1 + \frac{7}{5}) = 56^\circ 15'$

$56^\circ 15' - 11^\circ 15' = 45^\circ$ $56^\circ 15' \times \frac{7}{5} = 78^\circ 45'$

(答) $\angle A = 78^\circ 45', \angle B = 56^\circ 15', \angle C = 45^\circ$

(20) $130\text{圓} \div 0.8 = 162.5\text{圓}$ $162.5\text{圓} \div (1 + 0.3) = 125\text{圓}$
 $130\text{圓} - 125\text{圓} = 5\text{圓}$ (答) 5圓ノ益

東京府立第二中學校

第一試問

- (一) 接木(ツギキ) 山路(ヤマヂ)
- 落葉松(ラクエフショウ) 思召(オボシメシ)
- 仕向(シムケ) 抵抗(テイカウ) 行燈(アンドン)
- 入梅(ニフバイ) 伐採(バツサイ) 合圖(アヒツ)

(II)(イ) 奥地をタンケン(探検)す。
ケンヤク(儉約)を守る。

(ロ) 親カウカウ(孝行)
カウアン(考案)をめぐらす。

(ハ) ス(統)へ治める。
ス(總)へてみなよし。

(ニ) 日をノ(延)ばす。
ノ(述)を記す。

(キ) 師にツ(就)して學ぶ。
ツ(盡)させぬよるこび。

(III)(イ) 物の具(よろひ)
物々しや(り)つばであることよ

(ロ) 社頭(神社のほとり) 驛頭(ていしやばのま)

(ハ) 行きかねつ(行くことができなかつた)
行きかふ(あちこちにゆきちがふ)

(ニ) 没頭(しん)になる) 物笑(わらひばなし)

(ホ) 路頭に迷ふ(家もなく、着物や食物にこまる)
話題を轉ず(一つの話のうちきつて、別の話に移る)

(四)(イ) 郊外にはみづみづしい緑が、あふれてゐた。

(ロ) 明日、御光来下され候はば、無上の光榮に存じ申し候。

(ハ) 我が國では初春の候に、梅花をめぐることができぬ。

(ニ) やがて東の空が白んで来た。

(五)(イ) まへから考へてゐたとほりに、かれの生れつきのみは、十分にあらはされて、こゝにいつまでたつてもくちないりつばな曲ができ上つた。

(ロ) 雲のやうに心をおほひかぶせた迷を、はれさせるでだてもありたいものだ、一心にさがしてゐた人々は、このえらいひじりにあうて、その尊いをしへを知り、そのばですぐひざまづいて弟子となつたのである。

第二試問

- (1) (イ) (答) 3 (ロ) (答) $9\text{平方}m$
- (ハ) (答) $31m$ (ニ) (答) $1:3$
- (キ) (答) 30圓 (ヘ) (答) $1\text{圓}20\text{銭}$
- (ホ) (答) $96^\circ 20'$ (チ) (答) $60\text{平方}cm$

東京府立第二中學校

(リ) (答) $28\text{圓} + 21\text{圓} + 14\text{圓}$

(マ) (答) $\frac{50}{100} = \frac{5}{10} = \frac{25}{50} = \frac{10}{20} = \frac{2}{4} = \frac{1}{2}$

(2) (イ) (答) 90 (ロ) (答) 8.1

(3) $96\text{圓} \times \frac{5}{4} \times \frac{21}{15} = 168\text{圓}$ (答) 168圓

(4) $50\text{圓} \times 0.11 + 85\text{圓} = 0.0647\text{強}$ (答) $6\text{分}4\text{厘}7\text{毛強}$

(5) $1 : \frac{4}{5} = 5 : 4$ $60\text{人} \times \frac{5}{4} = 75\text{人}$
 $75\text{人} - 60\text{人} = 15\text{人}$ (答) 15人

(6) $100\text{圓} \times (1 + 0.3) = 130\text{圓}$ (答) 4圓
 $130\text{圓} \times (1 - 0.2) - 100\text{圓} = 4\text{圓}$

第三試問 (甲)

- (一) イ、バラオ諸島・カロリン諸島・マーシャル諸島・マリヤナ諸島
- ロ、コロール島 ハ、コブラ、燐礦、砂糖
- (II) イ、×鐵(アメリカ合衆國)
- ロ、○羽二重(アメリカ合衆國)
- ハ、×豆粕(滿洲) ニ、×バルブ(カナダ)
- ホ、○陶器(アメリカ合衆國)

- ヘ、×綿(印度)
- ト、×石油(アメリカ合衆國)
- チ、○綿織物(支那)
- リ、○鐵詰(アメリカ合衆國)
- ヌ、×人造肥料(ドイツ)
- (三)イ、ドイツ……ペルリン
- ロ、アメリカ合衆國……ワシントン
- ハ、印度……デリー
- ニ、ブラジル……△リオデジャネーロ
- ホ、ロシア……モスコ

- (四)3ぶどう、8カンペラ、10モントリオール、
- 1不凍港、9ロンドン、2甘蔗、
- 6甜菜、4綿、7南アメリカ
- 5工業都市
- (五)イ、高粱、大豆
- ロ、石炭、鐵

第三試問 (乙)

安山岩	長石、きせき又はか	火山岩
花崗岩	石英、長石、うんも	深成岩
	つかなる鑛物からな	火成岩中の何岩
	つてゐるか	ですか

(五) 海中を泳ぐ。

えび	十本	先は尖り又は小さい	長い
かに	十本	二本には強いはさ	小さく折返
		みがあり他は尖る	
		いはさみとなる	

青色しけ	○	えん	うす	うす	うす	食	たん	ア	ア	水	水	石
色にしを赤	○	ん	う	い	せ	水	ダ	モ	ニ	ん	く	さ
赤色しけ	○	ん	う	い	せ	水	ダ	モ	ニ	ん	く	さ
色にしを青	○	ん	う	い	せ	水	ダ	モ	ニ	ん	く	さ
どちらを	○											
も変じな	○											

- (七)○たんさんソーダ ○アンモニヤ
- かせいソーダ
- (八)○金 ○銀 ○炭 ○人體 ○銅
- (九)○絲を短くす ○大きく振動さす

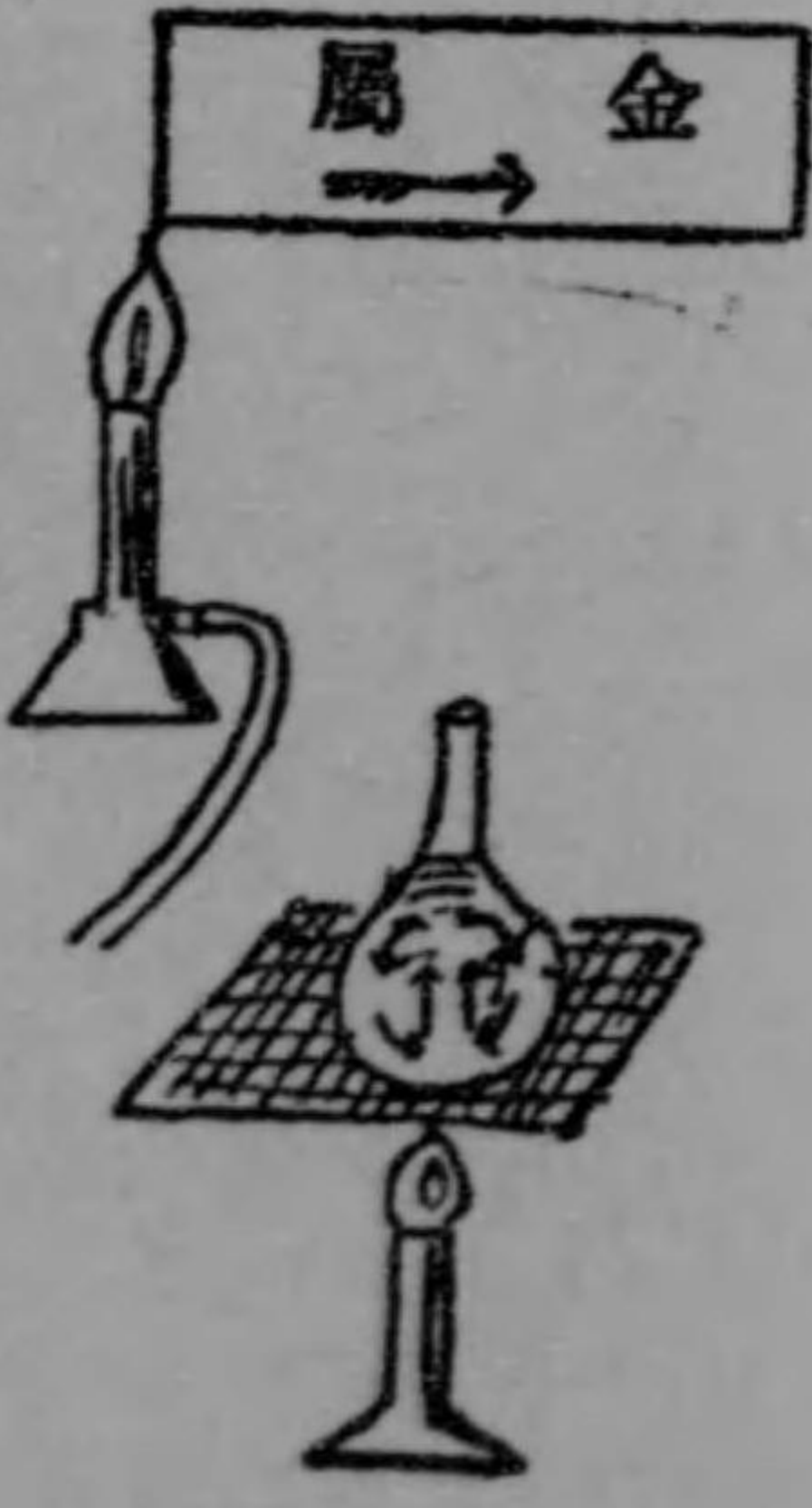
東京府立第二中學校

米	だいが	魚肉	牛乳	じゃが
たんば	くしつ	しばう	でんぶ	んぶ
○	○	○	○	○

問	(1)	(2)	(3)
答	だえき	口	でんぶを少し糖類に
胃液	胃	たんばくしつを水にと	變ぜさせる
たんじふ	かんざう	たんばくしつを糖類に	變ぜさせる
するえき	するざう	たんばくしつを糖類に	變ぜさせる
腸液	小腸の内	たんばくしつを糖類に	變ぜさせる
	同	同	
	右	右	

(四)イ、いかはひれで泳ぎ、又胸ののびちのみで管から水をふき出して泳ぐ。
ロ、くらはげは常に體をつぼめたり、開いたりして、

(十)



第四試問

- (一)イ、明治天皇の御製
- ロ、おそれおほい感じが起る。
- ハ、御心配をかけないやうに、國の平和、國運の發展に盡したいと思ふ。
- (二)イ、楠正行(父の教へをよく守り、その志をついで天皇の御爲につくして忠孝を全うした。)
- ロ、高田屋嘉兵衛(進取の氣風に富み、樺提島に渡り漁場を開いた。)
- ハ、佐久間勉(沈勇に富み、巳の潜水艇が沈んだ時、沈着に事に處した。)
- ニ、フランクリン(自立自營の精神が強く、又公益をはかり、避雷針を發明した。)

發布されたのである。これが外國に多く例のないすぐれた憲法と言はれるわけである。

東京府立第三中學校

第一時試問

題方 「舉國一致」

我が國民性の長所は數多くあるが、舉國一致の念に富むことは其の一つである。殊に此の感情は國難にあふ時に最もよく表れてゐる。古くは元軍來寇の時、上はかしこくも龜山上皇が御身を以て國難に代らんことを伊勢神宮に祈り給ひ、下は北條時宗以下國民皆奮ひおこり、上下心を一にして、十餘万の敵兵を打破つたのである。

明治三十七八年戦役は、我が國が強國ロシアと戦つて國威を世界に輝かせた大戦争であつた。在郷軍人は病をおし、傷をかくして召集に應じた者もあり、出征軍人は皆身を捨て家を忘れて君國の爲に勇ましく働いた。負傷しても内地へ返されることを拒み、最後まで戦線に止りたいと願ふ者もあつた。

(三)(1)納税 (2)兵役 (3)選舉

(四)(1)この國は我が子孫の王たるべき地なり。汝皇孫ゆきてをさめよ。皇位の盛なること、天地と共にきはまりなかるべし。といふ御言葉である。

(2)いつの世までも動かない我が國體の基が、この御神勅によつて定つたから、大切であると思ふ。

(五)(1)安徳天皇の御代 (2)一の谷の戦の時。

(3)敦盛は深く直實と組打するため、引返したと思ふ。

(4)今の山口縣にある。

(六)(1)笠置山、船上山、比叡山 (2)新田義貞、

(3)約百四十年續いてほろんだ。

(七)(1)吉宗が、徳川時代の中頃で善政を行ひ世の中がよく治まつたから。 (2)吉宗が、西洋の學術の進んでゐるのを聞いて、禁を解き、キリスト教に關係のない洋書を讀むことを許したから。

(八)(1)伊藤博文 (2)わが帝國憲法は、天皇が専ら國民の幸福をはかり、相共に國運を進められようとの大御心より制定されたもので、國民こそつて其の御仁慈をあふぎ、和氣上下にみち／＼たうち

國內にあつては、國民皆一致して、各自の家業につとめ、儉約を守つたので貯金も戦前よりも増し、租税も樂に納めることが出来た。軍人が出征する時には、各地の人々はまごころをこめて送り迎へをした。又戦地へ慰問袋や温い手紙を送り、軍人の家族や遺族を親切に世話した。婦人は繻帶を造つたり、篤志看護婦となつて傷病者の看護をしたりした。此の様にして出征軍人と國內の國民とが力を合せて、さしものロシアを破ることができた。又最近には滿洲上海兩事變に於て、少年少女でさへも、物を賣つた利益や小遣ひを貯めた金を慰問金として差出したり、心から兵士を慰める慰問文を送つたりしたことは、我等のよく知つてゐる所である。

かくして、度々の國難に打勝ち益々國威を擧げることの出来たのは、全く舉國一致の賜である。我々はいつても此の心掛けを忘れず國家のために盡くす覺悟がなければならぬ。

第二時試問

(一)父母の病氣が重いとときには、藥のきゝめのないこ

東京府立第三中學校

とを知つても、それでも病氣をなほすことに骨折るのは、人の心としてあたりまへのことではないか。ありだけの方を出してそれでもすくふことの出来なものは、人間の力で出来な天のいひつけである。

(二)1.風波をしのぎ(かぜやなみをこらへし)のんで
2.飢寒と戦ひ(ひもじい目や寒い目にあひ)
3.をかして(こらへて)
4.たどり着きたり(やつとのことをついた)
5.舟を進むべくもあらず(舟をさきにすゝめることができない)
6.土人(その土地にすんでゐる人)
7.ゆくて(ゆくさき)
8.がへんぜず(しやうちしない)

(三)(1)商人は自己の利益のみを考へず、買ふ人の便宜をはからねばならぬことをいませめた文である。
(2)他に道徳の點から見ることが出来る。
(3)買ふ人の無智に乗じて安い品を高く賣付け、見本には精良な品を使つて、實際の注文に對しては粗悪なものを送るやうな事をさす。

(4) そんな仕方をすれば、その商人は信用を失ひ、その商品を買ふ人がなくなるから、永續することが出来ないのである。

(四) 都會には各種の學校や、博物館・圖書館等の修養機關、公園・競馬場等の娛樂機關が到る處に散在してゐる。

(五) (1) そのながめのさかんなことは、じつさゝ筆や口ではいひあらはすことができません。

(2) 私はもちろんおことわり申す考はございません。

(3) 釋迦はたくさんの中のほしの中に一きはかゞやく十五夜の月のやうに國のみなの人からたつとばれた。

(4) ならばしがうまれつきのやうになる。

(5) 天皇のごわくわろがかゞやくこと。

(六) 團體 記録 理想 征伐 勝負 感激 支流

單純 調整 容易

(七) (1) とこしに(ながく。永久に。)

2) おもむろに(しひかた。)

3) まししくらと(さじさんど。)

4) 没頭(しんになること。)

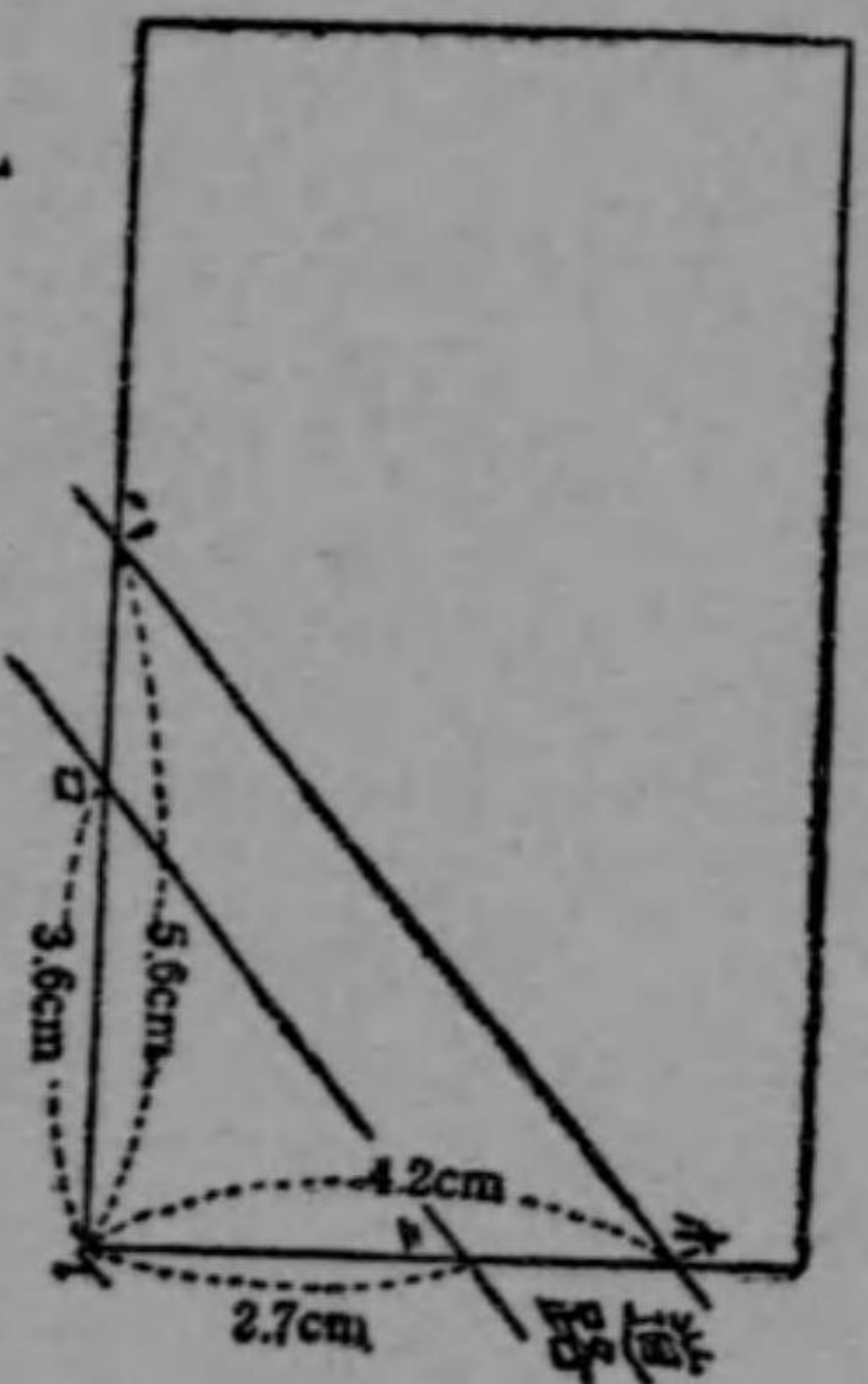
5) 風光(けしき。)

- (6) 消息(たより。やうす)
- (7) 非凡(なみ)でなくすぐれてゐること。
- (8) 根絶(根本からなくすること。)
- (9) 臨御(天皇がその場所におのぞみになること。)
- (10) 精兵(えりぬきのすぐれたし。)

第三時試問

- (1) $3個 \times (30回 + 5回) = 18個$
 $1個 \times (30回 + 3回) = 10個$ $1個 \times (30回 + 2回) = 15個$
 $18個 + 10個 + 15個 = 43個$ (答) 43箇
- (2) $\frac{1}{2} - \frac{1}{6} = \frac{1}{3}$ $15m \times \frac{1}{3} = 5m$ (答) 5m
- (3) $35 \times 8 + 2 = 140$
 $525平方cm - 140平方cm = 385平方cm$
 $385 \times 2 + 35 = 22$ (答) 22cm
- (4) (ア) $1000立方cm \times 2 = 2000立方cm$ (答) 1.5kg
 $0.79g \times 2000 + 1000g = 1.53$
- (イ) $5.1kg + 1.02g = 5000$ (答) 5000立方cm
- (ウ) $1000立方cm \times 150 = 150000立方cm$
 $0.84g \times 150000 + 1g = 126000$

- 126000立方cm + 1000立方cm = 126 (答) 1261
- (5) $8m = 100cm \times 8 = 800cm$ $80cm \times 3 = 240cm$
 $(800cm - 240cm) \div 4 = 140cm$
 $140cm + 80cm = 220cm$ $140cm + 80cm \div 2 = 180cm$
(答) 額ノ間(140cm), 釘ト釘トノ間(あ)(220cm),
釘カラ室ノ間(イ)ノ長さ(ウ)(180cm)
- (6) 尺度ヲ測ツタ寸法ガ圖ノヤサデアツタトスレバ下ノ様ニトケバヨイ。



- $1cm \div \frac{1}{2000} + 100cm = 20(m)$ (1cmノ實際ノ長さ)
- $(20 \times 5.6) \times (20 \times 4.2) \div 2 = 4704$ (イノハの面積)
- $(20 \times 3.6) \times (20 \times 2.7) \div 2 = 1944$ (ウの面積)

東京府立第三中學校

- 4704平方m - 1944平方m = 2760平方m (答) 2760平方m
- (7) $2圓50錢 + 2 = 1圓25錢$ (普通急行券)
 $8圓85錢 - 1圓25錢 = 7圓60錢$
 $7圓60錢 \div (1 - 0.2) = 9圓50錢$ (割引ノナイ普通貨金)
 $9圓50錢 + 2圓50錢 = 12圓$ (答) 12圓

第四時試問

- (一) (1) 關原の戦の結果として、家康が天下の實權を握り江戸幕府が開かれた。
- (2) 帝國議會によつて、五箇條の御誓文の第一條「廣ク會議ヲ興シ萬機公論ニ決スベシ」の御趣旨が實地に行はれた。
- (3) 應仁の亂の結果、室町幕府が權力を失つて、世の中が亂れ、戰國時代となつた。
- (4) 藤原氏が榮華をきはめ、地方の政治をかへりみなかつたので、任地の役人が、そのまま止つて武士となつた。

(二)

家の名	有名な人物の名
楠木	正成、正行

北 畠	親房、顯家
名 和	長年
新 田	義貞

- (三) (1) 仁徳天皇 天皇は或時、村々から立つかまどの煙の少いを見られて、三年の間税を免ぜられ、そのため皇居のあれ損ずるのも御心にかけてられず、又御衣も新しく作られなかつた程お情深くあらせられた。
- (2) 醍醐天皇 天皇は大へんお情深く、寒夜に御衣をぬいで貧民のつらさをお思ひやりになつた程であつた。
- (3) 後奈良天皇 天皇は、御仁慈の御心が深く、少しでも貢を奉る者があると、之を皇族や公卿にお分けになり、又或年悪病が流行して人民の死ぬ者が大へん多かつた時、御みづから經文を寫され、醍醐の三寶院に下してその禍を除くやうにお祈りなつた。

- て固體となつてできる。
- (2) ねんど(岩石が空氣や水のために風化してできる)
- (3) 軽石(火山が破裂する時、吹出された破片の中、小孔が多くて軽いものが軽石となる。)
- (九) (1) 松(たね) (2) うきくさ(葉のやうなもの)
- (3) こんぶ(はうし)
- (4) おにゆり(黒紫色の小さいたま)
- (一〇) ゆたんぼを熱すると、器の中の水蒸氣のあつりよくがまして破裂するから危険である。
- (一一) 板や棒杭が腐らないためである。板や棒杭を焼くと炭ができ、炭はしめつても腐らないからである。
- (一二) プレーキをかけると、まさつのために車の廻轉がとめられるからである。

口頭試問

修身

先生の言ひつけにしたがひ、学校のきまりをよく守ることです。

理科

東京府立第三中學校

- (四) (1) はぜの實(筑紫平野)
- (2) にしん(北海道・樺太) (3) 茶(静岡縣・臺灣)
- (4) さたうきび(臺灣・琉球・南洋委任統治地・九州地方)
- 5) 樟腦(臺灣)
- (五) 北東部は石炭を多く産するので、スベリオル湖附近に産する鐵礦は五大湖を利用して、北東部に運ばれて製鍊されるからである。又北東部には、ニューヨーク其他の大貿易港を控へてゐるため物産の輸出入にも便利であるからである。
- (六) (イ) 淡路島 (ロ) 大阪灣 (ハ) 播磨灣
- (ニ) 紀伊水道 (ホ) 鳴門海峡 (ヘ) 紀淡海峡
- (ト) 明石海峡 (チ) 神戸 (リ) 大阪
- (ヌ) 和歌山
- (七) ねずみのまへばは細長くて上下に二本づつあつて、鋭く尖つてゐる。前面は大變固く後面は柔かである。それで物をかちると後面がへるので更に鋭くなる。下から延びるから齒は短くはならない。
- (八) (1) 湯の花(温泉の含んでゐるものが、水から分れ

- (一) たんぱくしつ、しばう、でんぷんであります。
- (二) (イ) 主にでんぷんであります。
- (ロ) 主にたんぱくしつであります。
- (三) 白いものは、光線を全部反射しますから、室が明るくなるといふ利益があります。
- (四) しつくひの中の石灰が、空氣中のたんさんガスをとつてたんさん石灰となるから、固くなるのであります。
- 地歴科
- (一) 大和の橿原にさだめられました。
- (二) 元明天皇の時であります。
- (三) 奈良から京都に都が遷されました。それは桓武天皇の時です。それから明治天皇の時まで續きました。
- (四) フランスの首府はパリで、ドイツはベルリン、イタリヤはローマ、アメリカはワシントン、滿洲國は新京であります。

東京府立第四中學校

第一問

- (一) その國民が國法を守る精神の薄いことによつて分る。
- (二) (イ) は、ながめが大へんさかんであることをいつてゐるし、(ロ) は、ながめに限らず何でもよいが、それがさかんで大へん氣持のよいことをいつてゐる。
- (三) (イ) 博す(ひろめる) (ロ) 勝算(かつみこみ)
- (ハ) 治績を舉ぐ(世をささめるせいせきをあらはす)
- (ニ) 討議(さうだんしてひやうぎすること)
- 議決(さうだんしてきめること)
- 裁可(天皇陛下がおゆるしになること)
- 公布(ひろく國民に知らせること)
- (四) (イ) 數年ほねをりつとめ、ほねをりがむだにならないうで、まへからもつてゐるかんがへをしおほせるのも近々の中になつて來た。
- (ロ) やつとのことであつた時の上で、きいろな菜の

二六

花が、うつしく咲いてゐる村を見下して、笑つたりさわいだりして、おひるのおべんたうをたべ

(ハ) 雪のやうなまつしろな地に、日の丸をかいた我が國の國旗は、一ばんよく我が國の「日本」といふ國の名につりあつて、天皇の御わくわうがかどやき、國のいきほひのさかんなことが、まるで朝日が天にのぼるやうないきほひのあることを思はせる。

(五) (イ) 新聞社のヘンシュウ部(編輯部)にてはコクコク(刻々)集り來る原稿を選擇セイリ(整理)してクワイダワ(繪畫)シヤシン(寫眞)等と共に之をインサツ(印刷部)に送る。

(ロ) リンカーンは勉強を續けてダイトウリョウ(大統領)となり世界のキジン(偉人)として萬人にアフ(仰)がれるやうになつた。

第二問

(一) 後奈良天皇の御代ヨーロッパからポルトガル人が始めて、我が國に渡つて來てからイスパニヤオ

ランダ イギリスなどの西洋人も、おひくに來つて通商を開いてゐた。

然るに徳川家光は鳥原の亂の後、いよくキリスト教を嫌ひ、國民の海外に出るのを禁じたばかりでなく、西洋人の我が國に來ることをも嚴禁し、たゞオランダ人はキリスト教の布教に關係しなかつたので支那人と同様に長崎で貿易することを許した。これを鎖國といふ。

(二) (イ) 明治四年に行はれた。

(ロ) 藩主が皆その土地人民を朝廷に奉還したので、朝廷は全く藩を廢して縣を置き、知事を任命し給うた。

(ハ) 其後は天下の政治が悉く一途に出るやうになつた。

(三) (イ) 楠木正成

(ロ) 明治維新以後、國の爲につくして死んだ人々

(ハ) 藤原鎌足 (ニ) 和氣清麿と和氣廣虫

(ホ) 新田義貞

第三問

東京府立第四中學校

(一) (イ) 生絲 (ロ) アメリカ合衆國

(ハ) 長野縣、群馬縣、愛知縣

(二) 九州の北部は海陸の交通が開けて、工業原料の輸入、製品の輸出が共に便利であり、又石炭の供給が甚だたやすいから、各地に工業が発達したのである。

(三) (イ) アメリカ合衆國の領土 (ロ) さたらきび

(ハ) 十四萬人ゐる。 (ニ) ホノルル

(四) 近海をメキシコ灣流といふ暖流が流れてゐるからである。

第四問

(1) (イ) (算) 0.6 (ロ) (算) $\frac{1}{60}$ (ハ) (算) 3.74

(2) $18m^2 \times 324 = 5832m^2$, $24m^2 \times 576 = 13824m^2$

$4860 \times 576 = 2790720$ (算) 8640

(3) $(1+0.3) + (1-0.1) = 2.2$

$39 \times 60 \div 2.2 = 1063.6$ (算) 18

(4) $(12時+6時) \div 24時 = \frac{3}{4}$ (日)

1分20秒 $\times (6 + \frac{3}{4}) - 5分 = 4分$

6時 + 4分 = 6時4分

(答) 午前6時4分

(5) $6kg - 100g = 5.9kg$ $87kg + 5.9kg = 14\dots\dots$ 餘4.4kg

$87kg + (14+1) = 5.8kg$ $5.8kg + 100g = 5.9kg$

(答) 5.9kg

(6) $\frac{2}{25} + (1 - \frac{3}{5}) = \frac{1}{5}$

$200cm + (1 - \frac{1}{5}) = 250cm$

(答) 250cm

第五問

- (一) (1) 權利としては、國の政治に參與しうること。身體財産等の保護をうけうること (2) 義務としては、税を納むべきこと、兵役に就くべきことが定めてある。
- (二) 忠君愛國の實をあげるには、よく我が身を修めて善良有爲の人となり、祖先の美風をついで、國の大事に際しては、身命をささげ、君國を守り、平時に於ては各その職分を盡して、我國の富強を増し、文明を進めなければならぬ。
- (三) 我が國は、萬世一系の天皇を戴き、御代々の天皇

は我等臣民を子のやうにおいつくしみになり、我等臣民は祖先以來、天皇を親のやうにしたひ奉つて、忠君愛國の道に盡し、皇室と國民とが一體となつてゐる。これが世界に類のない所である。

第六問

- (一) (1) くもの頭胸部の下がには八本のあしが着いてゐる。
- (2) しんちゆうは銅とあえんとの合金であつて黄色である。
- (3) 人の吐く空氣は普通の空氣よりも多量のたんさんガスと多量の水蒸氣をふくんでゐる。
- (4) はうかいせきに水をかけるとあわを出してとける。
- (二) (1) 牛乳 2 たんぱくしつ、しばう
- (2) さつまいも 2 でんぷん (3) 豆腐 2 たんぱくしつ
- (三) (1) 零度 (2) 百度 (3) 三十六七度 (4) 十五六度
- (四) (1) (強いあつりよく) (2) (體積を減ずる)
- (五) (1) かせいソーダ (2) アルコール、さくさん
- (3) 砂糖、アルコール、さくさん (4) かせいソーダ

東京府立第五中學校

試問 (一)

(一) 國學をおこした人(契沖)、大成した人(本居宣長)結果

- ◎ (人々はわが大日本帝國は、萬世一系の天皇がお治めになるべきもので、幕府が政を専らにするのは、道理にちがつてゐることをさとるやうになつた。)
- (二) 齊昭は毎年正月元旦はもとより、先帝の御忌日には、必ず身を清めて京都を遙拜し、常に家臣を戒めて朝廷を敬ひたてまつらせた。攘夷の論が起ると進んで之を唱へたが之は、人心をひきたて、國威を損ぜないためである。

試問 (二)

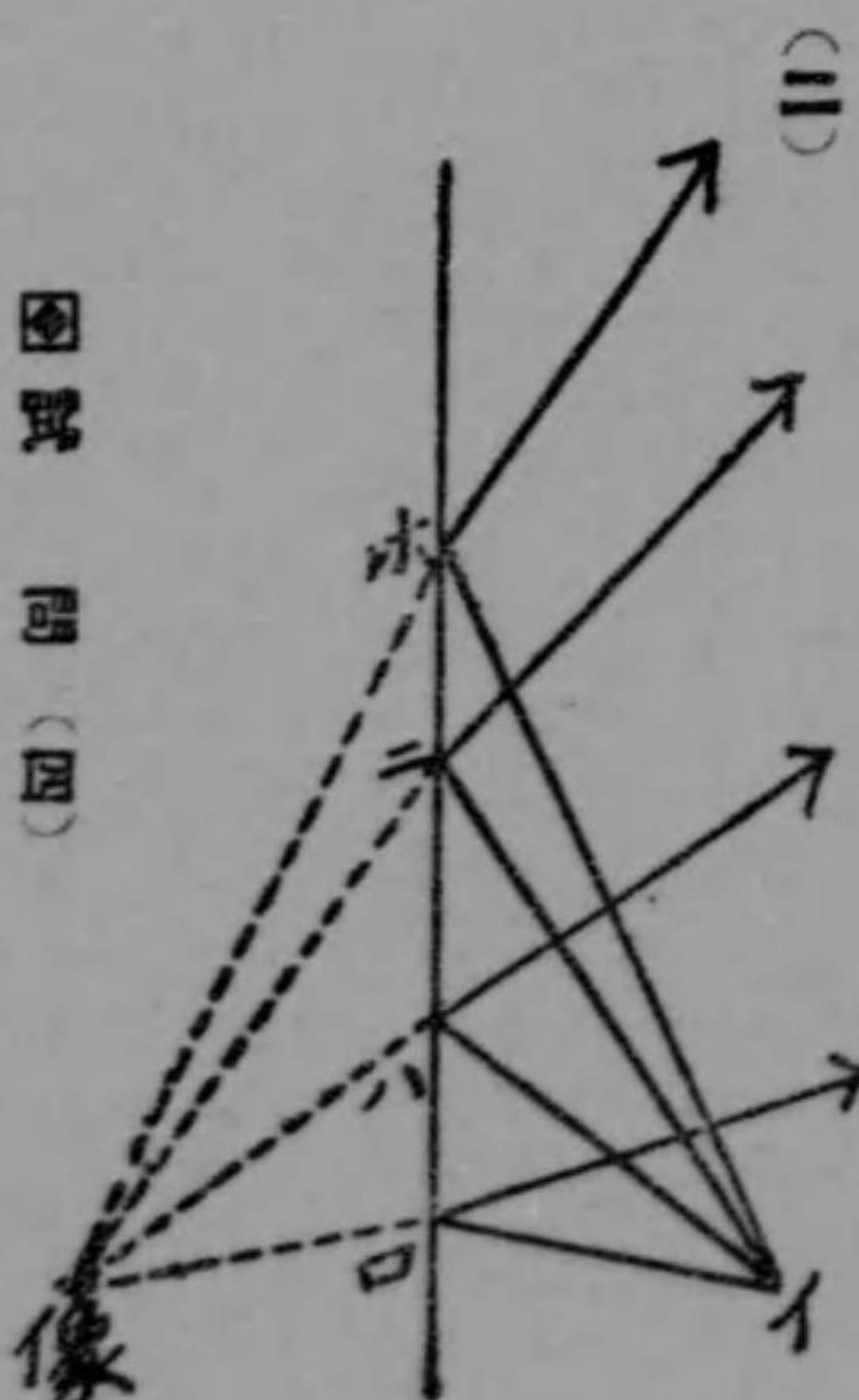
- (イ) 租界には皮膚の色、言語・風俗の違つた幾多の人種が入交つてゐるので其の有様は一見世界人種の展覽會のやうである。
- (ロ) ダーウィンは興味を覺えると、あくまでそれによる性質で、一度何かを始めたなら満足な結果を得るまでは決して途中でやめなかつた。

東京府立第五中學校

(ハ) 各國の國旗は或は其の建國の歴史を暗示し、或は其の國民の理想・信仰を表すものなれば、國民の之に對する尊敬は、即ち其の國家に對する忠愛の情の發露なり。

試問 (三)

- (一) 電信機
でんれい
電話機の受話器
電話機の送話器
- (二) 薄い炭素の板
ばね
電磁石
炭素の粒
薄い鐵の板



(1) $(30 + 36 - 32) + 2 = 17(L)$ $30 - 17 = 13(甲)$

36-17=19(丙) (答) 甲13, 乙17, 丙19

(2) $1-0.12-(1-0.12) \times 0.35=0.572$

143人 $\div 0.572=250$ 人 (答) 250人

(3) $1-\frac{1}{8}-\frac{5}{8}=\frac{1}{4}$

(12時-8時45分+3時25分) $\times \frac{1}{4}=1$ 時40分

(答) 1時間40分

(4) $0.3 \times 10-0.1 \times (15-10)=2.5$

33圓75銭 $\div 2.5=13$ 圓50銭 (答) 13圓50銭

(5) $\frac{3}{4} \times \frac{2}{3} = \frac{1}{2}$ ($\frac{3}{4} + \frac{1}{2}$) $-\frac{1}{4} = \frac{1}{4}$

$18 \div \frac{1}{4} \times \frac{3}{4} = 54$ 分 (答) 54分

● 試問 (五)

- (イ) 止むことなかりしかば(やむことがなかつたから)如何にもして(どうにかして)救はんものと(すくひたいものであると)用ひられんことを(とり用ひられるやうに)
- (ロ) そのかみ(そのむかし)

ほんだはら・わかめ・ひじきなどは茶色であるが、あをのり・あをさなどは緑色であつて、てんぐさ・あまのり・ふのり・つのまたなどは紅色か又は紅紫色である。海藻の體は水中にひろがつてゐて、その體の全面で海水中から養分を取る。花を生じないでほうしを生じて、これでふえる。

● 試問 (七)

- (一) ヨーロッパ洲 (二) ヨーロッパ洲 (三) アジヤ洲
- で世界の陸地の約三分の一。 (四) 北アメリカ洲 (五) 大洋洲 (六) アフリカ洲 (七) 大洋洲

● 試問 (八)

最初に通商條約を結んだ國(アメリカ合衆國)。不利、不面目な箇條(1)我が國內に居留する外國人の裁判は我が國の裁判官がしないで其の國の領事が行ひ(2)外國からの輸入品に自由に税を課することができない定があつた。

結ばれた時(紀元二千五百十八年即ち安政五年。)

ひきつゞいて同様の條約を結んだ國(オランダ・ロシア)

東京府立第五中學校

大宮人(宮中につかへてゐる人) かざし(高くもつて) しけん(したであらう) 今にして思へば(今からかんがへると) 一場の夢に過ぎず(たゞほんのその時の夢であるだけである。)

● 試問 (六)

(一) 肺でたんさんガスをすてて、さんそを取つた血はしんごうに歸つて、それから他の各部に行つてさんそを與へてたんさんガスを取つて、しんごうに歸つて、又肺に行く。しんごうの中は左右に仕切られてゐて、肺から歸つた血はその左部を通り、肺に行く血はその右部を通つて互にまじらない。

(二) 安山岩は最も普通の火山岩であつて、礦物のけつしやうとこれを取圍んでゐる灰色の部分とから出來てゐる。そのけつしやうの中で、白色のものは長石であつて、黑色のものはせせきか又はかくせんせきである。

(三) 海藻は形や大きさが種々である。その中でこんぶ

● イギリス・フランス) 條約改正に最初に同意した國(イギリス) 改正條約の始めて行はれた時(明治三十二年) 改正條約の主な箇條(一)外國人も皆我が裁判に服すること 二、輸入品に對する税を我が國で自由に定め得ること。

● 試問 (九)

- (イ) ごおんがへしに何かかいてさしあげませう。
- (ロ) まへからもつてゐるかんがへをしおほせるのも近々のうちになつて來た。
- (ハ) おそれおほいことあります。おつしやるとほりにさしあげなさいませ。
- (ニ) 人をいつたりきたりさまよはせてそこを立ち去ることができないやうにする。

● 試問 (十)

危險、如上、篤學、規定、苦難、熱烈、虫跡

● 試問 (十一)

(イ) 教育・衛生等の自治團體の事業は、地方人民が一般に之(教育・衛生等の事業)を尊重し、之(教育・衛

生等の事業)に協力することによつて、始めて其(教育・衛生等の事業)の効果を完全に擧げることが出来る。

(ロ)編輯部にては刻々集り来る原稿を選択整理し、繪畫・寫眞等と共に之(原稿)を印刷部に送る。印刷部にては直に所要の活字を拾ひて、之(活字)を組み、校正刷を刷りて校正部に廻す。校正終れば紙型に取り、更に之(紙型)をもととして、鉛版を造り印刷機にかく。

◎試問 (十一)

(1) $sg : 172.2g = 19.3 : 10.5$

$s = 172.2g \times \frac{19.3}{10.5} = 316.52g$ (答) 316.52g

(2) $\frac{1}{3} + 5 = \frac{1}{15}$ $(1 - \frac{1}{3}) + 15 = \frac{2}{45}$

$\frac{1}{15} - \frac{2}{45} = \frac{1}{45}$ $1 + \frac{1}{45} = 45$ (答) 45H

(3) $(121 + 41) - 81 + 21 = 101$ $81 \times \frac{12}{12+4} = 61$

$121 - 61 = 61$ $100 \times (61 + 101) = 60$ (答) 60%

(4) $36 \times 22.5 + 24 = 33.75$ $33.75m \times 2 - 29m = 38.5m$ (答) 38.5m

(5) $(60 - 2) + (1 + 1 + \frac{9}{10}) = 20$ $20 + 2 = 22$

$20 \times \frac{9}{10} = 18$ $81m \times \frac{22}{60} = 29.7m$

$81m \times \frac{20}{60} = 27m$ $81m \times \frac{18}{60} = 24.3m$

(答) 甲29m70cm, 乙27m, 丙24m 0cm

◎試問 (十三)

滿洲帝國は中央部に廣々とした平地があつて、東の部分と西の部分は大きい山地である。松花江はこの平地の北部である北滿洲を灌溉して黒龍江に合し、遼河はこの平地の南部である南滿洲を灌溉して渤海にはいる。これ等の川の流域には沃野が廣く連なつてゐて、農業が盛である。農産物の中、産額の最も多いのは南滿洲では高粱と大豆である。

高粱は主として滿洲人の常食に用ひられる。大豆はそのまゝ多量に輸出されるばかりでなく豆粕・豆油の製造の原料にも用ひられる。それらは主に

大連と營口で製造せられ、大部分はこゝから我が國に送られる。北滿洲の農業は南滿洲ほど盛でないが、たゞ小麦の産額が多く、又麥粉として輸出されるものも少くない。ハルビンはその製造業の中心地である。

滿洲帝國の首府新京は、だいたい南滿洲と北滿洲の中間の要地で商業が盛である。

◎試問 (十四)

なまこ	足をつかつてはふ。
あさり	足の先をつかつてはふ。
みぢんこ	ひげとあしをつかつておよぐ。
いか	ひれをつかつておよぐ。

◎試問 (十五)

(1) 窒素をふくんでゐるもの	せうさん、アンモニヤ
(2) 水にとけると赤色のしけんしを青色に變ずるもの	かせいソーダ、石灰、たんさんソーダ、アンモニヤ。

(3) 銀・銅などを入れると赤茶色の氣體を出すもの	せうさん
(4) 無色の液體のもの	えんさん、アルコール、さくさん、せうさん
(5) せきけんを製するに用ひるもの	かせいソーダ
(6) けつしやうになつてゐるもの	たんさんソーダ

東京府立第六中學校

◎試問

(1) (イ) (答) 743.538 (ロ) (答) 0.4108

(ハ) (答) 342.495 (ニ) (答) $6\frac{19}{48}$

(ホ) (答) 1

(2) (イ) (答) 時・分・秒 (ロ) $100 + 5 = 20$ (答) 20個

(ハ) $0.8kg : 320g = 800g : 320g = 5 : 2$ (答) 5 : 2

(ニ) (答) $8 : 3 = 16 : 6$

(ホ) 面積ノ比 $= 5 \times 9 : 6 \times 8 = 15 : 16$ (答) 15 : 16

(3) $1000字 + (12字 \times 7) = 11 \dots \dots$ 餘 76字

12字×7-76字=8字 (録) 12頁.8字
(4) 37×23=851, 21×(31+53)+2=882
882平方m-851平方m=31平方m

(録) 掃形ノ方. 31平方m度

(五)誰に對しても禮儀を守り、常に我が身を慎んで氣ままでにしないこと。
(六)楠木正行は、櫻井の驛での父上の「我死すとも汝は我が志を繼ぎて必ず君に忠義を盡し奉れ。これ汝が我が盡す第一の孝行なり。」といふ教訓を守り、天皇に仕へて屢々戦功をたて遂には朝敵尊氏の軍を滅さうと、四條堰で花々しく戦ひ、天皇の御爲に盡した。かうして、正行は君に忠を盡すと同時に親に孝を盡した。即ち、これをさして忠孝を全うしたといふのである。

(七)

人名	藤良親王	名和長年	新田義貞	楠木正成	北畠親房
神社	鎌倉宮	名和神社	藤島神社	湊川神社	靈山神社

(八)(イ)約千二百九十年前。(ロ)藩主

(八)明治の初年、武家政治がやんで、天皇が御みづから天下の大政を統べたまふ國體の本にたちかへつたこと。

(九)地球はほゞ二十四時間に一廻轉するから、地表の地點はこの間に三百六十度をめぐる。随つて一時間に十五度をめぐる割合となる。それ故に經度の異つた地點の間に、時間のちがひが出来る。

(一〇)



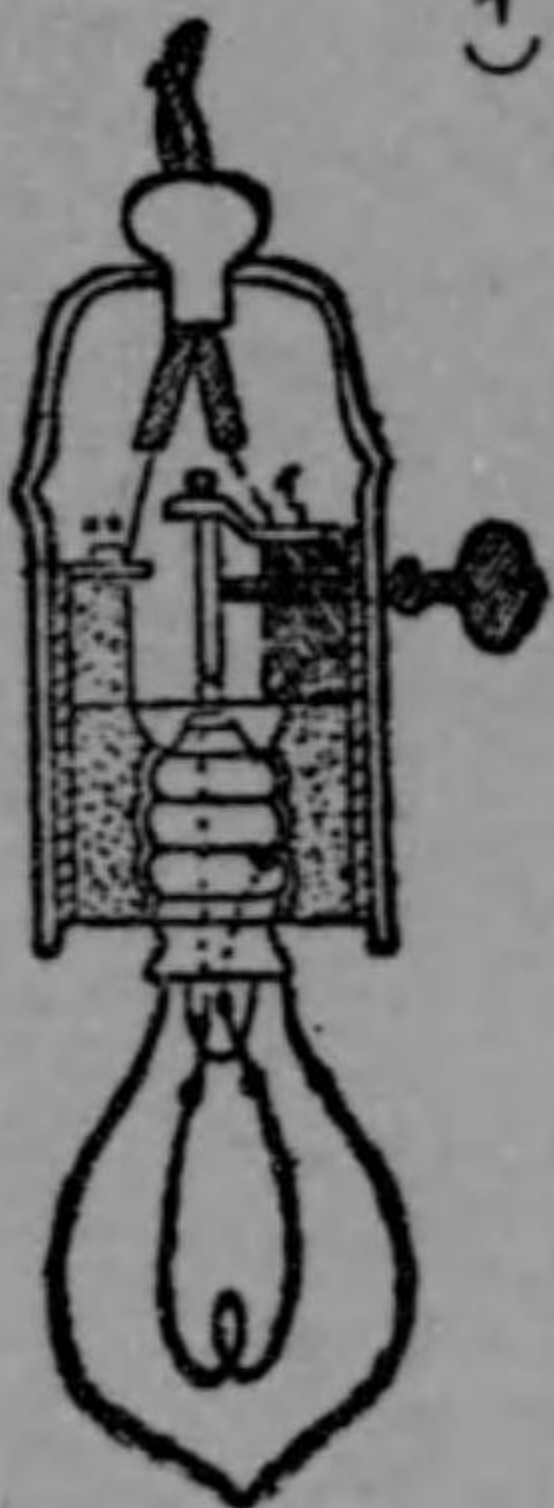
(一一)(イ)甲 (ロ)はうかいせきにえんさんをかけると、あわを出してとける。
(一二)(イ)(1)心臓から血を押出すことに動脈がよく

れるからである。

(2)普通約七十回。(3)手くび

(ロ)(1)わらび (3)まつだけ。

(一三)(イ)



(ロ)タンゲステン

(ハ)電流が細い部分を通る時、熱せられて、光を發する。

(ニ)窒素

(一四)(イ)水素

(ロ)亞硫酸ガス

(ハ)たんさんガス

(ニ)石炭ガス・アムモニヤ

(ホ)炭酸ガス

(一五)省略。

(一六)(一)敵の大軍がおしよせて來たのに、味方の兵は疲れはて、勝つ見込がなかつたから。

(二)(イ)天から降つたか、地からわいたか、どこから來たとも知れぬ敵のおほぜいの軍。

東京府立第六中學校

(ロ)やくに立ちさうにもない。
(ハ)萬の中に一つのかつみこみもない。
(ニ)かつてもゆだんをせずに用心する。
(一七)其の職務に忠實であつても一般の人民の後援がなければ自治團體の圓滿な發達を望むことは出来ない。それであるから人々は常に自治制の本旨を辨へ協同一致して團體の福利を増進することを心掛けねばならぬ。

(一八)(一)勸勉(怠惰) (二)複雑(簡單)

(三)安全(危険) (四)戦争(平和)

(五)困難(容易)

(一九)舊師よりのお祝ひ狀に對する葉書文。

先生。早速御祝ひの御手紙を有難うございました。先生にまでそんなに喜んで戴いて嬉しくてなりません。これも全く先生の御指導の賜でございませう。

先生の御情深い御言葉は、かへす有難く

拜讀致しました。今後も油断をせず勉強し、行を正しくして、きつと善き人間となつて、先生の御恩の萬分の一に報いる覺悟でございます。尙御祝の萬年筆は、いつまでも大切に机上の友とする積りでございます。どうぞ先生、いつまでも私をお導き下さいませ。御身御大切にお祈り申します。

東京府立第七中學校

第一試問

- (一) (イ) あくる朝、僧は、おわかれして又どうといふあてのない旅にでかけようとする。
- (ロ) 始はなまへやすじやうをかくし、びんぼうのはづかしさをかくさうとして、おやどをことわつた常世も。
- (ハ) ひとばんのはなしにしたしくなつては、のこりをしさがとてもかぎりない。

- (ニ) 旅の僧もまた、主人ふうふのしんせつが心にしみて、何となく別れにくい思ひがする。
- (ホ) かうしていつまでとどまつてゐてよい身であらうか、けつしてゆつくりできぬ身であると思つて、心を強くひき立て、立つて行つた。
- (イ) いろどりの上手なことは口でいひあらはすことができない。
- (ロ) それからのちのしやうがい、やすらかにたのしくすごした。
- (ハ) 行つたり來たりさせ、そこから立去ることができないやうにする。
- (ニ) 一すぢに思ひつめた、しじゆうやめないほねをりはたらき
- (ホ) 大きなしごともすらすらとしおほせられた。
- (三) 樺太は大陸の地續なりや、又はハナ(離)れ島なりや、世界の人は久しく之をギモン(疑問)としたりき。然るに其のジツサイ(實際)をテウサ(調査)して此のギモン(疑問)をカイケツ(解決)したる人、遂に我が日本人の中より現はれぬ。

第二試問

- (一) (1) 石油(新潟) (2) 石炭(福岡) (3) 生絲(長野)
- (4) 茶(静岡) (5) 砂糖(沖縄)

(一)		(二)	
國名	首都	國名	首都
アメリカ合衆國	ワシントン	サンフランシスコ	
カナダ	オタワ	バンクーバー	
支那	南京	香港	
チリ	サンチャゴ	バルパライソ	
ペルー	リマ	カイヤオ	

(二)		(三)	
事柄	天皇	おたすけ申した人二人	わけ
大化の新政	孝徳天皇	中大兄皇子 中臣鎌足	勢のある者のもつてゐた土地・人民が朝廷に歸した。
建武の中興	後醍醐天皇	護良親王 楠木正成	武家政治がやんで、天皇が御みづから大政を統べ給ふことになつた。
明治維新	明治天皇	三條實美 岩倉具視	同 上

東京府立第七中學校

第三試問

- (一) 地球に引力があつて物をひくからである。
- (二) 人の吐く空氣は普通の空氣よりも、多量のたんさんガスと水蒸氣とを含んでゐて、さんそが少い。吐く空氣にたんさんガスの多いことは、吐き出すときを石灰水の中に入きこむと、白くにごつて炭酸石灰ができるから分る。又水蒸氣の多いことは、吐く息を鏡の面にふきかけると、水蒸氣が小さい水滴とな
- (一) 此の國はわが子孫の王たるべき地なり。汝皇孫ゆきてをさめよ。皇位の盛なること、天地と共にきはまりなかるべし。
- (2) 八坂瓊曲玉は宮中に、八咫鏡は伊勢の皇大神宮に、草薙劍(天叢雲劍)は尾張の熱田神宮にまつてある。
- (3) 二千五百九十四年前。
- (4) 教育勅語は明治天皇が明治二十三年にお下しになつた。
- (5) 至誠を以て日夜この御勅語の御趣意を奉體しようとするためである。

つてくもりができるから分る。

(四)

出る所	はたらき
ろえき	胃
たんじふかんざう	たんばくしつを水にとけ易 とけ易いものにし、でんぶ んを糖類にかき、しばうを 水にとけ易いものにする。
すゐえきすゐざう	同上
ちやうえ小腸の内 き	同上

(四)

牛	馬
本頭ある	ない。
ながい。みがた	細い。みがた
がに前あご	がに前あご
かにも後で口	よいかまらず
つびがある	一本
	草の食
	ゆび

算術四試問

- (1) $(\frac{5}{6} - 2\frac{4}{10} + 2\frac{7}{15}) \div \frac{22}{15} = 3\frac{25-12+14}{30}$
 $\times \frac{15}{22} = 3\frac{27}{30} \times \frac{15}{22} = 3\frac{9}{10} \times \frac{15}{22}$
 $= \frac{39}{10} \times \frac{15}{22} = 2\frac{29}{44}$ (答) $2\frac{29}{44}$
- (2) $1 - \frac{1}{3} - (1 - \frac{1}{3}) \times \frac{5}{8} = \frac{1}{4}$ $0.5m \div \frac{1}{4} = 2m$ (答) $2m$
- (3) $287\text{圓}50\text{銭} + 11\text{圓}50\text{銭} = 25$
 $25\text{度} \div \frac{5}{9} \times (1 - \frac{5}{9}) = 20\text{度}$ (答) 20度
- (4) $2km \times 6 = 12km$ $12km + (2km + 2.5km) = 2\frac{2}{3}$
 $\frac{2}{3}$ 時 = 40分 (答) $2\frac{2}{3}$ 時40分
- (5) $0.2 \times 0.1 = 0.02$ $1 - 0.2 - 0.02 = 0.78$ (答) $7\text{割}8\text{分}$
- (6) $1\text{圓}30\text{銭} + (1 - 0.1) = 2\text{圓}$ (答) $2\text{圓}40\text{銭}$
 $2\text{圓} \times (1 + 0.2) = 2\text{圓}40\text{銭}$

東京府立第八中學校

図試問 (第一)

- (一) (1) 燃料 (2) 気性 (3) 始末 (4) 栽培 (5) 必要
(6) 切株 (7) 天つ日嗣 (8) 容易 (9) 縁先 (10) 小春日和
- (二) 彼は(興味)を覺えると、あくまでそれにこる(性質)で、一度何かをし始めたら、(満足)な(結果)を得るまでは(中途)でやめなかつた。
- (三) 何事においても、善いところ即ち長所をとつて、そのわるい所即ち短所をとり去つて、我が日本の國をば外國にまけない所のよい國とするてだてがありたいものだわい。
- (四) (1) じやまをするのも思ひやりがない。
(2) 問うて見たいものだなあ。
(3) きこえぬのであらうか、
(4) 波にうつつた月のすがたが小さい波にくだかれ、いさり火が波の間に見えたりかくれたりする。
- (五) くやしい(残念) きをつける(注意)
ならはし(習慣) えらいひと(偉人)

東京府立第八中學校

- (六) (1) 晝 (2) 高い所 (3) 大勢
- (七) 上手に繪がかけて、我ながら感心した。
てんでにボールを持って遊んでゐる。
- (八) (元寇)(此の未曾有の國難を除かねばならぬと、國民は皆ふるひ立ち上下心を一にして之に當つた。)
- (九) 官軍の將二人(楠木正成、楠木正季)
賊將二人(足利尊氏、足利直義)
- (一〇) かねて幕府が徒黨を結ぶことを禁じてゐたから、止むなく切腹を命じた。
- (一一) (羽柴秀吉の部下。(柴田勝家等を攻めた時のこと。))
- (一二) 西南の役に於て、佐野常民が博愛社をおこし、官軍、賊軍の別なく傷病者を治療した。之が日本赤十字社の起りである。
- (一三) 「數島の大和心を人とはば、朝日ににほふ山櫻花。」
- (一四) 主なる點は(1)我が國內に居留する外國人の裁判は、我が裁判官によらずに、その國の領事が之を行ひ、

(2) 又外國から輸入する品物に對しても、自由に税を課することができなかつたことである。

(一五) 米・さとうきび・さつまいも・茶。

(一六) 琵琶湖—滋賀縣—(近江盆地を灌漑してゐる) 霞浦—(茨城縣)—(水運の便が多い)

猪苗代湖—(福島縣)—(水力電氣に利用される)

(一七) 東海道本線、山陽本線、京釜線、京義線、安奉線、南滿洲鐵道。

(一八) バンクーバー、シヤトル、サンフランシスコ、ロスアンゼルス

(一九) 明治二十三年十月三十日に明治天皇が、我等臣民の從ひ守るべき道德の大綱をお示しになるために下し賜つたのである。

(二〇) 我等に良心があるから。

● 試問 (第二)

(一) (1) つのまた(糊にする)

2) てんぐさ(寒天に製する)

(3) ほんだはら(肥料にする。又ヨードをとる)

(4) ひじき(食用にする。又ヨードをとる)

$$100 \times \frac{3}{2+3} = 60$$

ソレヲ二匹ノモノヲ吊ツタ端カラ六十ノ所ヲ支ヘル
(七) 試験管を少しかたむけて、その上部を「マローンランプ」で熱しても下部が熱くならなうことによりて、水が熱をよくつたくなうことが分る。

(8) $785g \div 110g = 7 \dots \dots$ 餘15g 2錢 \times (7+1) = 16錢
(答) 16錢

(9) $(20km - 4km) \div (5km + 3km) = 2$ (答) 2時間

(10) $1 \div 8 = \frac{1}{8}$ $1 \div 10 = \frac{1}{10}$ 8H \div 2 = 4H

$$\left(\frac{1}{8} + \frac{1}{10} \right) \times 4 = \frac{9}{10} \quad \left(1 - \frac{9}{10} \right) \div \frac{1}{10} = 1$$

(答) 1H

(11) $(2km \times 12) \div (2km + 4km) = 4$ (答) 4時間

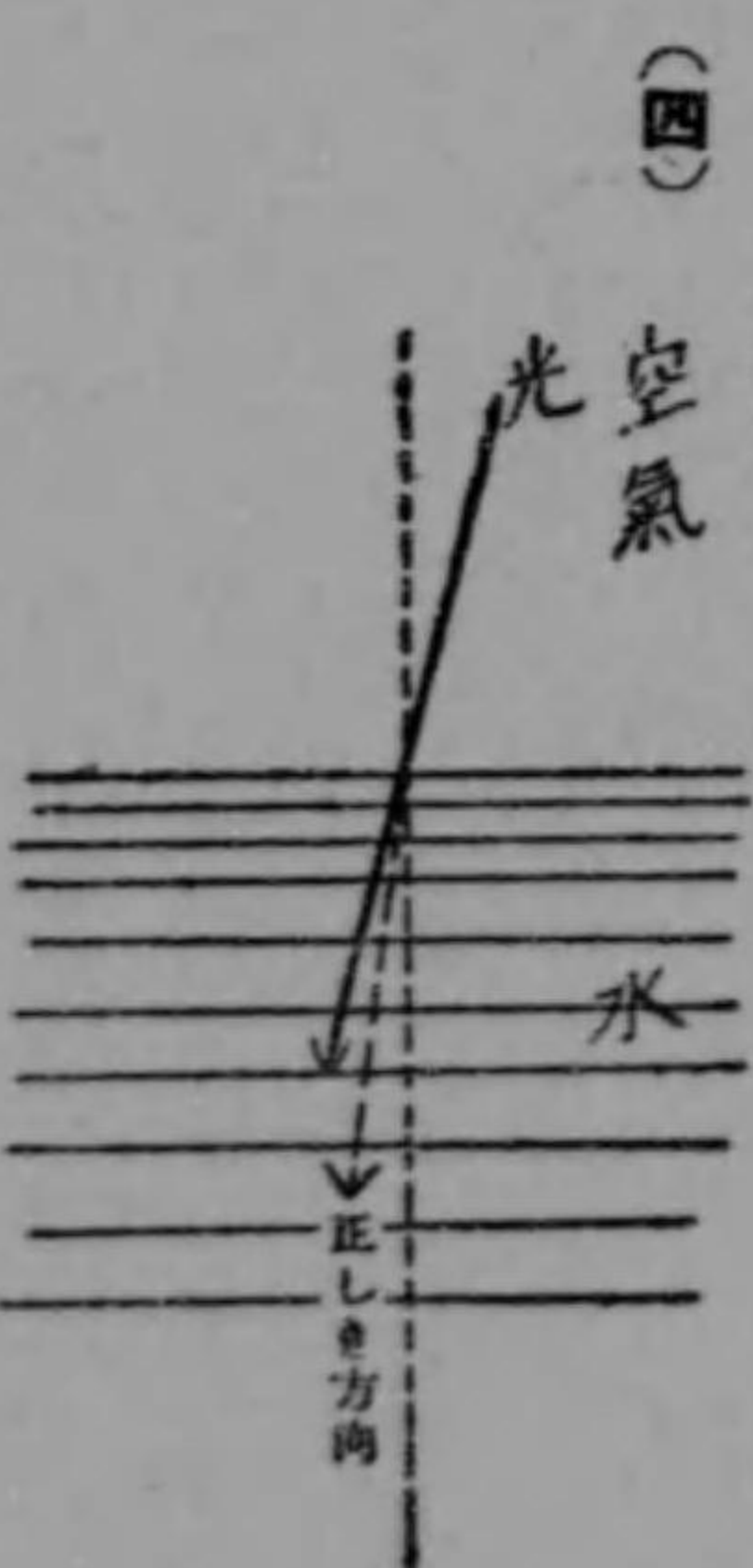
(12) $1 - \frac{1}{8} - \frac{1}{8} \times 3 = \frac{1}{2}$ $\frac{1}{2} \div 2 = \frac{1}{4}$

$$2 \text{圓} 56 \text{錢} \div \frac{1}{4} = 10 \text{圓} 24 \text{錢} \quad (\text{答}) 10 \text{圓} 24 \text{錢}$$

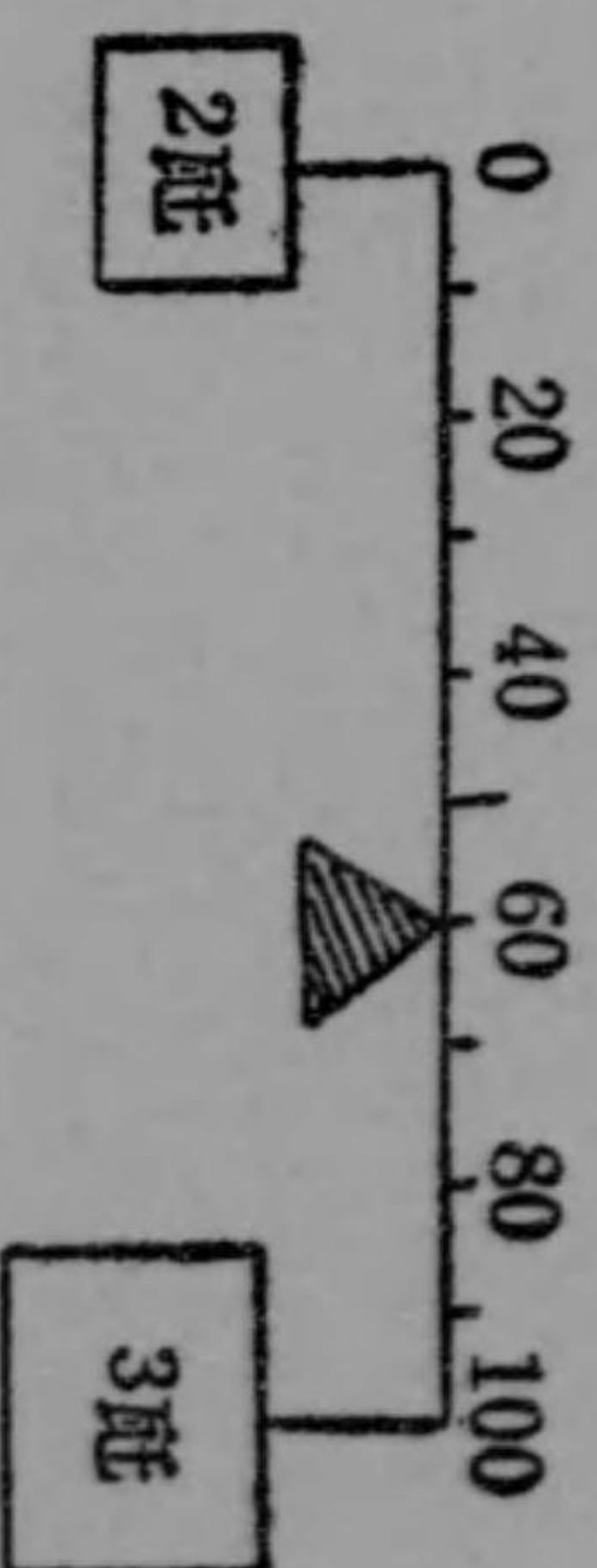
(13) $369 \text{箇} \div \left(1 + \frac{75}{100} + \frac{30}{100} \right) = 180 \text{箇}$

東京府立第九中學校

(二) (1) (さくら)、(つつじ) (2) (柿)、(桑)
(三) (1) だえき(食物をしめらせ、又食物中のでんぶんを少し糖類に變ぜさせる)
(2) 胃液(食物中のたんぱくしつを水にとけやすいものに變ぜさせる)



(五) 味はしほからい。鹽が出来たのである。
(六)



$$180 \text{箇} \times \frac{75}{100} = 135 \text{箇} \quad 180 \text{箇} \times \frac{30}{100} = 54 \text{箇}$$

(答) 柿 135 箇、梨 54 箇

(14) $513 \text{圓} 60 \text{錢} - 480 \text{圓} = 33 \text{圓} 60 \text{錢}$ (答) 1分

(15) $25cm - 1cm \times 2 = 23cm$ $23 \times 0.52 + 1000 = 6.32684$ (答) 6.32684

東京府立第九中學校

● 試問 (1)

(1) (答) 48, 29, 29, 79, 59, 39, 32, 21, 43, 18

● 試問 (2-9)

(2) (イ) $\frac{1}{2} = (5 \times 4) \div (8 \times [5])$ (ロ) $6 \div (5 - [2]) = 2$

(ハ) $60 \div [5] = 8 \times \frac{3}{2}$ (ニ) $(4 + 11) \div (7 - [4]) = 5$

(ホ) $3 + 7 \times 2 = [9] + 8$

(3) $5 + 4 = 9$ $12 \text{時} \times \frac{5}{9} = 6 \frac{2}{3} \text{時}$ (答) $6 \frac{2}{3} \text{時}$

(4) 2分-1分=1分 12時-9時+5時=8時
(12時-5時)+12時+1時=20時

1分 × $\frac{20}{8} = 2\frac{1}{2}$ 分 (答) 午後1時 $2\frac{1}{2}$ 分

(5) 15圓 ÷ (1-0.85) = 100圓

30圓 + {100圓 × (1 + $\frac{1}{5}$)} = 0.25 1-0.25 = 0.75

100 × 0.75 = 75 (答) 75%

(6) 55圓 + (4+1) = 11圓

(55圓 - 11圓) ÷ (1 + $\frac{5}{3}$) = 16.5圓

16.5圓 × $\frac{5}{3} = 27.5$ 圓 (答) 甲16.5圓, 乙27.5圓, 丙11圓

(7) 14km ÷ 4km = 3.5 8時 + 3.5時 = 11.5時

14km ÷ 10km = 1.4

11.5時 - 1.4時 = 10.1時 = 10時6分 (答) 10時6分

(8) $1 - \frac{4}{9} = \frac{5}{9}$ 3時 + $\frac{5}{9} \times \frac{4}{9} = 2.4$ 時

$1 - \frac{1}{10} = \frac{9}{10} = 0.9$ 2.4時 × $\frac{1}{0.9} = 2\frac{2}{3}$ 時

(答) $2\frac{2}{3}$ 時間

(9) (12+18) + 2 × 10 = 150 150平方m + 2 = 75平方m
75 × 2 + 10 = 15 (答) 15m

図試問

(10)(イ)炭火に人が近よると、炭火の熱が炭火と人との間の空気を通りぬけて来るのを感じるから暖

さ。

(ロ)炭火を盛に起すと、たんさんガスがたくさんで
きる。このたんさんガスは室外に出ることができ
ないので、人が之を吸ふことになり、身體の爲に
悪から。

(ハ)炭火に灰をうすくかけておくと、空気がふれる
ことが少いから、炭火が一時に酸化しないで、少
しづつもあるために長くもてる。

(ニ)火けしつぽの中にあるさんそが、炭火のたんそ
と化合して次第に減り、終にはなくなるから。

(ホ)くぬぎ。なら。かし等の樹木から作る。

(11)(イ)松の花には、めばなとをばなとある。をば
なは若枝の本の部分に集つて着いてゐて、うす黄
色である。めばなは若枝の先に一つ二つ着いてゐる

て赤紫色である。

(ロ)磁石の違った種類の極は、互に引合ひ、同じ種
類の極は互にしりぞけ合ふ。

(ハ)間違ひはない。

(ニ)わうてつくわうはわうどうくわうよりも、かた
くて黄色が少しうすい。

(12)よく傳へるもの(炭、銅、人體、鐵)

(13)(イ)米(でんおん) (ロ)だいづ(たんばくしつ)

(ハ)牛乳(たんばくしつ、しばう)

(ニ)魚肉(たんばくしつ)

(14)(イ)氣體の燃料(石炭ガス)

(ロ)液体の燃料(アルコール、石油、ガンリン)

(ハ)固體の燃料(石炭、木炭、コークス)

(15)(イ)かんだんけい(物が熱をうけるとふくれる
ことの理)

(ロ)てんびん(てこの理)

(ハ)ブレーキ(まさつこの理)

(ニ)むしめがね(とつレンズの理)

(ホ)電信機(電磁石の理)

東京府立第九中學校

(16)(イ)字を書くすみ(すゝ) (ロ)ヨード(海藻)

図試問

(ハ)はんだ(鉛) (ニ)セルロイド(せうさん)

(ホ)えんびつの心(せきぼく)

図試問

(17)

名	稱	熟語
クサカン	梅花	
ムリ		
リツタウ	判決	
ガンダレ	歴史	

名	稱	熟語
石	イシヘン	研究
首	ゴンペン	誠心

(18)生徒の成績品は、體裁よく戸棚に整頓してある。

餘暇も休まず奮勵して質素勤儉の模範を示した。

實際に研究に没頭して疑問を解決した。

傳染病の時迷信のため醫師の診察を受けなかつた
り、届出をしなかつたりするのは危険です。

(19)波止場、遺言、負擔、反く、恤兵、御被威、
拜謁、歸省、妨ぐ、安寧。

(20)精(粗)貴(賤)正(邪)悲(喜)益(害)高(低)卑(複)
長(短)亡(興)伸(縮)表(裏)廣(狭)加(減)信(疑)

拾(落)明(暗)是(非)送(受)沈(浮)消(長)

(二二)抵抗(力)、一(筋)路、技(術)家、自(動)車、保(護)色、望(遠)鏡、控(訴)院、指(揮)官、居(留)地、廉(恥)心。

(二三)有爲の人(大事をする力がある人)。孤兒(みなしご、親のない子)。九重の内(宮中)。賜(下さる)。進取の氣(すゝんで事を行ふいきぐみ)。公是(おほやけの方針)。一段の趣(ひとしほのおもしろみ)。幣物(おくりもの)。ひつきやう(つまり)。ひねもす(一日中)。

(二四)(イ)支那の孔子が言つた言葉。(ロ)ごんねんだと心をふるひおこして、學問を思ひたつては、食べるところを忘れ、正しい行をしたと喜んで、心配のあることを忘れ、今や自分が老人になりつゝあるといふことを知らないほどである。

(二四)やがて
1. 君に忠を盡くすことが、やがて親への孝となる。
2. やがて東の空が白んで来た。

皇の御爲に盡した。我が國では忠と孝とは一致してゐて、君に忠を盡すことは、やがて親に孝を盡すことであるから、正行は忠臣であると同時に孝子である。即ち忠臣は孝子の家から出る。孝行である程のものは、必ず忠臣である。

(二六)難波(仁徳天皇) 近江(天智天皇) 奈良(元明天皇) 京都(桓武天皇) 鎌倉(源頼朝) 江戸(徳川家康) 東京(明治天皇)

(二七)○明治維新 ○大化の新政 ○建武の中興
(二八)(イ)1)大平洋 2)日本海 3)オホーツク海

(4)東支那海 (5)瀬戸内海
(ロ)降雨が多いから。(ハ)流域に山地が多いから。
(ニ)水運の便が悪い。(ホ)灌溉。(ヘ)發電。

(二九)(1)新羅をうち從へ給ふ(神功皇后)。
(4)元軍の來寇に備ふ(北條時宗)。
(3)唐に渡り佛教を學ぶ(空海)。
(5)朝鮮全國を從ふ(豊臣秀吉)。
(2)支那に使をつかはして初めて初めて對等の交際をなし給ふ(聖徳太子)。

東京府立第九中學校

工夫

1. 工夫が道路を繕つてゐる。
2. 物事はよく工夫しなければならぬ。
1. やうやう彼が来た。
2. 今度の航海でやうやうたる海を眺めることができた。

しのぶ

1. 我等はどんな苦しみもしのばねばならぬ。
2. 當時をしのぶと懐しく感ぜられる。
許
1. こゝには、三百人許の生徒がゐます。
2. あの人の罪は許された。

(三五)(イ)

四大節の名稱	何月何日か	どういふ日ですか
四方拜	一月一日	天皇陛下が天地四方の神々を拜み給ふ日。
紀元節	二月十一日	神武天皇が橿原で即位式をあげ給うたのを祝ふ日。
天長節	四月二十九日	今上天皇の御誕生を祝ふ日。
明治節	十一月三日	明治天皇の御誕生日で、御遺徳を記念する日。

(ロ)楠木正行は父の教訓を守り、その志をついで天

(三〇)(イ)五ヶ條の御誓文によつて定つた。(ロ)明治二十二年二月十一日。(ハ)皇室典範。(ニ)法律、豫算の議決をする所。(ホ)わが帝國憲法は、天皇が國民と共に國運を進められようとの大御心より制定されたもので、和氣上下にみち／＼た中に發布されたものであるから。

(三一)

1. 名古屋
2. 清水
3. 四日市
4. 横濱
5. 鎌倉
6. 横須賀



(111)

産物名	不足	輸出	輸入	先	輸出入
鐵	不足			アメリカ合衆國	輸入
生絲	餘			アメリカ合衆國	輸出
綿絲	餘			印度	輸出
羊毛	不足			オーストラリヤ	輸入
メリヤス	餘			印度	輸出

第一東京市立中學校

第一試問

- (1) $2\text{錢} \times 500 = 10\text{圓}$ $10\text{圓} \times (1+0.2) = 12\text{圓}$
 $500\text{個} \times \left\{ 1 - 0.12 - (1 - 0.12) \times \frac{1}{11} \right\} = 500\text{個} \times 0.8$
 $= 400\text{個}$ $12\text{圓} + 400 = 3\text{錢}$ 毎 3錢
(2) $60+3=20(\text{乙})$ $20+3=23(\text{甲})$ $20-3=17(\text{丙})$
 $135\text{圓} \times \frac{23}{60} = 51.75\text{圓}$ $135\text{圓} \times \frac{20}{60} = 45\text{圓}$

十。

(六) 安山岩は最も普通の火山岩で所々に鐵物のけつしやうが見える。けつしやうの中で白色のものは大て「長石」で、黒色のものは、「きせき」か又は「かくせんせき」であることが多い。

第二試問

(1)

地名	工業製品
(1) 岡谷	生絲
(2) 名古屋	綿絲・綿織物・時計・陶器
(3) 瀬戸	陶器
(4) 濱松	綿織物・樂器
(5) 大宮	洋紙

(112) (1) 松平定信 徳川家齊將軍の時、老中であつた人で、寛政四年にロシアの使が根室に来てから、形勢が穩かでなくなつたので、定信は大いに意を海防に用ひ、自ら數多の困難を忍んで、伊豆・相模

第一東京市立中學校

- $135\text{圓} \times \frac{17}{60} = 38.25\text{圓}$
 毎 $甲 51\text{圓} 75\text{錢}$, $乙 45\text{圓}$, $丙 38\text{圓} 25\text{錢}$
(3) $408.2\text{m} + (2 \times 3.14) = 65\text{m}$ (内側ノ半徑)
 $65\text{m} \times \frac{15}{13} = 75\text{m}$ (外側ノ半徑)
 $75 \times 75 \times 3.14 - 65 \times 65 \times 3.14 = 4396$
 毎 4396平方m
(4) $100\text{圓} \times 0.05 + 93\text{圓} = 0.0537 \dots$
 $50\text{圓} \times 0.12 + 105\text{圓} = 0.0571$
 $0.0571 - 0.0537 = 0.0034$
 毎 株式ノ方が得。差ハ約 3 圓 4 毛

(五) (イ) たんその板 (ロ) たんその粒

(六) (イ) 電流の強さを變へる。

(イ) は空氣のしんどうにつれて(ロ)をおしつける。そのおしつける強さの變化にしたがつて、(ア)が電流の強さを變へる。
 (イ) は電流の強さのために(ニ)を引く。その引く力の變化によつて(ニ)がしんどうして音聲を出す。

等の海岸を巡視した。

(2) 林子平 仙臺の人で、寛政の三奇人の一である。長崎でオランダ人から外國の様子を聞き、海防の大切なことをさとつて海國兵談を著した。
 (3) 徳川家齊 水戸の藩主で、盛んに大砲を鑄て海防に備へた。

(113) (1) (イ) 大砲でふかを打たうと決心したのである。

(ロ) 色 Ⅱ やうす。

(2) ふかの口がほとんど子供に届いて、今にも子供が呑まれさうになつたから。
 (3) うまくふかに彈丸があたつてをればよいが、もし誤つて子供にあたつたら却て申しわけのないことであると思つて、砲手は結果を見るのがおそろしくて、つつ伏したのである。

(4) (イ) 色もさめ香もなくなつて、おとろへてしまつてから、もう長い間たつて。(ロ) 何となくおどそかで、しぜんと人の心をひきしめさせ。(ハ) 五丈三尺の大佛は、一千二百年前の昔のやうすをのこしてゐる。(ニ) どの山も、どの川も、一本の木一本の草に

至るまでどんなものでも、いはれをもつてをり、古人の歌にうたはれてをる。(ホ)人を行つたり來たりさせ、そこから立ち去ることが出来ないやうにする。(五)(イ)いくさに勝つても、ゆだんをしないで心をひきしめよ。(ロ)いりようをかんずることは、ものごとを作りだすものである。(ハ)よいものをもつてもそれを利用しないこと。(ニ)一寸の蟲にも五分位のたましひはある。人をばかにするものでないといふこと。(ホ)度をこえすぎたのは、したりないのと同じである。何事もほどよくするがよとすふこと。

(六)(イ)手や足の關節を屈げたり伸ばしたりして出發の號令を待つ。
(ロ)腹食を忘れて研究に没頭した。

(ハ)一般の人民の後援がなければ自治團體の發達は望まれな。

(ニ)かねてから百万畫策して時局の圓滿な解決を計つてゐた。

(七)我が國は建國が大へん古く、萬世一系の天皇が御

統治になつてゐる。天皇の御祖先は、身を正しうし道を行ひ、民を愛し敬を垂れて模範を後世におのしになつた。そして臣民は君に忠をつくし、父母に孝をつくすことを心がけ、心を合せて常にこの美風を全うして來てゐる。之が我が國がらの外國とちがつてすぐれた點である。

● 關川算題

- (1) $357海里 + 19 \frac{50}{60} = 357 \frac{1}{2} 海里$ 答 18ノット
- (2) $31H - 11H = 20H$ $20H + 30H = 50H$
 $50H + 31H = 81H$ $100H - 81H = 19H$ 答 6月19日
- (3) $1 + (1 + \frac{1}{9}) = \frac{9}{10}$ $100 \times \frac{9}{10} = 90$ 答 90%
- (4) $24圓48錢 + 90 + (850圓 + 100圓) = 322圓$ 答 3錢2厘
- (5) $80立方cm \times \frac{3}{2} \times \frac{2}{1} \times \frac{3}{4} = 180立方cm$ 答 180立方cm

(6) (24圓+18圓-16圓)+2=13圓(乙)

24圓-13圓=11圓(甲) 18圓-13圓=5圓(丙)

答 甲11圓、乙13圓、丙5圓

(7) $1 - \frac{2}{3} = \frac{1}{3}$ $\frac{1}{3} \times 5 = \frac{5}{3}$ $\frac{5}{3} - \frac{1}{24} = \frac{1}{8}$

$0.6m + \frac{1}{8} = 4.8m$ 答 4.8m

(8) $1.4kg \times 27 + 35 = 1.08kg$ 答 1.08kg

(九)○かせソノダ ○たんさんソノダ ○ゆわう

○石灰 ○コークス

(一〇)(イ)水をあたゝめるとじようはつしてすむじようきといふ無色の氣體になる。

(ロ)たんさんソノダは無色のけつしやうで水にとけやすく赤いリトマスしけんしを青くする。

(一一)しえふ又ははいにゆう。

(一二)ハナシヤウブ(三本) ソラマメ(十本)

アサガホ(五本)

(一三)

餅	岡	茶	清水港
インド	綿	デリー	

第一東京市立中學校

ブラジル	コーヒー	サントメ
滿洲帝國	新京	大豆
樺太	バルブ	
イギリス	織	紡績業

(一四)

平野の名	川	都	會
越後平野	信濃川	新	潟
筑紫平野	筑後川	久	留米
濃尾平野	木曾川	名	古屋

(一五)

法	隆	寺	聖	德	太	子
湊	川	紳	社	楠	木	正
條	約	改	正	陸	奥	宗
松	下	村	塾	吉	田	松
山	陵	志	蒲	生	君	平
桑	落	第	豊	臣	秀	吉

あ行		か行		わ行	
あ	ア	か	カ	わ	ワ
い	イ	き	キ	ゐ	ヰ
う	ウ	く	ク	う	ウ
え	エ	け	ケ	ゑ	ヱ
お	オ	こ	コ	を	ヲ
や行		や行		や行	
	ヤ	や	ヤ		ヤ
	イ	い	イ		イ
	ユ	ゆ	ユ		ユ
	エ	え	エ		エ
	ヨ	よ	ヨ		ヨ

第二東京市立中學校

問題 (前二)

- (一) 早速 安易 握る 著しい 養生 略す 探る
 懐かし 成就 網 悔る 辨へる 工合 豫め 奪
 ふ 興らせる 費策 深い 笑み 見るを得べし
- (二) (イ) (議員)を(選舉)するには、(専)ら其の人物に
 重きをおいて、決して(親族)・(縁故)其他私交
 上の(關係)の(爲)に心を(迷)はすやうなことがあ
 つてはならぬ。
- (ロ) (怒)と(失望)と(後悔)とに身も(魂)もくだけ
 (果)てた。

(一六)源頼朝(鎌倉) 足利義満(室町) 徳川家康(江

戸)。
(一七)興る 容れる 磨く 著る 後れる
外れる 磨れる 迫る 荒む

(一八) (イ)博士は電氣の利用に就いて述べた。

(ロ)木の枝を伐る。(ハ)王は國をしつかりと治め
た。(ニ)山も森も村も皆焼野が原と變つてゐます。

(ホ)彼はピアノをひく手を止めた。

(一九)培 栽培 健全 敬意 練習 壯年
複 複維 模範 原因

(二〇)ぬかづく(ひたひを地につけてをがむ) つつが
なし(たつしやである) がへんぜず(しやうちしな

い) なじる(とがめたづねる) せめぐ(あらそふ)
さざめく(大ごゑをだしてさわぐ)

(二一)あなたはまだお若いから怠らず努力なさつてゐ
たらきつと此の研究を大成することが出来ませう。

(二三)上手 ジャウツ 自ら オノヅカラ
ウハチ ミヅカラ

工夫 コウフ
タフウ

(二) (衛生)の(設備)をよくして(危険)な(病氣)を
 (根絶)し、幾萬の(従業者)の(健康)をはかつた。
 (三) (イ)大王喜び給ふ。(ロ)將に一仕事に着手せん
 とす。(ハ)秩序が正し。(ニ)意氣揚々と出發
 した。(ホ)自由と我がまゝとは似てゐるが違ふ。
 (四) (イ)なぜ勉強しないだらうかと不思議に思ふ。
 (ロ)後を追つておぼろげになつたら、大てい追ひつけ
 ませう。(ハ)これと同じものがなほ數限りもなく存
 在してゐる。(ニ)經文をととなへながら、一心このみ
 を振るふことゝあつた。

問題 (前二)

- (1) (答) 10349 (2) (答) 8.634 (3) (答) 438
 (4) (答) $x=2577$ (5) (答) 3168 (6) (答) 1911
 (7) (答) 62.5 (8) (答) $x=689$ (9) (答) 12
 (10) (答) 0.009 (11) (答) 1 (12) (答) 100
 (13) (答) 0.09 (14) (答) 4.875
 (15) $\frac{7}{10} + \frac{4}{3} = \frac{21}{30} + \frac{40}{30} = \frac{61}{30} = 2\frac{1}{30}$

第二東京市立中學校

問題 (前三)

- (1) 二千五百九十四年。
 (二) (イ) 明治天皇。(ロ) 明治二十三年十月三十日。
 (ハ) 我が國は建國が大へん古く、萬世一系の天皇が
 御統治になつてゐる。天皇の御祖先が我が國を開

き、我が國のいしず五をお定めになつたその規模が廣大で、いつまでも動くことがないやうにされた。又天皇の御祖先は、身を正しうし道を行ひ、民を愛し教を垂れて模範を後の世に長くおのこしになつた。そして臣民は君に忠をつくし、父母に孝をつくすことを心がけないものはなく、心をはせて常にこの美風を完うした。これが我が國體の精華である。

(三) (1) 文永・弘安の役 (2) 明治二十七八年戦役

(3) 明治三十七八年戦役

(四) 中大兄皇子は、孝徳天皇を助け奉つて、大いに政治を改め、土地・人民をことごとく朝廷にをさめしめられた。之を大化の新政といふ。

(五) 聖武天皇は佛教をひろめて、世の中を大平にみちびかうとのおぼしめしから、國分寺を造らしめられた。

(六) 坂上田村麿—武勇、北條時宗—果斷、徳川家康—忍耐、大石良雄—節義、大岡忠相—公平。

(七) 〇三、國史國學の研究によつて我が國體が明らか

なつたからである。

問	答
如何なる大御心によつて御制定になつたか。	専ら國民の幸福をはかり、相共に國運を進めようとの大御心によつて御制定になつた。
何時發布せられたか。	明治二十二年二月十一日。
制定に最も功のあつたのは誰か。	伊藤博文。

問 題 (後一)

- (一) (1) …… (おそれおほさがたとへやうがない)。
- (二) …… (おんたましひ)。(三) …… (いつまでも)。
- (四) …… (おとどまりになるのである)。
- (五) …… (ありがたさがとりわけ心に深く思はれる)。
- (六) (1) 供給少ければ物の價高くなる。
- (二) 僕は之を直接に聞いたから間違ひはない筈だ。
- (三) 夜に入れば見渡す限りのかゞり火、晝をあざむく。
- (四) 若し御承知に候はば御報知下されたく候。
- (五) 電氣は今やあらゆる方面に利用されておます。けれどもその利用は決してこれで盡きたものではありません。

(三) (1) あのやうにかひなくしく働いたからこそ、宿志が果されたのです。

(二) 今日は郊外で小春日和の快さを心ゆくばかり味ひた。

(四) 我もとより之を知る。唯國家の危きを如何せん。うつくしき人をいざなひてそむかしめんや。天祥をかす。天祥唯死せんのみ。うつくしき二朝で仕んや。願はくば我に死をたまふ、臣が事終る。

問 題 (後二)

- (1) $1000 \text{立方cm} \times 1.5 = 1500 \text{立方cm}$
 $1500 \div (15 \times 15) = 6.66 \dots$ (答) 67mm
- (2) $100 \text{圓} \times 0.05 \div 101 \text{圓} = 0.04950 \dots$
 $50 \text{圓} \times 0.08 \div 83 \text{圓} = 0.0481 \dots$ (答) 公債ノ方カ有利
- (3) $100 - 75 - 10 = 15$ $18.6 \text{kg} \div \frac{15}{100} = 124 \text{kg}$
 $99 \text{kg} + \frac{75}{100} = 132 \text{kg}$ $132 \text{kg} - 124 \text{kg} = 8 \text{kg}$
(答) 硝石 9kg ヲ用ヒタ時ノ方カ 8kg 多ク

なつたからである。

- (4) $15^3 = 3375$ $16^3 = 4096$ $14040 : \pi = 3375 : 4096$
 $\pi = 14040 \times \frac{4096}{3375} = 17039.36$ (答) 17039.36立方cm
- (5) $1 \text{錢} 5 \text{厘} 6 \text{毛} \times 80 = 1 \text{圓} 24 \text{錢} 8 \text{厘}$
 $1 \text{錢} 3 \text{厘} 1 \text{毛} \times (160 - 80) = 1 \text{圓} 4 \text{錢} 8 \text{厘}$
 $1 \text{錢} 6 \text{毛} \times (320 - 160) = 1 \text{圓} 6 \text{錢} 6 \text{厘}$
 $8 \text{厘} 7 \text{毛} \times (455 - 320) = 1 \text{圓} 17 \text{錢} 4 \text{厘} 5 \text{毛}$
 $1248 \text{厘} + 1048 \text{厘} + 1696 \text{厘} + 1174.5 \text{厘} = 5166.5 \text{厘}$
 $517 \text{錢} + 2 = 258.5 \text{錢}$ $517 \text{錢} + 259 \text{錢} = 776 \text{錢}$
(答) 7圓76錢

問 題 (後三)

- (一) 大阪灣の沿岸。東京及横濱附近。九州の北部。名古屋附近。
- (二) アメリカ合衆國、印度、支那。
- (三) 灌溉。發電。水運。
- (四) 新京(滿洲國の首府で、陸上交通の要地であり又、大豆・木材の一大集散地である)。
サンパウロ(ブラジルにある都邑で、コーヒー栽培の中心地)。

能代港(秋田縣米代川の川口に近くある港で、製材業が盛である)。

銚子港(千葉縣の利根川の川口にある漁港で又醤油の産地として名高い)。

宇部(山口縣にあり附近に石炭を産する)

(五)(イ)ユリ(葉) (ロ)ハス(地下莖とたね)

(ハ)ソラマメ(たね) (ニ)ジャガイモ(地中の莖)

(ホ)ウニ(卵)

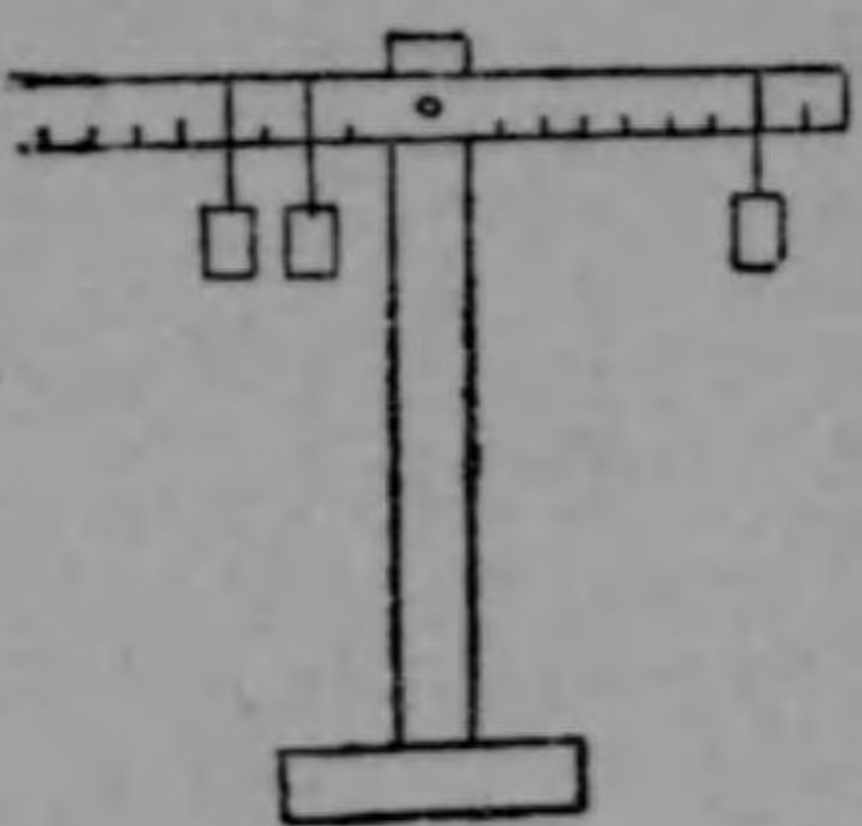
(六)(イ)唾液(食物中のでんぷんを糖分にかへる)

(ロ)アブラナ(たねから種油をとる。そのかすはこやしにする) (ハ)ミチノコ(魚の餌となる)

(ニ)テングサ(寒天を製する)

(ホ)安山岩(石材とする)

(七)



○(イ)利益が多い。
×(ロ)利益が少い。

(五)○ふもとの川

(六)品物(多)くして之を望む者(少)ければ其の物の價安くなる。

(七)雜^急雜^至木^急 急^至急^至 附^附附加

(八)國旗に對する尊敬は國家に對する忠愛の情の一發露なり。

(九)(イ)商業(取引。注文) (ロ)裁判(被告。陪審)

(ハ)新聞(發行。報道) (ニ)法律(公布。協賛)

(一〇)(イ)やがて一點の明星がきらめいて夜は(ほのぼのと)明けそめた。

(ロ)杉はしんを立て(すく)と延びてゐる。

(ハ)谷のこずえごしに遠い湖が(ちら)と見えて来た。

(一一)産業の不振を招く。不朽の名聲を博す。不純な物を取除く。

(一二)健康 遺憾
達者 残念

東京府立第一商業學校

(八)電流が流れる時、熱が出て、光を發するやうにダングステン線を細くしてあるのである。

(九)虹は日光が空中に浮んでゐるたくさん水滴に當つて、はんしやくせつをするためにできる。

(一〇)(イ)かせいソーダ、アンモニア水
(ロ)せうさん、アンモニア水
(ハ)かせいソーダ

東京府立第一商業學校

第一類の一

(一)風情(フゼイ) 成就(ジャウジュ)

(二)(イ)よいものをもつてゐて、それをうまく使はな(ロ)ごしんせつはおれの申しあげやうもありません。(ハ)このありさまを目の前にみてかたしくてたまらない。

(三)インサツ(印刷) チョクゴ(勸語)

(四)×(イ)どれも重要でない。
○(ロ)どれも重要だ。

(一三)(イ)御製 (ロ)貿易 (ハ)協力

(一四)(イ)一すぢに二もつばら

(ロ)一筋路わかれみちのない一本路。

(一五)(イ)困難容易 (ロ)失敗成功

(一六)複雜 記録 貨幣

(一七)(イ)奮闘努力 (ロ)一心不亂

(一八)(一)彼は直に竹を以て、(二)炭素線を作りて、(三)實驗せしに(四)豫想以上の(五)好結果を得たり

(一九)面積。治績。

(二〇)今年ほど水の都合のよかつた事はない。

(二一)寶物を拜觀する。疑問を解決する。

(二二)(イ)日常(生活)は極めて(規則)正しい。

(ロ)舉國(一致)國難に當る(氣風)。

(二三)(四)追々店の様子もわかり、(二)かねての御教訓に従ひ、(六)仕事に興味を覺ゆるやう相成申候。

第一類の二

(一)○僕のうれしかつたこと

僕がまだ毎日電車で元の學校へ通つてゐる時でした。丁度課業が終つて歸る途中、尾張町で乗換へて、

三田行の電車に乗りました。電車はいつも満員でした。今日も一ぱいで腰をかけるころは一つもありません。つりかはさへ一つもあいてゐるのはありませんでした。丁度電車が芝口に來た時、一人の腰のまがつたおばあさんが乗つて來ました。席がないので電車の動いたびにヒヨロ／＼よろけてころびさうでした。私はすぐに席を譲つて、おばあさんをすはらせて上げました。

おばあさんは「どうも有難う御座います。」といつてすぐに腰を下しました。このおばあさんが大門で降りる時、

「おかげで助かりました。」といひながら、幾度もお禮を言つて出て行きました。私はその時何となく嬉しくて、家へ歸るまでその事ばかり考へてゐました。家へ歸つてお母さんにその事を話したら、「5つもさういふ心掛けでゐなければなりません。」といつてほめて下さいました。その時はほんたうに嬉しう御座いました。

第二課の一

- (10) (答) $\frac{4}{13}$
 (11) $1 - \frac{1}{3} = \frac{2}{3}$ $8\text{km} + \frac{2}{3} \times \frac{1}{3} = 4\text{km}$ (答) 4km
 (12) $8\text{圓} \times (1 - 0.1) = 7.2\text{圓}$ (答) 7圓20銭
 (13) (答) 0.52
 (14) $28\text{圓} + 350\text{圓} = 0.08$ $100 \times 0.08 = 8$ (答) 8分, 8%
 (15) $140\text{g} + 5\text{kg} \times 100 = 2.8$ (答) 2.8%
 (16) $(1\text{圓}20\text{銭} + 45\text{銭}) \times (8 + 6) = 23\text{圓}10\text{銭}$ (答) 23圓10銭
 (17) (答) 40
 (18) $70\text{銭} + 5\text{銭} \times (14 - 10) = 90\text{銭}$ (答) 90銭
 (19) $6.4 \div 64 \times 100 = 10\%$ (答) 10%
 (20) $100 \times 5.75 + 25 = 23$ (答) 23m
 (21) $315000 : 525000 = 315 : 525 = 3 : 5$ (答) 3 : 5
 (22) $180^\circ - 90^\circ = 90^\circ$ $90^\circ \div \left(1 + \frac{1}{2}\right) = 60^\circ$
 $60^\circ \times \frac{1}{2} = 30^\circ$ (答) 70° , 70° , 70°

- (1) (イ) (答) 14.5 (ロ) (答) 245.7
 (2) $5\text{銭} \times 40 + 25 = 8\text{銭}$ (答) 8銭
 (3)
- | | | | | |
|-----|------|-----|-----|-----|
| 鉛筆数 | 2ダース | 6本 | 10本 | 8本 |
| 價 | 96銭 | 24銭 | 40銭 | 32銭 |

- (4) (答) 0.75 が最大、 $\frac{7}{12}$ が最小
 (5) (イ) $28\text{g} + 15\text{g} = 1 \dots 13\text{g}$ $3\text{銭} \times 2 = 6\text{銭}$ (答) 6銭
 (ロ) $100\text{g} + 75\text{g} = 1 \dots 25\text{g}$ $5\text{圓} \times 2 = 1\text{銭}$ (答) 1銭
 (ハ) $580\text{g} + 75\text{g} = 7 \dots 55\text{g}$ $5\text{圓} \times 8 = 4\text{銭}$ (答) 4銭
 (6) $(12\text{時} - 6\text{時} + 9\text{時}) \times \frac{1}{5} = 3\text{時}$ (答) 3時間
 (7) $5 \times 5 = 25$ (答) 25倍
 (8) $3 \times 3 \times 3 = 27$ (答) 27倍
 (9) $100\text{圓} \times \frac{2}{2+3} = 40\text{圓}$ $100\text{圓} \times \frac{3}{2+3} = 60\text{圓}$ (答) 40圓、60圓

- (23) $1\text{銭} \times 365 + 100\text{圓} = 0.0365$ (答) 銀行預金ノ方が高イ
 (24) $1350\text{圓} \times 0.05 + 2 = 33.75\text{圓}$ (答) 33圓75銭
 (25) $1200\text{圓} \times \frac{0.8}{100} = 9.6\text{圓}$
 $(1320\text{圓} - 1200\text{圓}) \times \frac{2}{100} = 2.4\text{圓}$ (答) 3圓
 $(9.6\text{圓} + 2.4\text{圓}) + 4 = 3\text{圓}$ (答) 3圓
 ④ 第三課 ①
 (イ) (イ) 根びすひ取つた水と養分は「種」を透つて枝や葉に行く。
 (ロ) アブラナのたねは油を多く含んでゐてこれから「種油」を取る、そのかすは「あびらかす」といつて「か」にする。
 (II) だけのこと(竹の地下茎からでた若いみき)
 (III) (I) 種子が完全であること。 (2) 適当な水分。
 (3) 適当な温度。
 (IV) こんぶ、わかめ、ひじき、あまのり、あをのり。
 (V) 5かの目は細長くてひれがあるが、たこの目は丸

くてひれがなく、いかには甲があるがたこにはない。
いかは脚が十本であるが、たこは八本である。

(六)水で息をするもの(ふな、えび)

空気で息をするもの(いしがめ、ぼうふり、みず)

(七)なう、肺、心臓、胃、じんごう。

(八)米(でんぶん) 豆類(たんぱくしつ)

いも類(でんぶん) 牛肉(たんぱくしつ)

牛乳(たんぱくしつ、しばう)

(九)(イ)(七十回) (ロ)(三十六七度)

(一〇)じてつくわう、せきてつくわう。

(一一)せきぼくの粉とねんどでつくる。

(一二)(イ)雲は細かい水のため空に浮いてゐるもの

である。(ロ)あふレンズを通して書物の文字を見る

と小さい像が見える。

(一三)(1)海は自然の交通路である。(2)しほや魚等が取

れる。(3)氣候を溫和にする。

(一四)下から熱すると、熱せられた部分は上に昇り、

他の部分が之に入れ代つて熱せられ、此の順序によ

つて、水全體が次々に熱せられて早くあたたまるが

上から熱すると、熱せられた部分は下ることなく、
止つてゐるので、次第に熱が下部に傳はるのを待つ
より外はない。所が水は熱をよく導かないから上か
ら熱するとあたたまり方が遅い。

(一五)火山から水蒸気やよう岩をふき出したり、温泉

からあたたかい水が出ることによつて分る。

(一六)電信機、電鈴。

(一七)アンモニアは石炭から取る。又空気中にある

ちつそからも製することが出来る。

(一八)氣體(空氣、石炭ガス、酸素、水素)

液體(アルコール、水銀) 固體(石、木、炭素、鐵)

(一九)たんさんソーダ、かせいソーダ、えんさん。

(二〇)石炭ガス、コールタール。

第三類のI

(一)臺灣島の南はバシー海峽を隔て、米領のフィリ

ッピン群島と相對する。

(二)我が南滿洲鐵道の本線はハルピンに於て東支鐵

道と連絡する。

(三)シベリヤ鐵道の起點はウラヂオオストツクで我が

教習港との間には定期航路が開かれてゐる。

(四)九州の北部が我が國の「大工業地區」となつたの

は、一つは石炭の供給がたやすいからである。

(五)我が國の鹽は多く瀬戸内海沿岸地方で製せられ

るが、それは鹽田のためである。

(六)我が國の川は大でい流が早く、流路の屈曲も多い

から水運の便が少ないが、發電に利用される。

(七)關東地方の近海で「わし」まじるがたくさんとれ

るのは「暖流」が流れてゐるため、北海道・樺太で

しん・さけ・ますのとれるのは「寒流」が流れてゐるた

めである。

(八)オーストラリア。

(九)〇ブラジル 〇ハワイ

(一〇)和歌山縣の有田川沿岸地方と靜岡縣の海岸地方

(一一)イギリス、ドイツ。

(一二)(イ)滿洲の農産物中最も産額の多いのは(高粱)

と(大豆)である。

(ロ)黄海方面は潮の干満の差が大きい、殊に(仁川)

港ではその差が十メートルもある。

(ハ)關東地方には(日立)(足尾)の二大鐵山がある。

(三)綿織物、綿絲。

(四)錫、鐵礦。

(五)諏訪湖沿岸の岡谷。

第三類のII

(一)〇和氣清麿字佐におもむく。

〇聖武天皇國分寺を造らしめ給ふ。

(二)弘安の役(北條時宗) 金崎城に據る(新田義貞)

攘夷論を主張す(徳川齊昭)

藩を廢して縣を置く(木戸孝允)

(三)(4)憲法發布 (2)内閣の制度を定む (1)五ヶ

條の御誓文を下し給ふ (3)地方自治制布かる。

(四)(1)淺野長矩の家臣 (2)伊藤仁齋、山鹿素行

(3)萬山重ならず、君恩重し。一髮輕からず、我が命

輕し。

(五)一家の盛衰を氣にかけず、唯一途に親を諫めて、

あくまで正しい道をふませようとつとめ、忠孝を共

に全うした點。

(六)(1)建武の中興、(2)三條實美・岩倉具視・西郷隆盛、

大久保利通・木戸孝允。

(七)(1) 懷良親王 (2) 筑後川に賊將少貳頼尙の軍を大いに破つた。

(八)(1) 江戸―徳川家康 (2) 大阪―豊臣秀吉

(九)(1) 一谷の戦 (2) 逃げることは武士としてひげふであると思つたから。

(一〇)(1) 春を禁じ勤儉をすすめたこと。

(2) 世の中に武藝をけいこさせ、武事を勵ましたこと

(3) 學問を盛にしたこと。

(一一) 護王神社(和氣清廣、廣虫) 映山神社(藤原鎌

足) 建勳神社(織田信長) 北野神社(菅原道真)

(一二) 神皇正統記(北畠親房) 古事記傳(本居宣長)

海國兵談(林子平) 山陵志(蒲生君平)

第四編(醫學)

省略。

東京府立第二商業學校

國語問題

六〇

(一)(イ) 逐條審議・凱旋・當惑の體・始終・總・不滅の光・掃除・留守・格天井・太宰府

(ロ) ツキノヒニン(附添人) ゴアサタ(御無沙汰) ソンケイ(尊敬) ソマツ(粗末) なシナ(品)

チンレッヒン(陳列品)

(二) 栽培 功績 識 學識 儉 儉約 體裁 積 蓄積 職 職務 織 織物 險 險 試驗

(三)(イ) 大空の中にそびえたつてゐる高い山にものぼる氣になればのぼる道はある。(困難なことでもやる氣があれば成功の道はひらけてゐる。)

(ロ) いりようであると感ずることは物事を發明するもとである。

(四)(一) 井然(きちんとしてゐて正しいさま)

(二) 生簀(肉類をなまのまゝ、すにひたして食べるもの)

(三) 住持(寺のあるじ)

(四) 樞機(かなめなことがら。天下のまつりごと)

(五) 恤兵(兵士をいたはり、ものをめぐむこと)

(六) 頑冥(かたくなで道徳にくらいこと)

作文

善良なる生徒

我等が毎日學校で愉快に勉強されるのは、天皇陛下の御仁徳と父母の御慈愛との御蔭であります。我等は一日も此事を忘れず、善良なる生徒となつて御恩に報へ奉らねばなりません。善良なる生徒とは何でありませうか。それは教育勅語の御精神を至誠をもつて奉體する生徒であります。

學校にあつては先生を尊びよく敬を守り、友達と仲よくして互に善を勧め悪を戒めなければなりません。教室ではよく學び運動場ではよく遊んで、規律を守らなければなりません。家にあつては父母の心を安んじ、よく云ひ付けに従ひ、孝養を盡さなければなりません。兄弟は仲よくして互に助け合ひ、兄弟をうやまひ弟妹を世話しなければなりません。其の外進取の氣象を養ひ、自學自習を勵み、よく忍耐し、儉約を守らなければなりません。此の様にして身體の健康を進め、學問に勉め、徳行を修めることが大切です。我等は以上の心得をよく實行し善良なる生徒となり、成長

東京府立第二商業學校

して後は立派な日本人となつて、君國の爲に盡さなければなりません。

算術

(1)
$$\begin{array}{r} 2536 \\ \times 405 \\ \hline 12680 \\ 10144 \\ 1027080 \\ \hline \end{array}$$

(2)
$$\begin{array}{r} 1 \\ \times \frac{2}{3} \\ \hline \frac{2}{3} \\ \times \frac{3}{4} \\ \hline \frac{1}{2} \\ \times 5 \\ \hline 5 \end{array}$$

(3)
$$\frac{1027080}{5} = 205416$$

(4)
$$100 \div 9 = 11 \dots 1$$
 餘1
$$120 \div 9 = 13 \dots 3$$
 餘3

(5)
$$9 \times 12 = 108$$

$$9 \times 13 = 117$$

(6)
$$100 \div 120 \div 100 = \frac{1}{12}$$
 倍數は108, 117, 126, 135, 144, 153, 162, 171, 180, 189, 198, 210, 216, 225, 234, 243, 252, 270, 279, 288, 297, 306, 315, 324, 333, 342, 351, 360, 369, 378, 387, 396, 405, 414, 423, 432, 441, 450, 459, 468, 477, 486, 495, 504, 513, 522, 531, 540, 549, 558, 567, 576, 585, 594, 603, 612, 621, 630, 639, 648, 657, 666, 675, 684, 693, 702, 711, 720, 729, 738, 747, 756, 765, 774, 783, 792, 801, 810, 819, 828, 837, 846, 855, 864, 873, 882, 891, 900, 909, 918, 927, 936, 945, 954, 963, 972, 981, 990, 999, 1000

(7)
$$10 \text{ 圓} \times (1 + 0.2) = 12 \text{ 圓}$$

$$12 \text{ 圓} \times (1 - 0.2) = 9.6 \text{ 圓}$$

(8)
$$25 \text{ m} + 5 \text{ m} + 2 = 32 \text{ m}$$
 (答) 32m

(9)
$$25 \text{ m} + 5 \text{ m} + 2 = 32 \text{ m}$$
 (答) 32m

(10)
$$100 \div 120 \div 100 = \frac{1}{12}$$
 倍數は108, 117, 126, 135, 144, 153, 162, 171, 180, 189, 198, 210, 216, 225, 234, 243, 252, 270, 279, 288, 297, 306, 315, 324, 333, 342, 351, 360, 369, 378, 387, 396, 405, 414, 423, 432, 441, 450, 459, 468, 477, 486, 495, 504, 513, 522, 531, 540, 549, 558, 567, 576, 585, 594, 603, 612, 621, 630, 639, 648, 657, 666, 675, 684, 693, 702, 711, 720, 729, 738, 747, 756, 765, 774, 783, 792, 801, 810, 819, 828, 837, 846, 855, 864, 873, 882, 891, 900, 909, 918, 927, 936, 945, 954, 963, 972, 981, 990, 999, 1000

(11)
$$100 \div 120 \div 100 = \frac{1}{12}$$
 倍數は108, 117, 126, 135, 144, 153, 162, 171, 180, 189, 198, 210, 216, 225, 234, 243, 252, 270, 279, 288, 297, 306, 315, 324, 333, 342, 351, 360, 369, 378, 387, 396, 405, 414, 423, 432, 441, 450, 459, 468, 477, 486, 495, 504, 513, 522, 531, 540, 549, 558, 567, 576, 585, 594, 603, 612, 621, 630, 639, 648, 657, 666, 675, 684, 693, 702, 711, 720, 729, 738, 747, 756, 765, 774, 783, 792, 801, 810, 819, 828, 837, 846, 855, 864, 873, 882, 891, 900, 909, 918, 927, 936, 945, 954, 963, 972, 981, 990, 999, 1000

(12)
$$100 \div 120 \div 100 = \frac{1}{12}$$
 倍數は108, 117, 126, 135, 144, 153, 162, 171, 180, 189, 198, 210, 216, 225, 234, 243, 252, 270, 279, 288, 297, 306, 315, 324, 333, 342, 351, 360, 369, 378, 387, 396, 405, 414, 423, 432, 441, 450, 459, 468, 477, 486, 495, 504, 513, 522, 531, 540, 549, 558, 567, 576, 585, 594, 603, 612, 621, 630, 639, 648, 657, 666, 675, 684, 693, 702, 711, 720, 729, 738, 747, 756, 765, 774, 783, 792, 801, 810, 819, 828, 837, 846, 855, 864, 873, 882, 891, 900, 909, 918, 927, 936, 945, 954, 963, 972, 981, 990, 999, 1000

(13)
$$1 + \frac{1}{7} = 1\frac{1}{7}$$
 (答) $1\frac{1}{7}$

(14)
$$1 + \frac{1}{7} = 1\frac{1}{7}$$
 (答) $1\frac{1}{7}$

六一

$1 + \frac{1}{4} = 4$ (龜印ノ大豆ノ價)

(答) 龜印ノ方カ高イ

(7) $365日 \div 7日 = 52 \dots 1日$ (答) 火曜日

(8) $10 \times 10 = 100\text{平方m}$ $1\text{平方m} \times 5 \times 20 = 100\text{平方m}$ (答) 適當

(9) $2, 3, 4$ ノ最小公倍数ハ12

$25 \div 12 = 2 \dots 餘1$ $12 + 1 = 13$

(答) 有ル。ソノ數ハ13

(10) $10 \times 10 \times 0.785 = 78.5(\text{平方cm})$ (底面積)

$78.5 \times 10 = 785(\text{立方cm})$ (容積)

(答) 11ヨリ少イ

地理科

(一) 鎮海(朝鮮) 馬公(澎湖島) 舞鶴(京都府)

大湊(青森縣) 旅順(關東州)

(二) 北海道(石狩炭田) 福島縣(常磐炭田)

福岡縣(筑豊炭田・三池炭田)

(三) 秩父(秩父銘仙) 八幡(製鐵所)

佐賀關(金の製鍊) 岡谷(製絲業の中心地)

(四) 米・さとうきび・さつまいも・茶・バナナ

(五)(1)アメリカ合衆國 (4)イギリス (3)印度

(2)支那

國史問題

(一) 北條時宗 ○徳川吉宗 ○足利義滿 ○源頼朝

(二) (4)新井白石 (2)源實朝 (1)藤原道長 (3)足利義政

(三) (イ)山陵志(蒲生君平) (ロ)夢物語(高野長英)

(イ)神皇正統記(北畠親房) (ニ)海國兵談(林子平)

(四)大正十年に開かれたワシントン會議に於て、日・

英・米・佛・伊が各々海軍軍備を制限することを定め、

又日・英・米・佛の四國は太平洋方面における各自の

領地に關する權利を維持するために條約を結んだ。

之によつて日英同盟は必要がないやうになつたので

廢止された。

(五)松平定信は、京都の大火で皇居が焼けた時、將軍

の命を受けて京都に行き、皇居御造營の工事を指圖

して普通りの美しい宮殿を出來上らせた。

理科問題

(一) たけのこ(地下莖からた若いみき)

さつまいも(根) さといも(地中の莖)

じやがたらいも(地中の莖)

(二) うんか(食物) 稻の莖や葉の中の養分。運動法

うしろばねでとび、あしで横むきにあゆみ、最後の

あしでとぶ。

いか(食物) 小さい動物。運動法 ひとりでおよぎ、

速におよぐには胴のふくろに海水を入れて太い管か

ら強くふき出し、その反動でおよぐ。

へび(食物) かへる・小鳥・ねずみ・卵等。運動法

腹のうろこを動かしてはふ。この時には體をまつす

ぐにしたり、まげたり、物にまきついたりして進

む。又急に體の前部をまげて後にひき、或はだんだ

んに一方にまげてその進む方向をかへる。

こひ(食物) 小さい蟲など。運動法 静かにおよぐ

時は、むなびれ・はらびれを動かして水をかき、速く

およぐ時には、體を左右にまげて、體の後部とをび

れで水をかはるゝなゝめに後方において進む。浮

く時はおもむなびれを動かす。

(三) ○あえん ○アルミニウム ○なまり

△しんちゆう △青銅

東京府立第三商業學校 東京市立京橋商業學校

(2)支那

國史問題

(一) 北條時宗 ○徳川吉宗 ○足利義滿 ○源頼朝

(二) (4)新井白石 (2)源實朝 (1)藤原道長 (3)足利義政

(三) (イ)山陵志(蒲生君平) (ロ)夢物語(高野長英)

(イ)神皇正統記(北畠親房) (ニ)海國兵談(林子平)

(四)大正十年に開かれたワシントン會議に於て、日・

英・米・佛・伊が各々海軍軍備を制限することを定め、

又日・英・米・佛の四國は太平洋方面における各自の

領地に關する權利を維持するために條約を結んだ。

之によつて日英同盟は必要がないやうになつたので

廢止された。

(五)松平定信は、京都の大火で皇居が焼けた時、將軍

の命を受けて京都に行き、皇居御造營の工事を指圖

して普通りの美しい宮殿を出來上らせた。

理科問題

(一) たけのこ(地下莖からた若いみき)

さつまいも(根) さといも(地中の莖)

(四) こたい(かせいソーダ)(ゆわう)(鹽)

えきたい(えんさん)(アルコール)(水)

きたい(アンモニヤ)(水素)(たんさんガス)

(五) ほたる ×ずむむし ○とんぼ げんごらう

くも

東京府立第三商業學校

國試 問 (口問筆答)

(一)(イ)(ロ)省略

東京市立京橋商業學校

筆記試問 (其の一)

(一) 我等に良心があるから。

(二) (1)四條喉神社 楠木正行 (2)藤島神社 新田義貞

(3)臺灣神社 北白川宮能久親王。

(三) (1)北畠親房が皇統の由來を述べ、大義名分を明か

にするために作つた。

(2) 徳川光圀が、大義名分を正して國體を明かにし、世の人をみちびくために作った。

(四)「わが國は初から君と臣との別が明かに定つてゐる。決して臣を以て君とすることは出来ない。無道のものゝは早く之を除くがよい。」と神の教の通りに答へた。

(五) (1) 大冶 鐵礦の産地 (2) 眞岡 不凍港

(3) リオデジャネーロ 南米ブラジルの首府

(4) 馬公 海軍の要港 (5) 吉林 木材の大集散地

(六) 茶 湄水港。羊毛 オーストラリヤ。

大豆 大連港。コーヒー ブラジル。

棉花 印度。

(七) たんぱくしつ(卵・とうふ)

でんぶん(米・さつまいも)

しばう(牛肉・ごまあぶら)

(八) (1) 自動車や飛行機の發動機を運轉させる燃料とし、又やにや油をとかすに用ひ、又は着物についたあぶらあかをのぞくに用ひる。

(2) たんさんガスと水。

(九) (1) ふりこのおもりを上げる。

(2) ガラス棒を絹布でこする。 (3) 糸を短くする。

筆記試問 (其の二)

(一) (1) 最初、一切經の出版を目的として喜捨を受けた。

(2) 今、うゑた人々を救助するのに使はうとする。

(3) どちらにしても、つまりは人を救ふのであるから、初の目的に反しない。

(二) (1) 今まで、自分には何も役に立つことがないと考へてゐた。

(2) 自分にも大切な役目があることが分つたから。

算記試問 (其の三)

(1) (算) $\frac{109}{216}$ (2) (算) 8

(3) $1 - \frac{3}{5} = \frac{2}{5}$ $2時 + \frac{3}{5} \times \frac{2}{5} = 1\frac{1}{3}時 = 1時20分$

(算) 1時間20分

(4) $5圓75銭 + (1 + 0.15) = 5圓$

(5圓 - 4圓70銭) ÷ 5圓 = 0.06 (算) 6分ノ誤

(5) $(14 + 20) + 2 \times 16 = 272$ $10 \times 6 = 60$

(272平方m - 60平方m) + 100平方m = 2.12

(算) 2.12a

東京府立工藝學校

○ 第一日試問

國語

(IX) とらくたーはちやうど軍用のたんくのやうな形だがそりんの(發動機)が(取付)けてある。

(ロ) 植五つけた(苗木)の(枯)れた處へ(補植)する。

(II) (イ) これはあたりまへのことではあるまじ。

(ロ) 自分一人勝手にする心。

(ハ) こまつたやうす。

(ニ) をしへみちびいてよくする。

(キ) 一しよになつてくらしをいとなむこと。

(III) (イ) 戸棚 (ロ) 配櫃 (ハ) 裁可 (ニ) 畫策

(キ) 小春日和

地理・歴史

東京府立工藝學校

(四)



(五) (1) アジヤ洲、 (2) アフリカ洲、

(3) 北アメリカ洲、 (4) 南アメリカ洲、

(5) ヨーロッパ洲、 (6) 大洋洲、

(六) (1) 憲法發布。 (2) 明治二十七八年戦役。

(3) 條約改正。 (4) 明治三十七八年戦役。

(5) 韓國併合。

(七) (イ) 樞原(神武天皇)

(ロ) 十七條の憲法(聖德太子)

(ハ) 神皇正統記(北畠親房)

(イ) 菅野山(空海) (ホ) 古事記傳(本居宣長)

算術

(1) 算 $1\frac{1}{2}$ (2) (答) 59日22時38分40秒

(3) $1+13+5=\frac{1}{65}$

$1+13+12=\frac{1}{156}$ $1+(\frac{1}{65} \times 4 + \frac{1}{156} \times 6)=10$

(答) 10時間

(4) $50\text{圓} \times 0.11 + 85\text{圓} = 0.0647\text{強}$ (答) 6分4厘7毛強

理科

(1)(イ) 寒天(てんぷか) 豆腐(たふ) (ロ) うんか、ずわむし。

(2)(イ) ありうさんガスとよ強うたほひのある氣體ができる。この氣體はゆわうとさんそとの化合物で、花などの色を白くする。

(ロ) ちつそと水素との化合物。

(3)(イ) 炭が光線をみな吸収するから。

(ロ) 同じ質の針金で、同じ電池の時は、針金の短し程、又太し程電流は強し。

○ 第二日試問

2圓×(1+0.2)=2圓40銭

(答) 2圓10銭

東京府立實科工業學校

図試 問

(1)(イ) しようといふ心のあるものは、そのことが、終にはとうとうでき上る。

(ロ) 外國にまけないところのよい國とするものがあろ。

(ハ) いろいろは物ごとを考へだすものである。

(ニ) 金殿玉樓。遊惰安逸。原稿締切。堅忍不拔。

(三) 國の文化の程度は、其の國民が國法を守る

精神の厚薄に依つて測ることが出来る。

(四)(イ) 模倣はやがて創造の過程でなくてはならぬ。

(ロ) 何の山、何の川、一木一草に至るまでも歴史あり、古歌あり、人をして低回去る能はざらしむ。

(ハ) 父母の病があつければ、醫藥の効がないのを知つても、尙治療につとめるのは人情の常である。

(ニ) 國旗は實に國家を代表する標識でその徽章色彩

東京府立實科工業學校

(1) 良心は、善い事をするとき嬉しく感じ、悪い事をするとがめる心である。

(2) 大日本帝國憲法には、萬世一系の天皇が我が國をお治めになることが示してある。又國民に國の政治に參與する權利を與へ、法律によつて、國民の身體・財産等を保護し國民に兵役・納税の義務を負はせることがきめてある。

算術

(1) (答) 140.16 0.27

(2) $5000\text{圓} + (1 - \frac{5}{7}) = 17500\text{圓}$

$17500\text{圓} \times \frac{5}{7} = 12500\text{圓}$

(答) 長子17500圓、次子12500圓

(3) 甲 $4:3$ 乙 $20+15+12=47$ 丙 $94 \times \frac{20}{47} = 40$

$5:4$ $94 \times \frac{15}{47} = 30$ $94 \times \frac{12}{47} = 24$

(答) 甲40、乙30、丙24

(4) $1\text{圓}80\text{銭} + (1 - 0.1) = 2\text{圓}$

には、それ／＼深い意義がある。

(五) 行在 部屋 雑木 親身 氣性 投影 仕向

海原 日和 交替

(六) 起床のしらせで乗員は一せいに飛び起きる。これから號令が雨のやうに下る。それにつれてつり床は正しく一定の場所に納められる。すべての窓や出入口は開かれる。これらの仕事は、陸上の家で毎朝起きると先づ夜具をかたづけ、雨戸をくるのとかはりはないが、千數百人の乗員が號令にしたがつて、規律正しく生活する様は、いかにも目ざましい。數分の内に艦内はすつかり整頓される。

(七)(1) 佛教の傳來 (2) 法隆寺の建立

(3) 東大寺の建立 (4) 平治の亂

(5) 承久の亂 (6) キリスト教の傳來

(7) 櫻田門外の變 (8) 始御門の變

(9) 日英同盟 (10) 國際聯盟

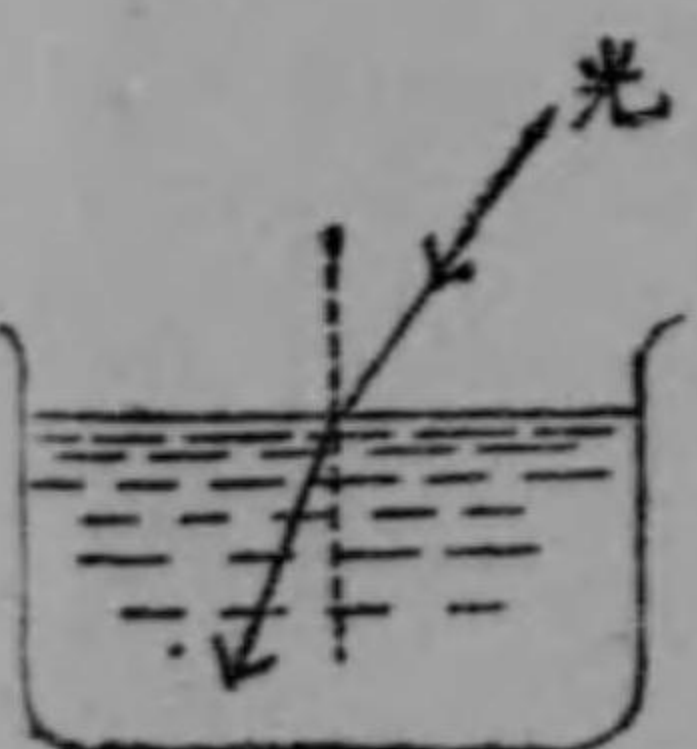
(八)(イ) 加藤友三郎(ワシントン會議に使節として参列した)

(ロ) 岩倉具視(明治維新に與つて力があつた)

- (ハ)高野長英(夢物語を著し、攘夷のよくなすことを述べた)
 - (ニ)小早川隆景(秀吉の朝鮮征伐の時、明の大軍を打破つて遂に和を求めさせた)
 - (ホ)山名宗全(細川勝元と勢力を争ひ、それが應仁の亂の原因となつた)
 - (九)(イ)松花江(滿洲。水運の便が多し。)
 - (ロ)長白山(滿洲。木材の産が多し。)
 - (ハ)馬公(澎湖島。海軍の要港。)
 - (ニ)ロール島(バラオ諸島。南洋廳の所在地。)
 - (ホ)鞍山(滿洲。鐵の産地。)
 - (一〇)大河川(相模川・富士川・大井川・天龍川・木曾川) 著名なる都邑(横濱・静岡・名古屋・岐阜・大津)
- 圖 試 問
- (11) (イ) (算) $\frac{46.435}{3.567}$ (ロ) (算) $\frac{2.239}{45157.5}$
 - (*) (算) $\frac{12}{8\frac{23}{72}}$ (ロ) (算) $\frac{2\frac{19}{70}}$
 - (12) (イ) (算) $\frac{8\frac{23}{72}}$ (ロ) (算) $\frac{2\frac{19}{70}}$

- (ハ)自由に水平に廻ることのできる磁石の近くに、その磁石と平行に銅線をはると、銅線に電流がある時は磁石の方向が變り、電流がない時は變らなす。
 - (ニ)春分(晝と夜とが同じ長さ)
 - 夏至(晝が最も長く夜が最も短い)
 - 秋分(晝と夜とが同じ長さ)
 - 冬至(夜が最も長く、晝が最も短い)
- (一八)(イ)さんそとちつそ
- (ロ) (1)水車を動かして米をついたり、又は電氣をおこす機械をうんでんさせる。
 - (2)川の水は田にひいたり、飲み水に用ひたりする。
 - (3)川は自然の交通路となつて舟や筏等を通す。
 - (ハ)ブリキはとけたすずをうすい鐵板にひいたもので、とたんはとけたあえんを鐵板にひいたものである。
 - (ニ)コークス、石炭ガス
 - (一九)省略
 - (二〇)省略
- 東京府立化學工業學校

- (イ) (算) $\frac{4}{13}$ (=) (算) $\frac{2.3}{120}$
- (13) $813 - (150 + 148 + 137 + 135 + 123)$
= 120人 (算) 120人
- (14) $5H : \pi H = \begin{cases} 10時間 : 9時間 \\ 6人 : 8人 \end{cases}$
- $\pi = 5H \times \frac{9}{10} \times \frac{8}{6} = 6H$ (算) 6H
- (15) $120cm \times \frac{2}{3} = 80cm$ $80cm \times \frac{3}{5} = 48cm$
 $120 \times 80 - 48 \times 48 \times 0.785 = 7791.36$ (算) 7791.36平方cm
- (16) $(3+5+7+9+12+15+19+21+26+22+16 + 11+5) + 12 = 1425$ (算) 1425度
- (17)(イ) (1) (まさつを少くして、車の廻轉をたかす) \rightarrow $\pi \omega$
- (ロ) (2) (水を通したりさくぎつたりする。)



東京府立化學工業學校

第一試問

- (一) (1)明治天皇。
- (2)臣民の守るべき道德の大綱をお示しになつた。
- (二)我等に良心があるから。
- (三) (1) (4)自立自營
- (四) (3)父母が可愛がつてくれなくとも孝行します。

第二試問(國語)

- (一) (イ) 風情 (ロ) 風俗
- (二) 一昨晚
- (三) 眞に夢の如し。
- (四) 1. 又は 2. つがうでは
- (五) (1) 頭(アタマ)(カシラ)(トウ)(ヅ)
- (2) 樂(ガク)(ラク)(タノシミ)
- (六) 我國は三千年の光輝ある歴史を有す。
- (七) 寒いといふよりもいたいやうに感じます。
- (八) いつまでたつてもかはらないひやうばんをひろめた。

- (九) 世一話。 電一話。
 (一〇) その寫眞を見て、さながら父上に會へるが如き心地せり。

第三試問

- (1) (答) $\frac{2}{5}$ (2) $120\text{cm} \times (1+1.5) \times 2 = 600\text{cm}$ (答) 600cm
 (3) (答) $6\text{時}3\text{分}7\text{秒}$
 (4) $\frac{4}{5}$ (二), 2.5 (一), $\frac{2}{3}$ (三), 0.2 (四)
 (5) $1250\text{人} - 50\text{人} = 1200\text{人}$ (答) 12.5%
 $150\text{人} \div 1200\text{人} \times 100 = 12.5$
 (6) (答) 117 (7) (答) お釣が足りない。
 (8) $492\text{圓} \div (1+3) = 123\text{圓}$ $123\text{圓} \times 3 = 369\text{圓}$ (答) 甲 369圓 , 乙 123圓
 (9) $24\text{時} \div (1 + 1\frac{1}{4}) = 10\frac{2}{3}\text{時} = 10\text{時}40\text{分}$ (答) $10\text{時}40\text{分}$
 (10) (答) 8.07

第四試問(國史)

- (11) 物にはすべて重さがある。同じ種類の物では體積が同じである時は、重さは同じで、體積がちがふと、體積の大きい方が重し。
 (12) ○まり。
 (13) ○まり。
 (14) 春分の日は一晝も夜も同じ。
 夏至の日は一晝が夜より長し。
 (15) エンピツの心はせきぼくとねんどとをまぜて焼いたものである。
 (16) アンモニア水 は赤色の試験紙を青色に變じ、えんさんは青色の試験紙を赤色に變ずる。
 (17)
- | | |
|-----------------|------------|
| よゝ點 | 製品 |
| (1) 蠶 5 | (1) なべ |
| (2) あえんよりもけにくい。 | (2) べんたらばこ |
| (3) さら | (3) さら |
- (18) 中の細い線が酸化してもえきれないやうにするため。
 (19) ○魚肉 ○卵のしろみ ○だいが
 東京府立化學工業學校

- (一) 1. 京都 2. 桓武天皇
 (二) 貴族院 衆議院の兩院議員を東京に召集し明治天皇行幸して第一回の帝國議會を開き給ふ。
 (三) (3) 新田義貞。 (4) 高山彦九郎。
 (1) 藤原鎌足。 (5) 源賴朝。
 (四) 1. 神戸の湊川神社の境内。 2. 徳川光圀。
 (五) 天皇の御位をおゆづりになつた方。
 (六) 明治天皇。後醍醐天皇。
 (七) 後藤象二郎——大政奉還。
 (八) 1. 徳川吉宗の頃の人
 2. 甘藷のつくり方を諸國にひろめた。

第五試問(理科)

馬	牛
(1) つのがない。	頭につのがある。
(2) くびにたてがみがある	たてがみがない。
(3) 上あごに前歯がある。	上あごに前歯がない
(4) あしが長い。	あしが短い。

- (10) 人體の温度は普通三十六七度位で脈はくは普通一分間に七十位、呼吸する數は一分間に凡そ十八回位である。

第六試問(地理)

- (一) 關東地方の二大鐵山とは、日立と足尾とでその精鍊高は、兩山とも銅が第一で金・銀も少くない。
 (二) 火山の近所。
 (三) ○本州 △四國
 (四) ○廣島市 ○名古屋市 ○静岡市 ○岡山市
 (五) 1. 京都の南。
 2. 明治天皇・昭憲皇太后の御陵がある。
 (六) (1) 生絲 (2) アメリカ合衆國
 (七) 大阪灣の沿岸。東京及び横濱の附近。九州の北部。

東京府青山師範學校(本科一部)

- 國語(讀方科)
 (1) (1) 診 (2) 癒む (3) 木立 (4) 徐に (5) 墳補
 (6) 柔懦 (7) 延いて (8) 残有 (9) お伽噺 (10) 拔擢

- (11) 粉砕 (12) 寧ろ (13) 執着心 (14) 麗かに (15) 頗る
- (16) 覆はる (17) 莊嚴 (18) 酔 (19) 愚ふ (20) 少女
- (21) 業人 (22) 著しい (23) 生捕 (24) 籠 (25) 集ふ
- (26) 委ぬ (27) 賦課 (28) 固より (29) 凌ぐ (30) 浪華

(II)(イ) 自信の念厚く、自立自替他を羨まず、他に依頼せず、前途に希望を有して、人生を悲観せず、不幸に遭遇するも落膽することなかれ。

(ロ) 太陽が一度出れば、善悪美醜盡く照破されるが、月は萬象を一つに包んで、貴賤貧富の分別を失はせてしまふ。月の光は慰安の光である。

(III) 地方の開發に當り堅實なる國家の基礎を作らんとするものは宜しく田舎にありて父祖傳來の遺業を守り確實に生産を營み進みては周圍の改善に力めて國家に盡くすべきなり。

- (IV)(1) あさごはんをたくかまどのけむり。
- (2) 天子が大へんお感じになる。
- (3) くやしきにはをくひしげること。
- (4) むだなほねをり。
- (5) 忠告のことばが氣にさはる。

- (五)(1) 平安時代の終り頃。
- (2) 自分のよんだ歌を歌集にえらび入れることを依頼するため。
- (3) 歌をあつめて歌集をつくれといふ御いひつけ。
- (4) 歌集にえらび入れることができるやうなよい歌。
- (5) に(として) なりとも(だけでも) 入るを得ばと(入ることが出来るならばと) 候ひつるに(ましたのに)

紀元節

今から二千五百年の昔、神武天皇は全國を平定されて烏見山に即位の式を擧げられた。紀元節は實に此の日を記念するために、日本中の人がこぞつてお祝ひする日である。開闢以來、三韓征伐・佛敎の傳來・源平鎌倉の時代、近くは徳川三百年を経て、日清日露の戰爭と幾度か變遷しつつ今日に至つた。然も萬世一系の皇統が連綿としていやさかえにさかえてゐる事は、吾等の世界に誇るべきこととして寸時も忘れてはならぬ。支那やエジプトは、五千年の昔既に大文明國であ

つたと云ふが、今日は全く亡國の有様ではないか。まして天子の系統が幾度か變つてゐる點に於て到底我が國とは比較にならない。獨逸や亞米利加や佛蘭西の建國の日未だ淺いことは已に我等の知るところである。國體の美は實に世界に比類なき我が國の精華である。其の國に生をうけた我等は又世界に比類なき幸福の民ではないか。ところがこゝに考へなければならぬことがある。過去から今日に傳へられた三千年の歴史はなる程美の極である。然し之を天壤と共に窮りなく將來に傳へる爲には吾等小國民の大なる覺悟と決心とを要するのである。吾々小國民は此の尊ぶべき紀元節を祝願すると共に此の美しい歴史を永遠に傳ふるため、精神と身體とをしつかり鍛練しなければならぬ。

算術資料

- (1) (答) $(1) \frac{-12}{3} (2) \frac{-1}{10} (3) \frac{-1}{1.5} (4) \frac{-1}{0.140625} (5) 0$
- (2) (答) $(1) 3 \frac{3}{10} (2) 1.5 (3) 0.140625$
- (3) $(1) \frac{29}{78}$

東京府青山師範學校

(3) (1) $x - \frac{x}{6} + 2 = \frac{7}{6} - \frac{5x}{4}$

$12x - 2x + 24 = 14 - 15x, \quad 25x = -10,$

$x = -\frac{2}{5} \quad (答) x = -\frac{2}{5}$

(2) $\sqrt{x+10} = 2-x, \quad x+10 = 4-4x+x^2,$

$x^2-5x-6=0, (x-6)(x+1)=0 \quad x=6 \text{ 又 } x=-1$

$x=6$ 原方程式に代入スルと、
左邊 = $\sqrt{6+10} = 4,$ 右邊 = $2-6 = -4$

故 = 原方程式ヲ満足シナイ。

$x=-1$ 代入スルと 左邊 = $\sqrt{10-1} = 3,$

右邊 = $2+1 = 3$ 故 = 原方程式ヲ満足シソノ根ヲ

テル。 (答) $x = -1$

(3) $\begin{cases} ax+by=2ab \dots\dots\dots(1) \\ x+y = a+b \dots\dots\dots(2) \end{cases}$

(1)-(2) $\times b$ 作ルと $(a-b)x = b(a-b)$

故 = $a \neq b$ ナラバ $a-b \neq 0$ ナル故 $x = b$

ヨリ時 = (2) カラ $y = a - b$ ナル、

又 $a = b$ ナラバ $a-b = 0$ ナル故

x 任意ナル y (2) カラ

$$y = a + b - x \quad \text{トナル}$$

$$\begin{cases} a \neq b \quad \text{ナラバ} & \begin{cases} x = b \\ y = a \end{cases} \\ \text{(答)} & \\ a = b \quad \text{ナラバ} & \begin{cases} x \text{ 任意ノ値} \\ y = a + b - x \end{cases} \end{cases}$$

$$\begin{aligned} (=) \quad (9 \times 7 \times 5) : (6 \times 15 \times x) &= 21 : 8 \\ \therefore 7 : 2x &= 21 : 8 & 1 : x &= 3 : 4 \end{aligned}$$

$$\therefore 3x = 4 \quad x = \frac{4}{3} \quad \text{(答)} \quad x = \frac{4}{3}$$

$$(4) \text{ (答)} \quad AE = 23\text{km}, AB = 5\text{km}, BD = 10\text{km} \\ CD = 6\text{km}$$

$$(5) \quad (1) \quad 1^\circ \times \frac{9}{5} = 1.8^\circ \quad \text{(答)} \quad 1.8^\circ \text{ノ度盛リ}$$

$$(ロ) \quad (56^\circ - 32^\circ) + (18^\circ - 1^\circ) = 30 \quad 30^\circ + 56^\circ = 86^\circ \\ \text{(答)} \quad \text{攝氏} 30^\circ, \text{華氏} 86^\circ$$

$$(6) \quad 1g \times 10.5 = 10.5g \quad 651g + 10.5g = 62(c.c) \\ 62c.c + 85c.c = 100c.c = 47c.c \quad \text{(答)} \quad 47c.c$$

$$(7) \text{ 現在ノ各ノ年勤ヲ夫々 } x \text{ 歳, } y \text{ 歳, } z \text{ 歳 トス}$$

$$\begin{cases} x + y + z = 41 & \begin{cases} x + y + z = 41 \dots (1) \\ 4x - 5y = 3 \\ 7y - 8z = 3 \end{cases} \\ \frac{x+3}{y+3} = \frac{5}{4} & \begin{cases} x = \frac{5y+3}{4} \dots (2) \\ \dots \end{cases} \\ \frac{y+3}{z+3} = \frac{8}{7} & \begin{cases} s = \frac{7y-3}{8} \dots (3) \\ \dots \end{cases} \end{cases}$$

$$(2), (3) \text{ヲ (1)ニ代入シテ整理スレバ} \\ 25y = 325 \quad \therefore y = 13$$

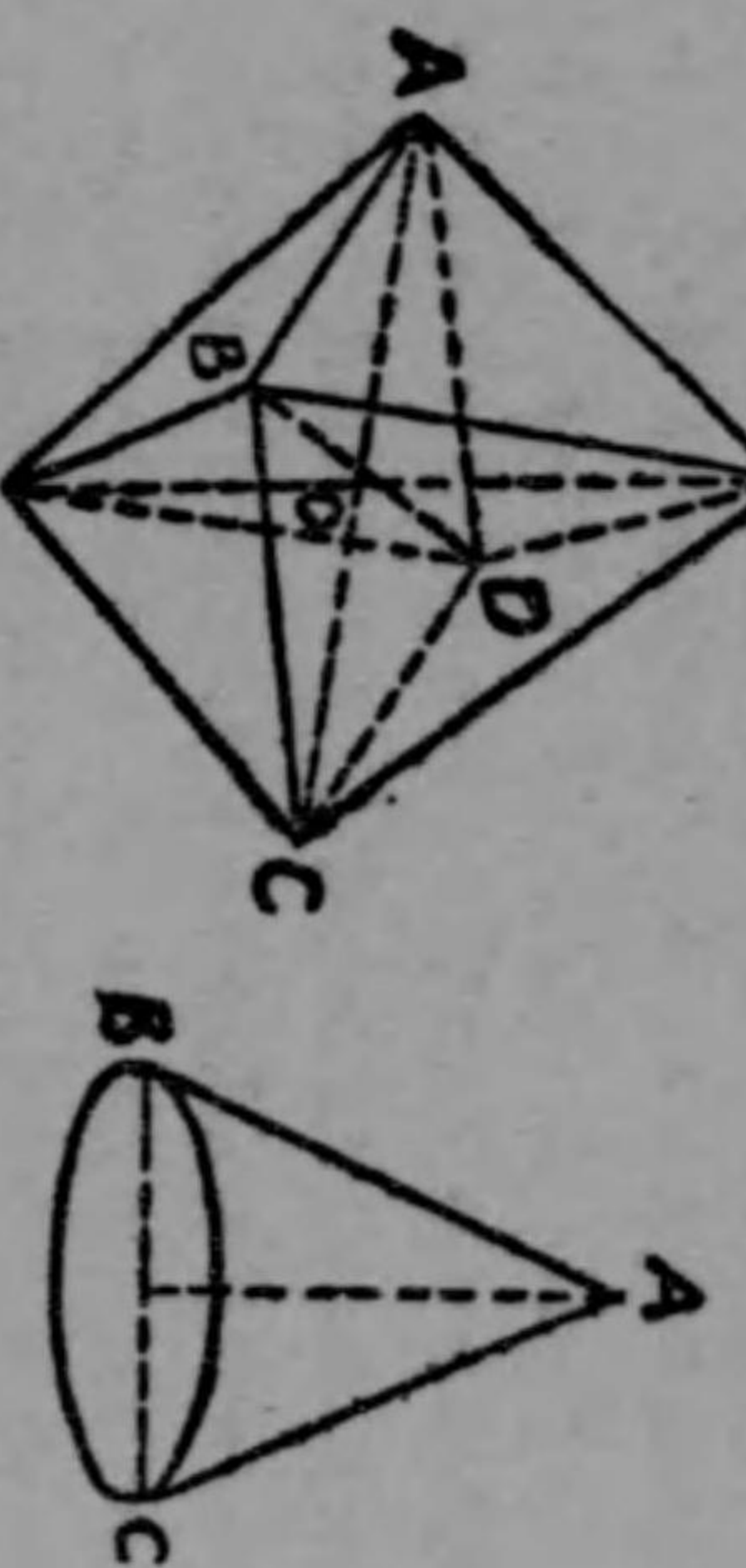
$$\text{之ヲ (2), (3)ニ代入シテ } x = 17, z = 11, \\ \text{(答)} \quad \text{長男} 17 \text{ 歳, 次男} 13 \text{ 歳, 三男} 11 \text{ 歳}$$

$$(8) \quad (28\text{日} - 17\text{日}) + 31\text{日} + 30\text{日} + 31\text{日} + 30\text{日} = 133\text{日} \\ 560\text{圓} + 100\text{圓} = 5.6 \quad 2\text{錢} 5\text{厘} \times 5.6 \times 133 = 18\text{圓} 62\text{錢} \\ 560\text{圓} - 18\text{圓} 62\text{錢} = 541\text{圓} 38\text{錢} \quad \text{(答)} \quad 541\text{圓} 38\text{錢}$$

$$(9) \text{ 大キイ正方形ノ一辺ノ長サヲ } x \text{ cm トスルト,} \\ \text{小サイ正方形ノ一辺ノ長サハ } (x-3) \text{ cm デアル。} \\ \therefore \text{ 題意ニヨリ } x^2 = \frac{13}{5}(x-3)^2 + 3.6 \\ \text{之ヲ } y \quad 8x^2 - 78x + 135 = 0 \\ x = \frac{39 \pm \sqrt{39^2 - 135 \times 8}}{8} = \frac{39 \pm 21}{8} = 7.5 \text{ 又ハ } 2.52$$

$x = 2.25$ ノ題意ニ適シナイ ($x = 2.25$ トスレバ大キイ正方形ノ一辺ガ 3cm ヨリ小サイコトナルカラ)

(10) (1) 正八面體 (答) 7.5cm
(ロ) 直圓錐



地理科

(1) 世界交通の幹線をなす我が南滿洲鐵道の本線は、大連を起點として、北に向ひ、奉天に於いて、支線の安奉線、及び支那の京奉線と會し、更に北に向ひ長春に至つて東支鐵道と連絡する。東支鐵道は長春から北の方ハルビンに至つて、ウラヂゴストックから來る線と會し、西北に進んで、シベリヤの鐵道の幹線に連絡してゐる。南滿洲鐵道の支線は、安奉線

東京府立青山師範學校

の外に尙數線ある。安奉線の起點安東から京義線、京釜線、關釜連絡船を経て、下關に至り我が本州の鐵道幹線と連絡する。

(11) (イ) 我が國の四大工業地區の一であつて、九州の北部、門司から西の方折尾に至る一帯の地をいふ。門司・小倉・八幡・若松等の工業市が連つてゐる。製品の主なものは、鐵・砂糖・セメント・清酒・藥品等で、中でも鐵は八幡にある官設の製鐵所で製せられその産額は我が國總産額の過半を占めてゐる (ロ) ヨーロッパの地中海沿岸地方は、地中海の影響を受けて、夏は暑くて雨が少く、冬は温暖で雨量が多い。之が地中海性氣候であつて、このやうな氣候を呈する地域を地中海性氣候帯といふ。

(ハ) 國境都市とは、國境に發達した都市のことで、その例として黒龍江沿岸の黑河があり、黒龍江を隔てて、シベリヤのブラゴエシチエンスクと相對してゐる。
(ニ) コブラはココヤシの種子の胚乳を乾燥したもので、フィリッピン其他南洋各地、熱帯アメリカに